



トヨタ ウェルキャブシリーズ



車いす仕様車(ショートスロープタイプⅠ・Ⅱ)

取扱説明書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

**NOAH
VOXY**



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 シート・室内装備

シート・室内装備に関する説明

3 車いすの車内外への乗り降り

スロープを使用して車いすに乗ったままでの車内外への乗降、車いすの車内での固定・解除に関する説明

4 お手入れのしかた

ウェルキャブ装備のお手入れに関する説明

5 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

6 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

さくいん

症状から検索

五十音で検索

イラスト目次	4
本書の見方	10

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために

車いすの車内外への乗降について	12
車いすの固定およびシートベルトの着用について	20
車両火災・故障・損傷を防ぐために	23

2 シート・室内装備

2-1. シート

セカンド・サードシート	26
-------------------	----

2-2. 室内装備

収納装備一覧	32
アクセサリコンセント (AC100V 1500W)	34

3 車いすの車内外への乗り降り

3-1. スロープを使用する前に

ご使用前に確認して いただきたいこと	36
-----------------------------	----

3-2. 車いすの車内外への乗降・固定

操作の流れ	41
作動条件の確認	50
車高調整およびスロープの展開・格納	51
車いすの車内外への乗降	63
車いすの車内での固定・解除	99
車いす固定位置のやり直し ...	105
車いす用シートベルト	106
走行する前に	115

4 お手入れのしかた

4-1. お手入れのしかた

スロープの清掃	118
ベルトの清掃	120
車いす固定装置の清掃	121

4-2. 簡単な点検・部品交換

ガレージジャッキ	122
----------------	-----

5 万ーの場合には

5-1. パンクしたときは

工具・ジャッキの取り出し... 124

5-2. 故障かな？と

お考えになる前に

ヒューズの交換 129

車高降下装置が
作動しないときは 132

ワイヤレスリモコンの電池交換
(電動ウインチ装着車) 133

車いす固定の
やり直しについて 136

5-3. 緊急時の対処法

セーフティベルトが引き出せ
ない・後退防止作動しない
ときは (セーフティベルト
装着車) 137

電動ウインチが作動しないときは
(電動ウインチ装着車) 139

車いす固定装置が
作動しないときは 142

自動モードについて
(電動ウインチ装着車) 144

6 点検・整備項目

6-1. 点検・整備項目

定期点検整備 146

さくいん

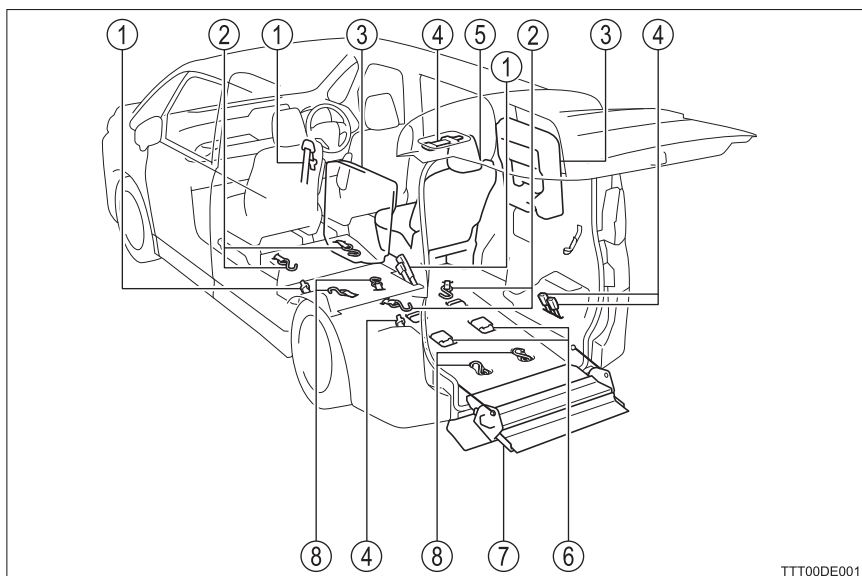
こんなときは
(症状別さくいん) 150
五十音順さくいん 156

本書は、車いす仕様車 (ショートスロープタイプ I・II) の装備について記載しています。車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱説明書をお読みください。

ただし、車いす仕様車 (ショートスロープタイプ I・II) 装備により、お車と標準車取扱説明書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

イラスト目次

■ タイプ I



TTT00DE001

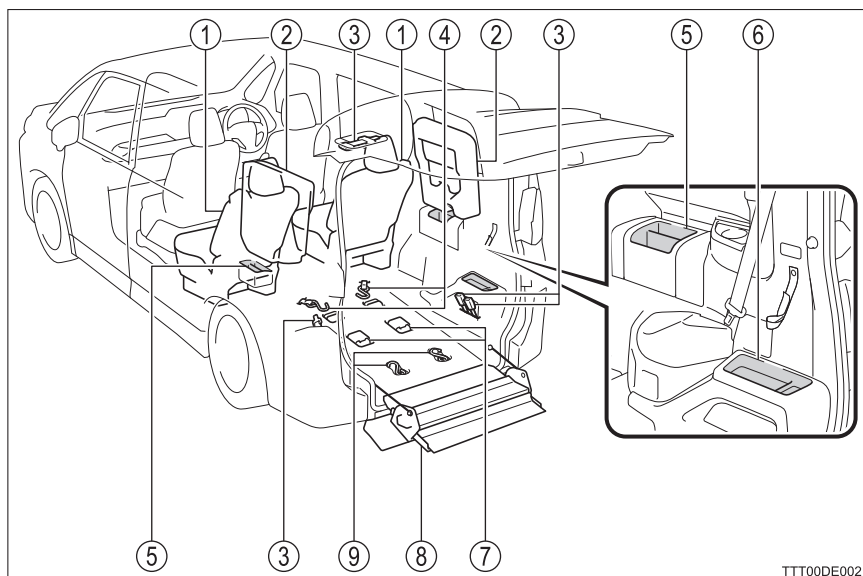
① 車いす用シートベルト（車いす前席用）	P.106
車いす前席での着用	P.107
清掃	P.120
② セーフティベルト★※	
車いすの車内への乗り入れ	P.66
車いすの車外への降車	P.81
作動条件	P.50
清掃	P.120
作動しないときは	P.137
電動ウインチ★※	
車いすの車内への乗り入れ	P.73
車いすの車外への降車	P.84
作動条件	P.50
清掃	P.120
作動しないときは	P.139

③	サードシート	P.26
④	車いす用シートベルト（車いす後席用）※	P.106
	車いす後席での着用	P.109
	清掃	P.120
⑤	セカンドシート	P.26
⑥	床面ロック	P.29
⑦	スロープ	
	展開	P.52
	格納	P.54
	清掃	P.118
⑧	車いす固定装置※	
	車いすの固定	P.99
	車いすの固定解除	P.102
	作動条件	P.50
	清掃	P.120, 121
	作動しないときは	P.142

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：車いす後席用のセーフティベルト／電動ウインチ、車いす用シートベルトおよび車いす固定装置は、車いす 2 名仕様に装備されます。

■ タイプⅡ



TTT00DE002

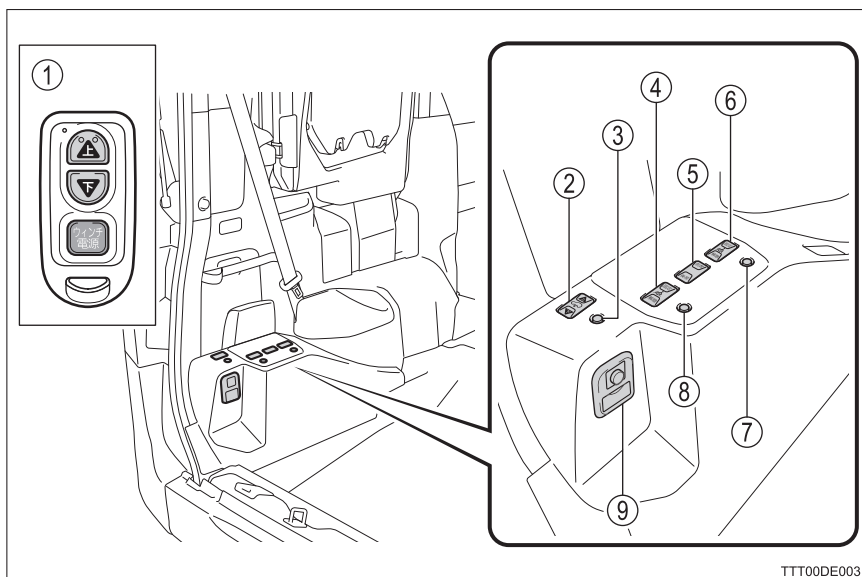
① セカンドシート※	P.26
② サードシート	P.26
③ 車いす用シートベルト	P.106
着用	P.109
清掃	P.120
④ セーフティベルト★	
車いすの車内への乗り入れ	P.66
車いすの車外への降車	P.81
作動条件	P.50
清掃	P.120
作動しないときは	P.137
電動ウインチ★	
車いすの車内への乗り入れ	P.73
車いすの車外への降車	P.84
作動条件	P.50
清掃	P.120
作動しないときは	P.139
⑤ デッキポケット（タイプⅡ “サードシート無”）	P.32

⑥	ジャッキカバートレイ	P.32
⑦	床面ロック	P.29
⑧	スロープ	
	展開	P.52
	格納	P.54
	清掃	P.118
⑨	車いす固定装置	
	車いすの固定	P.99
	車いすの固定解除	P.102
	作動条件	P.50
	清掃	P.121
	作動しないときは	P.142

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：1人掛けキャプテンシートまたは、3人掛けチップアップシートがあります。

■ 車内左側後部



TTT00DE003

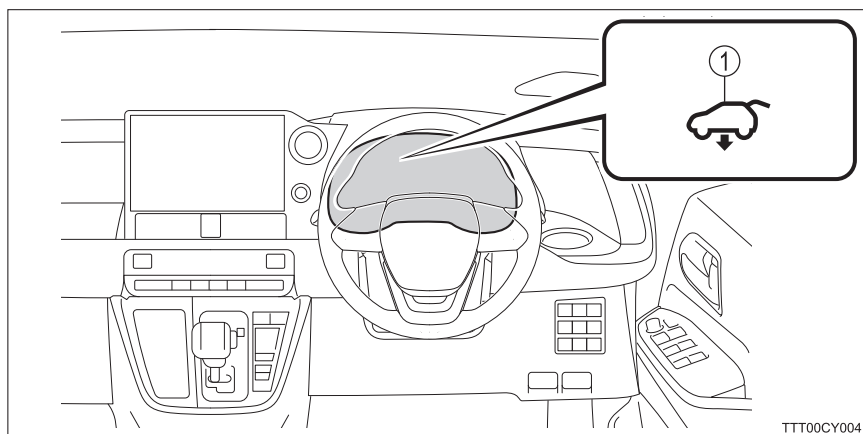
- | | | |
|---|-------------------------------|----------------------------|
| ① | ワイヤレスリモコン※ ¹ | P.64 |
| | 車内への乗り入れ | P.73 |
| | 車外への降車 | P.84 |
| | 電池交換 | P.133 |
| | ワイヤレスリモコンカバー | P.65 |
| ② | 車高切替スイッチ | |
| | 作動条件 | P.50 |
| | 車高降下 | P.51 |
| | 車高復帰 | P.54 |
| | 作動しないときは | P.132 |
| ③ | 車高降下装置異常ランプ | P.58 |
| ④ | 固定・解除スイッチ | |
| | (車いす後席用) ※ ² | P.68, 75, 81, 84, 100, 102 |

※¹ : 電動ウインチ装着車に装備されます。

※² : タイプⅠ(車いす2名仕様) / タイプⅡに装備されます。

- ⑤ 前席・後席切替スイッチ※³ P.67, 68, 74, 75
- ⑥ 固定・解除スイッチ
(車いす前席用) ※⁴ P.67, 73, 81, 84, 100, 102
- ⑦ 固定・解除スイッチインジケータ
(車いす前席用) ※⁴ P.67, 73, 81, 84, 100, 102
- ⑧ 固定・解除スイッチインジケータ
(車いす後席用) ※⁵ P.68, 75, 81, 84, 100, 102
- ⑨ アクセサリーコンセント★ P.34

■ 運転席まわり



- ① 車高調整インジケータ P.54, 55, 56, 58, 59, 131

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※³：タイプⅠ（車いす 2 名仕様）に装備されます。

※⁴：タイプⅠに装備されます。

※⁵：タイプⅠ（車いす 2 名仕様）／タイプⅡに装備されます。

本書の見方



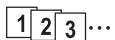
警告

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



注意

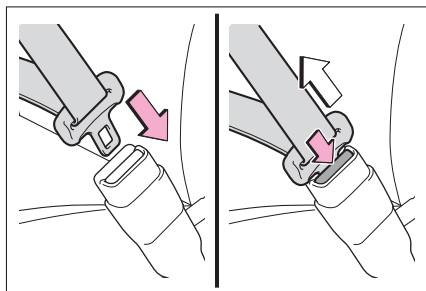
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



1 2 3... 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

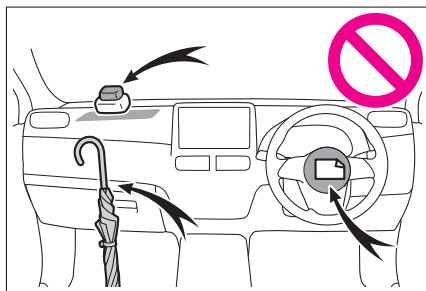
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



知識

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために

車いすの車内外への 乗降について.....	12
車いすの固定およびシート ベルトの着用について	20
車両火災・故障・損傷を 防ぐために	23

車いすの車内外への乗降について

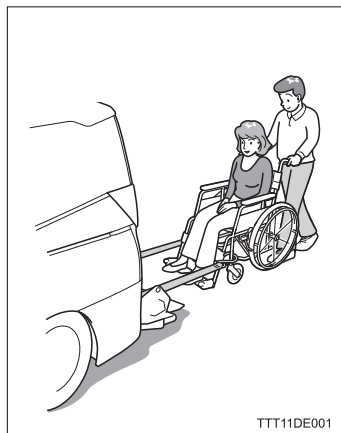
- 本書における車いす仕様車（ショートスロープタイプⅠ・Ⅱ）の操作はすべて介助の方が行ってください。
- この項目では、スロープおよびセーフティベルト★または電動ウインチ★を使用しての車内外への乗降について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

！警告

■車いす仕様車（ショートスロープタイプⅠ・Ⅱ）の操作をするときは

操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。

- 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあります。（車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください）
- 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。



TTT11DE001

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

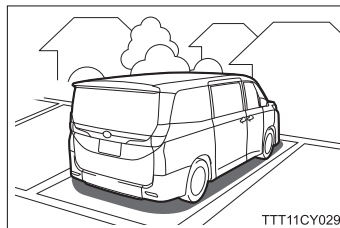
警告

■ 操作および車いすを乗降するときは

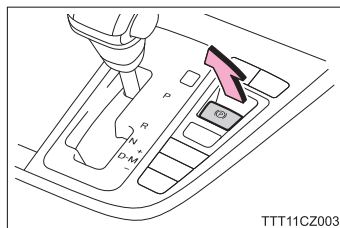
安全で平坦な場所に駐車してください。

交通量の多い道路や狭いところ、不整地や傾斜地でスロープを使用すると、思わぬ事故や車両の損傷につながるおそれがあり危険です。

● 平坦な場所で操作

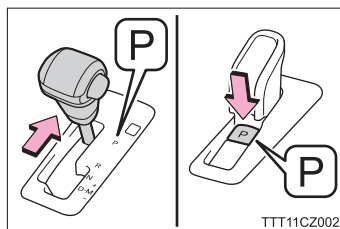


● パーキングブレーキを確実にかける



● シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする

パーキングブレーキがオートモードのときは、シフトレバーをPの位置にしたときに、自動でパーキングブレーキがかかります。(→標準車取扱説明書の「運転のしかた」)

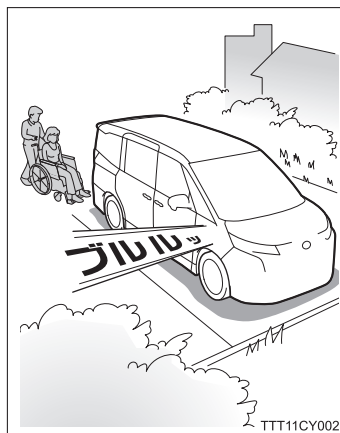


警告

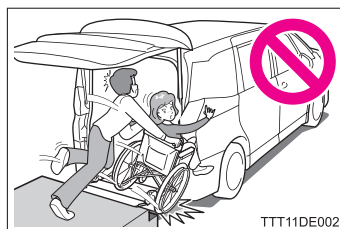
- エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉で使用してください。

- ・ エンジン〈ハイブリッドシステム〉停止状態ではバッテリーあがりの原因になったり、十分な性能を引き出せないおそれがあります。
- ・ エンジン〈ハイブリッドシステム〉停止状態では車高降下装置は作動しません。

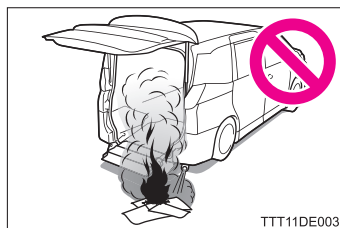
- 乗降するときはヘッドランプを点灯および非常点滅灯を点滅させ、周囲へ注意をうながしてください。



- 階段や段差を利用して車いすの乗り入れをしないでください。
段差を利用すると車いすがスロープから転落したり、スロープが段差からはずれて破損するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。



- 可燃物付近に駐車しないでください。
車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると、火災になるおそれがあり危険です。
スロープ使用時、車高降下により排気管の位置が大きく下がりますので、特にご注意ください。

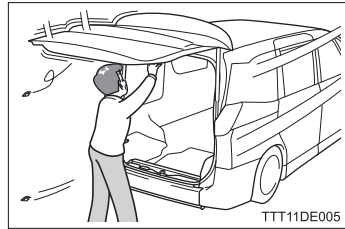


- 悪天候時、スロープを使用するときは、すべりやすくなりますのでご注意ください。
風の強い場所や風雨の強い日、降雨時や降雪時などは特に注意してください。



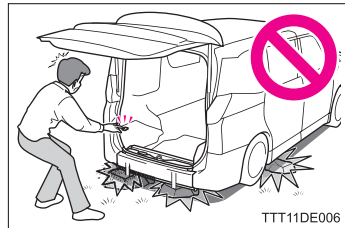
警告

- 強風時、バックドアが閉まることがあります。
バックドアが頭にあたるおそれがありますので、注意してください。

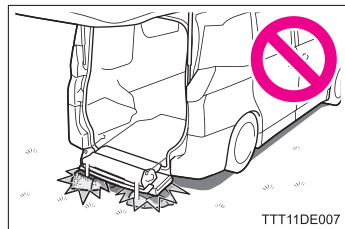


車高を下げる前に

- 車両周辺・下側、バックドア下側や後輪付近に人や突起物などがないことを確認してください。
車両後部の車高が下がるため（バックドアも車高に合わせて下がります）、頭を打ったり、手足を挟むなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
車両を損傷するおそれもあります。
また、バックドア連動モード時は、特にご注意ください。
バックドアを開けると自動で車高が降下し、車両と突起物があたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



- スロープを展開するときは、スロープ下側に突起物などがないことを確認してください。
車両後部の車高が下がるため、スロープと車両と突起物があたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
また、バンパー表面が傷つくおそれもあります。

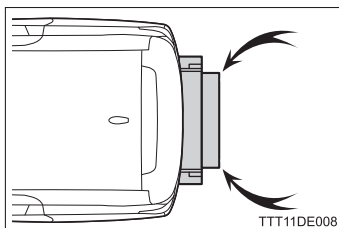


不測の事態により車高降下を途中でやめたいときは

車高降下装置の作動途中で、車高切替スイッチの「上」を押すと、ただちに車高降下が停止し、復帰（上昇）します。

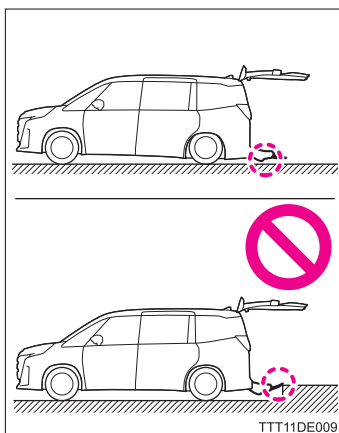
警告**■ スロープに車いすを乗降するときは**

- スロープに乗降するときは、足元および車いすの車輪がスロープ端部より出ないように注意してください。スロープ端部より出ると、スロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

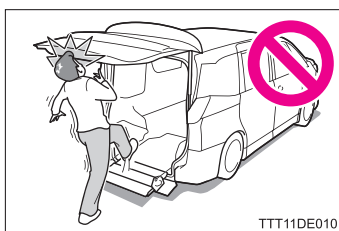


- 車高降下装置による車高降下およびスロープ展開完了後、スロープが地面や突起物に接触していないことを確認してください。

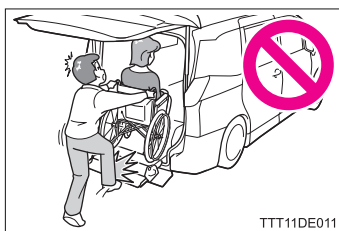
段差やスロープ下部にもものがあたるなどにより、スロープの展開が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、車両が破損するおそれもあります。



- 頭上の安全を確認しながらゆっくり乗り入れ、頭をバックドアやドア開口部にあてないように注意してください。
(→ P.38)



- 足元の安全を確認しながらゆっくり乗降し、足をスロープにあてないように注意してください。



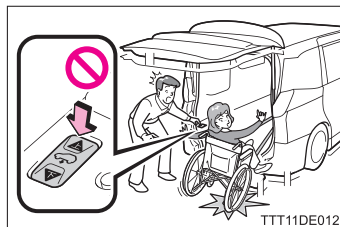
警告

- 不要なスイッチ類の操作およびシフトレバー／シフトポジションを操作しないでください。

装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

▶ 車高切替スイッチ

車高切替スイッチの「上」を押すと、車高が復帰するため、スロープの角度が変わります。

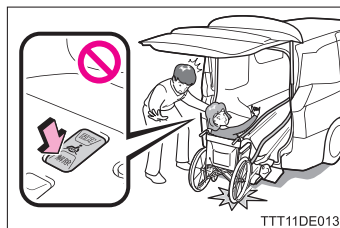


▶ 車高自動復帰

車高降下中、または車高降下完了後にシフトレバー／シフトポジションをP以外の位置にした場合車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わります。

▶ 固定・解除スイッチ

固定・解除スイッチ「解除」を押すと、後退防止作動が解除されます。



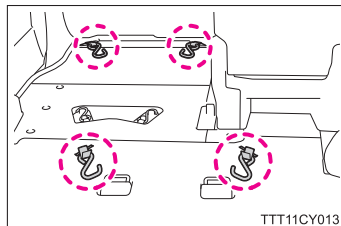
警告

■ 電動ウインチを使用するときは（電動ウインチ装着車）

電動ウインチ作動時、ベルトやベルト巻き取り部にふれないでください。

ベルトの巻き取り不良やベルト巻き取り部に手などを巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

：ベルト巻き取り部



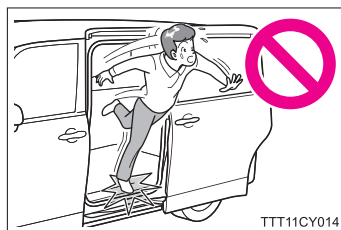
TTT11CY013

■ 助手席側スライドドアを開けて車内外に乗降するときは

足元に注意してください。

ステップの端に足を載せると、足を踏みはずし、転倒したり車両から転落するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

車いすが車いす前席に乗り入れ・固定している場合、乗降時の足元スペースが狭くなるため、十分注意してください。



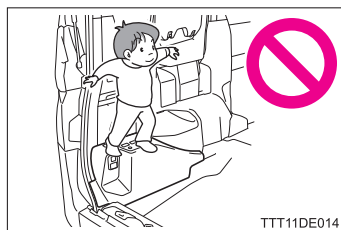
TTT11CY014

■ 車内後部のカバーについて

車内後部のカバーの上に乗ったり、座ったりしないでください。

● カバーから転落してけがをするおそれがあります。

● カバーの中には装置の作動をコントロールする機器が設けてあります。過度な力が加わるとカバーの破損や機器の故障の原因になります。

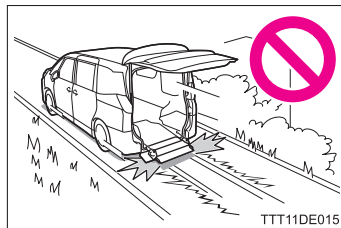


TTT11DE014

警告**■ 走行するときは**

スロープを展開したまま車を移動させないでください。

スロープを展開したまま車を移動させると、スロープの損傷やスロープおよびバックドアが車外の人やものにあたると思われる事故につながるおそれがあり危険です。



車いすの固定およびシートベルトの着用について

車内に乗車後の車いすの固定およびシートベルトの着用について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

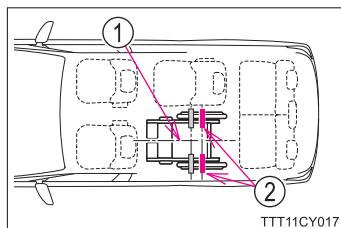
知識

■ 車いすの停止位置について

▶ 車いす前席（1名乗車時）（タイプⅠ）

- ① 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ② 前後位置：車いすの後輪をうしろ側停止線に合わせて停止する

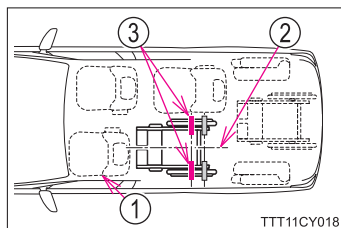
車いすの車内への乗り入れ方（→ P.66, 73）



▶ 車いす前席（2名乗車時）（タイプⅠ “車いす2名仕様”）

- ① 助手席シートを前方にスライドさせる
- ② 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ③ 前後位置：車いすの後輪を前側停止線に合わせて停止する

車いすの車内への乗り入れ方（→ P.88）

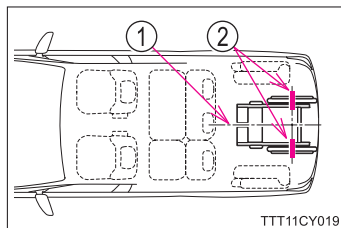


▶ 車いす後席（タイプⅠ “車いす2名仕様” / タイプⅡ）

- ① 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ② 前後位置：車いすの後輪中央と床面の停止線に合わせて停止させる

車いす後席での車いすの停止位置は、車いす前席の車いすの有無に関係なく、上記の位置になります。

車いすの車内への乗り入れ方（→ P.66, 73）



警告

■ 走行前の車いす固定状態の確認

走行前に車いすが確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないと、走行中に車いす動きだし、転倒したり車いすが損傷するなど重大な事故につながるおそれがあり危険です。

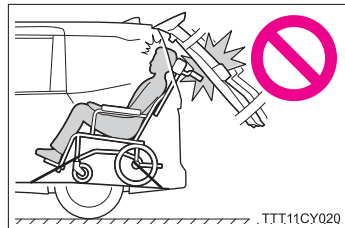
- セーフティベルト★の固定状態を確認するときは、ベルトを強く引っ張り、ベルトが確実に巻き締まっていることを確認してください。(→ P.101)
- 電動ウインチ★のベルトの固定状態を確認するときは、ベルトを強く引っ張り、ベルトに確実に張力がかかっていることを確認してください。(→ P.101)
- 車いす固定装置での車いすの固定状態を確認するときは、車いすを前後にゆすり、ベルトおよびワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。(→ P.101)

■ バックドアを閉めるときは：車いす後席乗り入れ時

バックドアが車いす乗車の方および車いすにあたらないことを確認しながら、ゆっくり閉めてください。

バックドアが車いす乗車の方の頭にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

また、車いすおよびバックドアが破損するおそれもあります。



■ 車いすのタイヤ空気圧について

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

■ 車いすを固定後に車いすの位置を直したい場合は

車いすの後輪やハンドルがサードシート乗車の方やバックドアにあたるなど車いすの固定が不十分で位置を直したい場合は、P.105「車いす固定位置のやり直し」を参照し、固定をやり直してください。

警告

車いす乗車の方のシートベルト着用確認

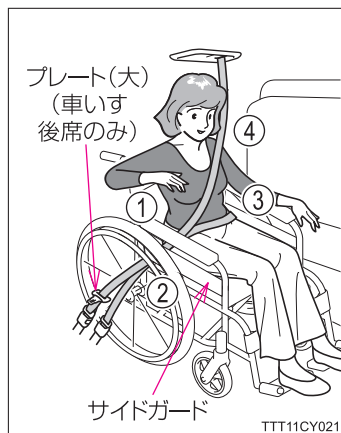
走行中は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

車いす後席の肩部ベルトは、必ずプレート（大）（小）とも格納箱から取り出し、プレート（大）は下側にたらししておきます。（→ P.109, 110）

▶ 車いす後席での着用例

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② アームレストの下とスポークのあいだを通す
サイドガードの下にスペースがある車いすをご使用の場合、サイドガードの下を通してください。
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
腰部ベルトにねじれがないようにしてください。
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける
・ 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
・ 肩部ベルトにねじれがないようにしてください。



車両火災・故障・損傷を防ぐために

車両火災・故障・損傷を防ぐために、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

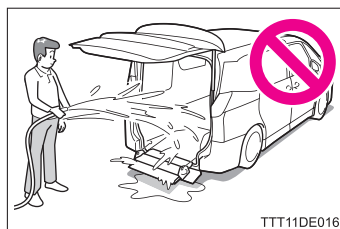
⚠ 警告

■ 清掃するときは

車内を水洗いしないでください。
電気部品に水がかかると、故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。

万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

手入れ、清掃のしかたは、装置により異なります。P.118「お手入れのしかた」を参照し、正しく手入れ、清掃をしてください。



⚠ 注意

■ スロープについて

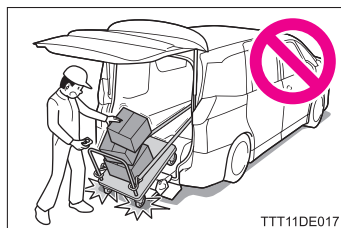
スロープの耐荷重は 150kg です。

 注意**■ セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用するときは**

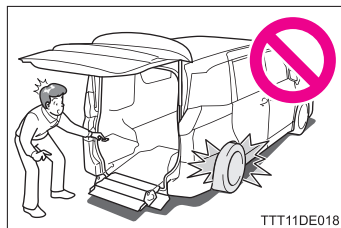
セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用して、車いす以外のものを車内外に出し入れしないでください。

セーフティベルト★の後退防止機構または電動ウインチ★が故障したり、ベルトが切れるおそれがあります。

また、スロープが破損するおそれもあります。

**■ タイヤ交換をするときは**

装着されているタイヤサイズ以外のタイヤを装着しないでください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

シート・室内装備

2

2-1. シート
セカンド・サードシート 26

2-2. 室内装備
収納装備一覧 32
アクセサリコンセント
(AC100V 1500W) 34

セカンド・サードシート

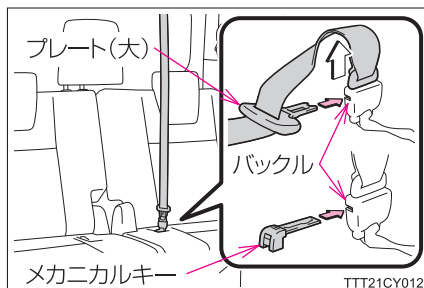
セカンドシート

セカンドシートは、標準車に対して後方スライド量が規制されています。セカンドシートの取り扱いについては、標準車と同様ですので、標準車取扱説明書を参照してください。

サードシート

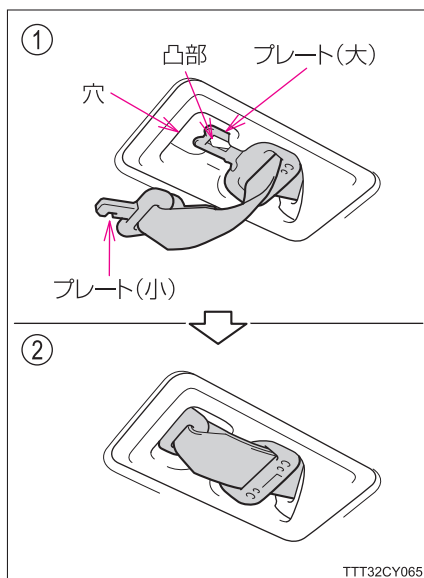
■ サードシートの格納のしかた

- 1 車を停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする (→ P.13)
- 2 スロープを展開する (→ P.52)
- 3 メカニカルキー (→ 標準車取扱説明書の「キー」)、またはプレート (大) をバックルの切り欠きに挿し込み、ベルトを分離し、ベルトを持ちながらゆっくり巻きもどす

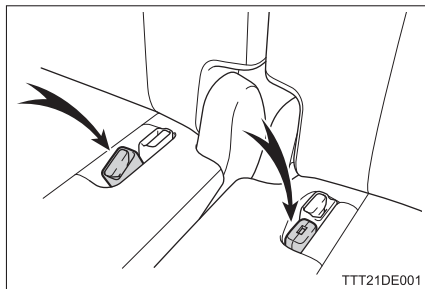


- 4 中央席のシートベルトを格納する

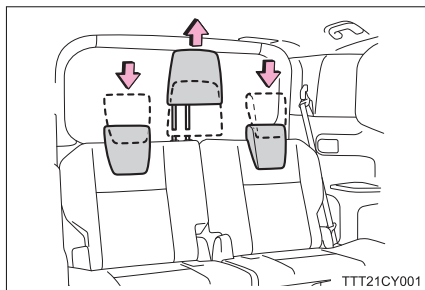
- ① プレート (大) の穴を格納箱の凸部にはめ込む
- ② プレート (小) を格納箱の穴に挿し込む



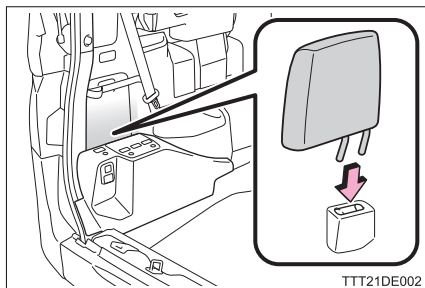
- 5 シートベルトのバックルをポケットに格納する



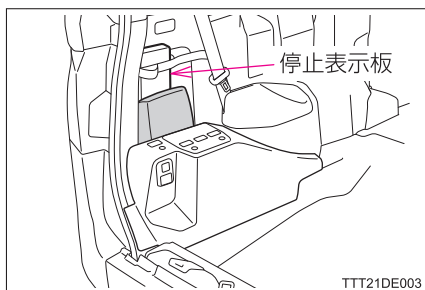
- 6 サードシート左右席のヘッドレストを下げ、中央席のヘッドレストを取りはずす



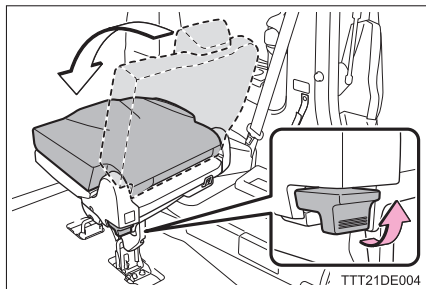
- 7 中央席のヘッドレストを車両左側後部に格納する



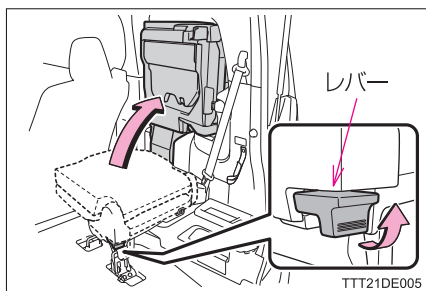
停止表示板搭載時には、停止表示板とカバーの間にヘッドレストを格納してください。



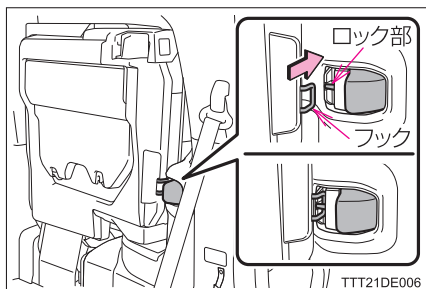
- 8 サードシート後下部のレバーを引き、背もたれを前方に倒す
左右とも倒します。



- 9 レバーをさらに引き、シートをはね上げる
シートのはね上げと連動して、シート脚部が格納されます。
左右ともはね上げます。



- 10 シートの固定フックをロック部に固定する
シートを押しながら、ロック部に挿し込んでください。
左右とも固定します。



- 11 シートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認する

12 床面ロックを格納する

- ① 操作レバーを押してロックを解除する
- ② うしろ側床面ロックを持って格納する

前側床面ロックも連動して格納されます。

- ③ うしろ側床面ロックを上から押さえ、完全に格納する

いっぱいまで格納すると“カチッ”と音がしてロックされます。(操作レバーがロック位置にもどります)

左右とも格納します。

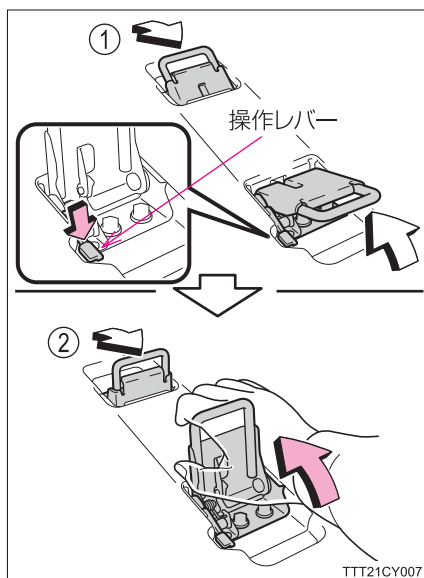
**13** スロープを格納する (→ P.54)**■ サードシートのもどし方**

- 1 車を停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバー/シフトポジションをPの位置にする (→ P.13)
- 2 スロープを展開する (→ P.52)

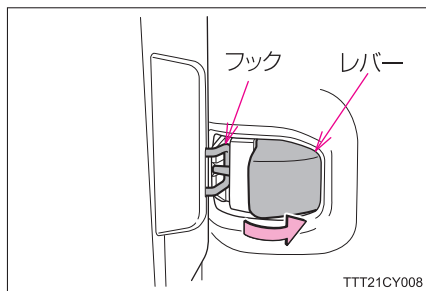
3 床面ロックを取り出す

- ① 操作レバーを押す
床面ロックが少し持ちあがります。
- ② うしろ側床面ロックをいっぱいまで起こす
前側床面ロックも連動して起き上がり、床面ロックがロックされます。

左右とも取り出します。



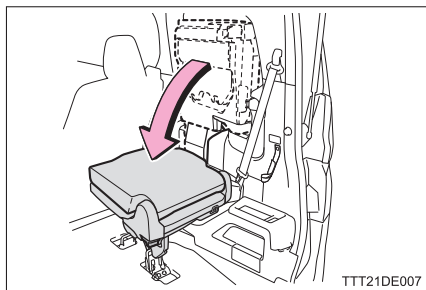
- 4 レバーを引き、フックをはずす
左右ともはずします。



- 5 シートをおろし、シート脚部を
床面ロックに確実に固定させる

- ・シートをおろす動きと連動して、シート脚部が出てきます。
- ・シートを上から押さえ、確実に固定させます。

左右とも固定します。



- 6 サードシートの背もたれを起こす
- 7 ヘッドレストを元に戻す
- 8 スロープを格納する (→ P.54)

 警告**■ サードシートの格納およびもどす操作をするときは**

- 走行中はサードシートの格納およびもどす操作をしないでください。
- サードシートを格納したときは、サードシートを確実に固定してください。
固定しなかったり、固定していても確実に固定されていないと、サードシートが倒れ、車いす後席乗車の方にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- サードシートを格納したときは、床面ロックを必ず格納してください。
床面ロックが起きたままだと車内を移動するときにつまずいたり、車いすの車輪が引っかかって転倒するなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、床面ロックを破損するおそれもあります。
- 床面ロックの操作をするときは、可動部や結合部で手や足を挟まないよう、注意してください。
- サードシートをもどしたときは、シートを前後左右にゆすり、さらにシートクッションを持ち上げ、シート脚部が床面ロックで確実に固定されたことを確認してください。
確実に固定されていないとシートが動き、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 注意**■ サードシートの操作をするときは**

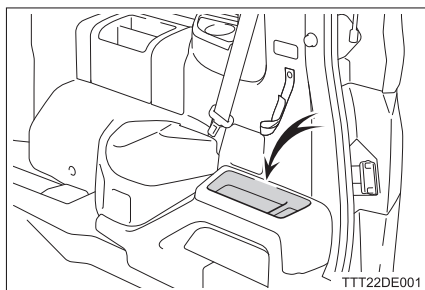
- 床面ロックを格納状態から起こす前に、床面ロックの上に荷物などが載っていないことを確認してください。
荷物の重みで床面ロックの作動がさまたげられ、故障の原因になります。
- サードシートをもどす前に、床面ロックがいちばん起きた位置で確実にロックしていることを確認してください。
床面ロックがいちばん起きた位置かつロックしていない状態でサードシートをもどすと、サードシート脚部および床面ロックを破損するおそれがあります。

収納装備一覧

次の場所に小物入れが装備されます。

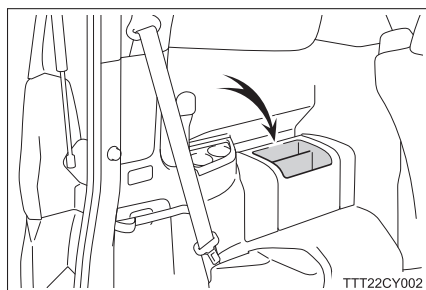
ジャッキカバートレイ

電動ウインチ★用のワイヤレスリモコンなど、小物を置くことができます。

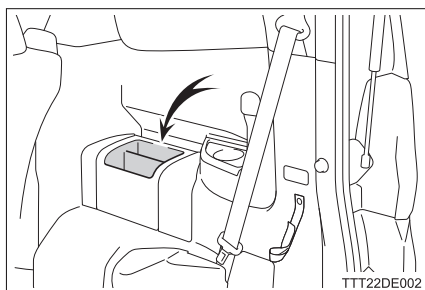


デッキポケット (タイプⅡ “サードシート無”)

▶ 車内左側



▶ 車内右側

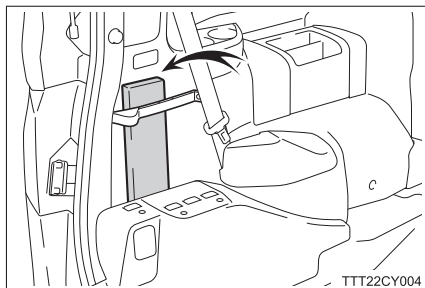


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

停止表示板収納スペース

停止表示板を収納することができません。

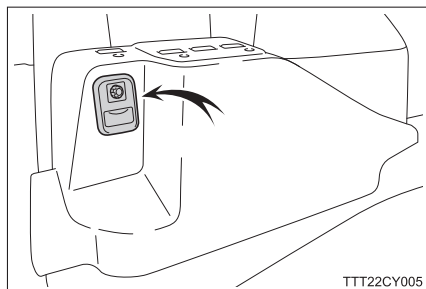
停止表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。



アクセサリーコンセント (AC100V 1500W) ★

アクセサリーコンセントは荷室左側に装備されます。

使用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱説明書の「アクセサリーコンセント (AC100V 1500W) ・非常時給電システム」をお読みください。



TTT22CY005

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車いすの車内外への 乗り降り

3

3-1. スロープを使用する前に ご使用前に確認して いただきたいこと	36
3-2. 車いすの車内外への 乗降・固定	
操作の流れ	41
作動条件の確認	50
車高調整およびスロープの 展開・格納	51
車いすの車内外への乗降	63
車いすの車内での 固定・解除	99
車いす固定位置のやり直し ...	105
車いす用シートベルト	106
走行する前に	115

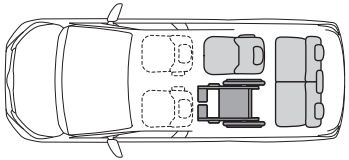
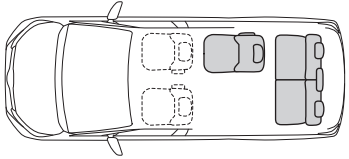
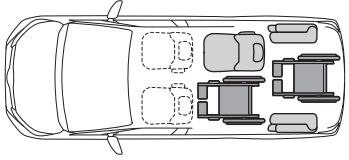
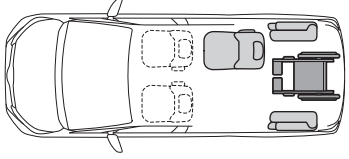
ご使用前に確認していただきたいこと

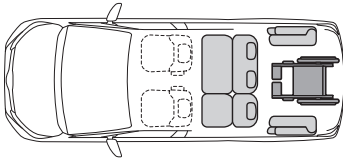
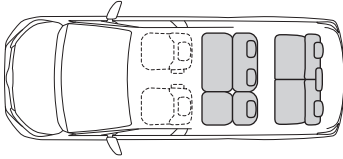
車いすまたは人を乗せた車いすを、スロープ上を移動して車に乗り降りさせます。

車高降下装置で車両後部の車高を低下させ、車いすの車内外への乗り降りを容易にします。

操作はすべて介助の方が行ってください。

室内レイアウト

車両タイプ		室内レイアウト	乗車人数
タイプ I	車いす 1名仕様		車いすご利用時 乗車人数 7 名 (6 名+車いす 1 名)
	車いす 2名仕様		車いすを ご利用しないとき 乗車人数 6 名
	車いす 2名仕様		車いすご利用時 乗車人数 5 名 (3 名+車いす 2 名)
			車いすご利用時 乗車人数 4 名 (3 名+車いす 1 名)

車両タイプ	室内レイアウト	乗車人数
タイプ Ⅱ		車いすご利用時 乗車人数 6 名 (5 名+車いす 1 名)
		車いすを ご利用しないとき 乗車人数 8 名

路面について

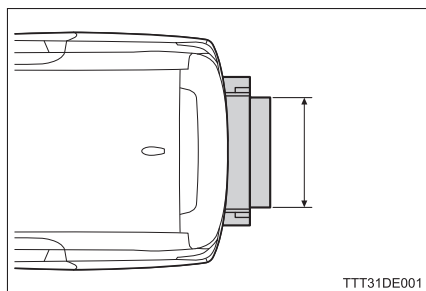
スロープは水平で平坦な場所での使用が条件になります。
また、車両周辺・下側に突起物などがないことを確認してください。

重量について

スロープの耐荷重は 150kg です。

スロープ内幅について

内幅：750mm



TTT31DE001

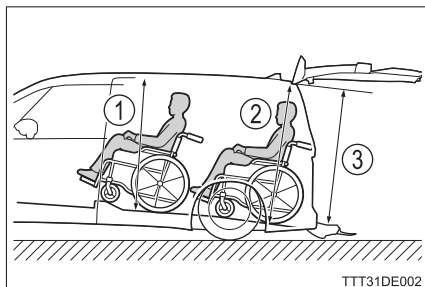
車いすのタイヤ空気圧について

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

車いす乗車の目安

- ① 有効室内高 1330mm
- ② 有効室内高 1370mm ※
- ③ 開口高 1360mm (車高降下時)

※：首が曲がらない方の場合、有効室内高ではなく、開口高(1360mm)を乗車の目安にしてください。

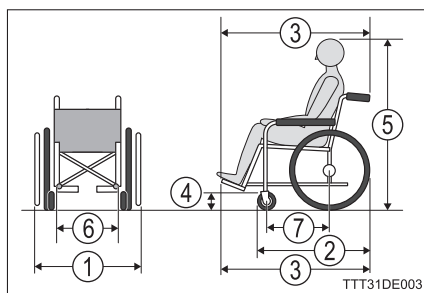


乗車可能な車いすについて

次の寸法を満たしていることを確認してください。

- 電動車いすまたは6輪タイプの車いすは、乗車できません。
- 車いすのフレーム形状によっては、車いす固定装置のフックが正しくかけられないときがあります(→P.100)。その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 車いすのアームレスト下側にカバーなどがある場合、シートベルトを正しく着用できないときがあります(→P.106～110)。その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 固定式転倒防止バー付車いすやフレーム位置が低い車いす、または六輪タイプの車いすで、乗車ができない場合があります。その際はトヨタ販売店にご相談ください。

- ① 車いす全幅
- ② 車いす前輪の前端から後端までの距離
- ③ 車いすのフットレスト先端から後端までの距離
- ④ 地面からフットレストの最下端までの距離
フットレスト自体よりフレームの方が低い場合は、フレーム下端まで
- ⑤ 乗車可能な座高と着座面の高さの合計
- ⑥ フットレストの幅（外寸）
- ⑦ 車いす前輪中心から後輪中心までの距離



乗車位置 部位	車いす前席		車いす後席
	車いす 1 名 乗車時	車いす 2 名 乗車時	
①	670mm 以下	670mm 以下	825mm 以下※ 1
②	830mm 以下	720mm 以下	720mm 以下
③	1150mm 以下	980mm 以下	980mm 以下
④	55mm 以上	55mm 以上	55mm 以上
⑤	1320mm 以下	1320mm 以下	1350mm 以下
⑥	460mm 以下※ 2	460mm 以下※ 2	485mm 以下
⑦	365mm 以上※ 3	365mm 以上※ 3	365mm 以上※ 3

※ 1：タイヤの幅は 710mm 以下（外寸）となります。

※ 2：センターコンソールありの場合は 440mm 以下となります。

※ 3：後輪のサイズが 22 インチの場合の数値となります。

固定・解除スイッチインジケータの状態について

固定・解除スイッチインジケータの状態については、P.90 の知識「■後退防止作動について（セーフティベルト装着車）」または、P.91 の知識「■電動ウインチの作動モードについて（電動ウインチ装着車）」を参照してください。

 警告**■ 走行するときは**

スロープを展開したまま車を移動させないでください。
スロープが損傷したり、スロープおよびバックドアが車外の人やものにあたると
など思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→ P.19)

■ 車いすのタイヤ空気圧について

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車
いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照
し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

■ 車いすを車内に乗り入れたときは

- タイプ I で車いす前席に車いすを乗り入れたときは、助手席シートの後方ス
ライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。
助手席シートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをする
おそれがあります。車いす乗り入れ後、助手席シートの調整をするときは、
車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。
- 車いす後席に車いすを乗り入れたときは、セカンドシートの後方スライドや
背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。
セカンドシートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをす
るおそれがあります。車いす乗り入れ後、セカンドシートの調整をするときは、
車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

操作の流れ

スロープ・セーフティベルト★または電動ウインチ★および車いす固定装置を使用して車いすを車内外に乗降・固定するときは、次の手順で行います。

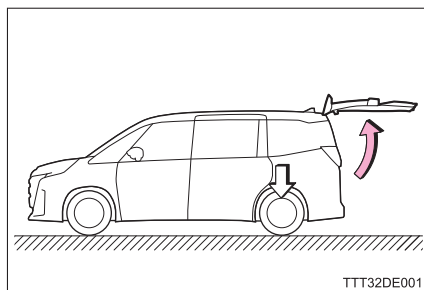
すべての操作は必ず介助の方が行ってください。

車いすを車内に乗り入れ・固定するときは

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま〈ハイブリッドシステムを作動状態のまま〉駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする（→P.13）

- 2 バックドアを開く

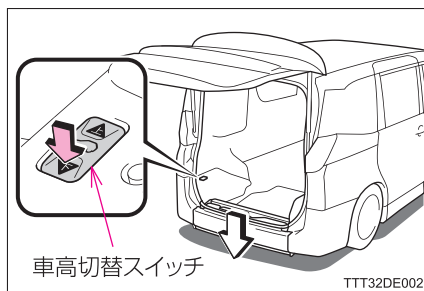
- ▶ バックドア連動車高切替モード
バックドアを開くことで車高を自動で降下させる（→P.51）



TTT32DE001

- ▶ マニュアル車高切替モード

バックドアを開いて、車高切替スイッチの「下」を押し、車高を降下させる（→P.52）

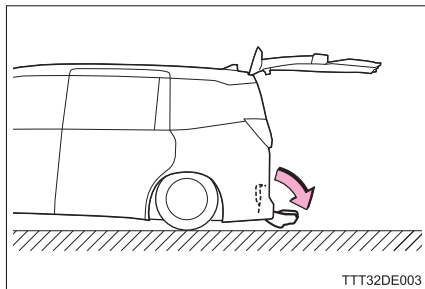


車高切替スイッチ

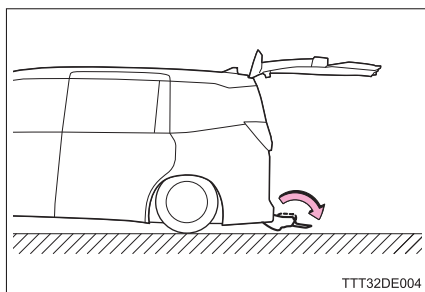
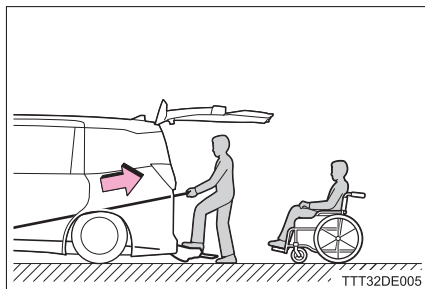
TTT32DE002

3 スロープを展開する

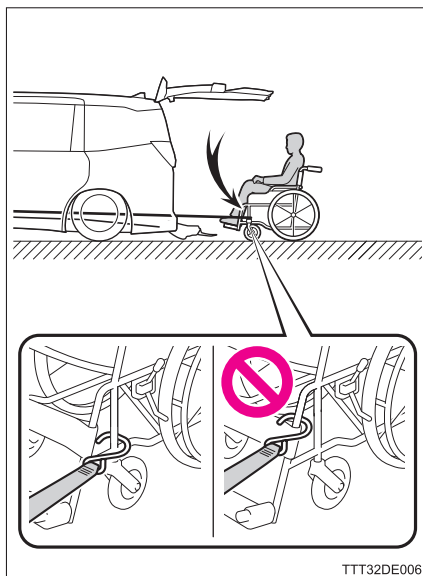
- ① スロープ（1 段目）を展開する（→ P.52）



- ② スロープ（2 段目）を展開する（→ P.53）

**4** サードシートを格納する（→ P.26）**5** 助手席シートおよびセカンドシートの前後位置を調整する（→ P.63 および標準車取扱説明書の「フロントシート」「セカンドシート」）**6** 車いすをスロープに近付けて止め、車いすのブレーキを両輪ともかける（→ P.66, 73）**7** 固定・解除スイッチのインジケーターが点滅していることを確認する（→ P.66, 73）**8** フックを持ってベルトを引き出す（→ P.69, 76）

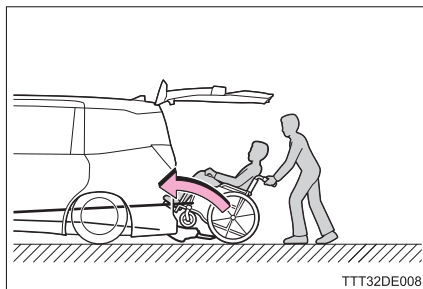
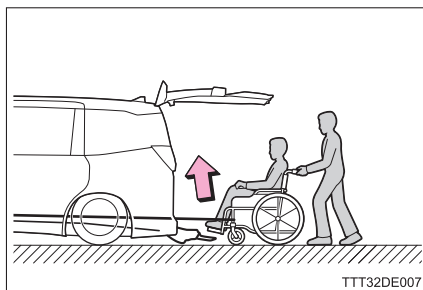
- 9 車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける
(→ P.69, 76)



- 10 車いすを車内に乗り入れる

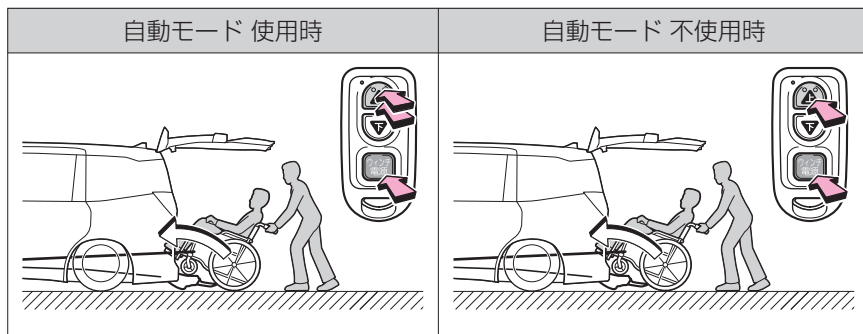
▶ セーフティベルト装着車

- ① 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ② 車いすの前輪を浮かし、スロープに前輪を載せ、車いすの後輪がスロープにあたる位置まで進む
- ③ 車いすの後輪をスロープに押しあてながら後輪を持ち上げて車内に乗り入れる
- ④ 所定の位置まで乗り入れる
(→ P.71, 72)



▶ 電動ウインチ装着車

- ① 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ② 車いすの前輪を浮かし、スロープに前輪を載せ、車いすの後輪がスロープにあたる位置まで進む
- ③ ワイヤレスリモコンを操作し、車いすの後輪をスロープに押しあてながら後輪を持ち上げて車内に乗り入れる (→ P.77, 78)

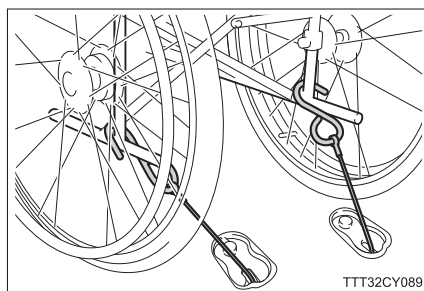


- ④ ワイヤレスリモコンを操作し、所定の位置まで乗り入れる (→ P.80)

11 車いすのブレーキを両輪ともかける

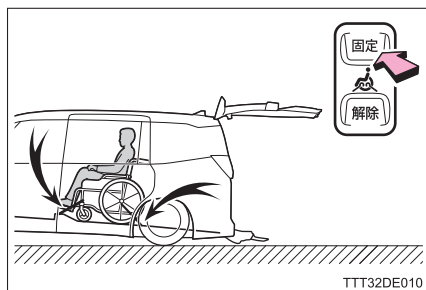
12 車いすを車内に固定する

- ① 車いす固定装置からベルトまたはワイヤーを引き出し、車いすの後部フレームにフックをかける (→ P.100)

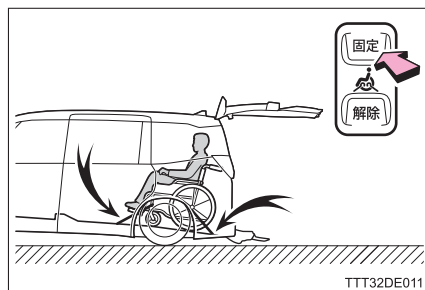


- ② 固定・解除スイッチの「固定」を押す (→ P.100)

▶ 車いす前席



▶ 車いす後席

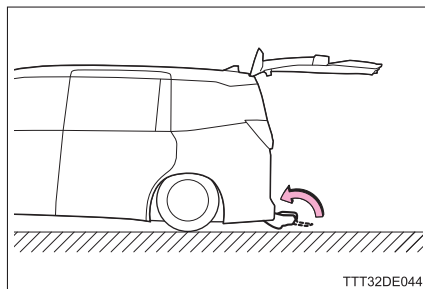


■ 車いす固定後に車いすの位置を直したい場合 (→ P.105)

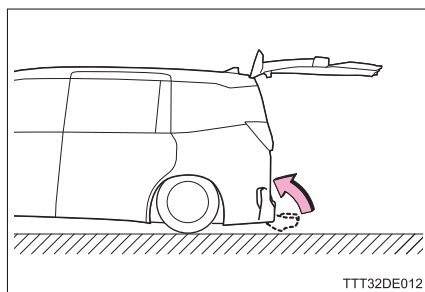
13 車いす用シートベルトを着用する (→ P.106 ~ 110)

14 スロープを格納する

- ① スロープ (2 段目) を格納する (→ P.54)



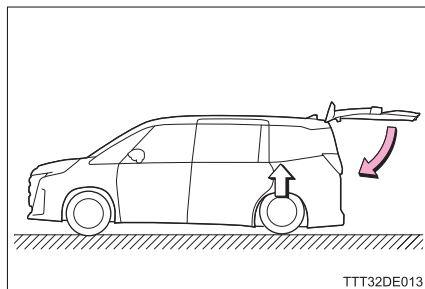
- ② スロープ (1 段目) を格納する (→ P.54)



15 バックドアを閉める

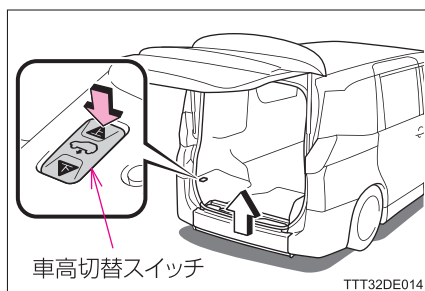
▶ バックドア連動車高切替モード

バックドアを閉めることで車高を自動で復帰させる (→ P.54)



▶ マニュアル車高切替モード

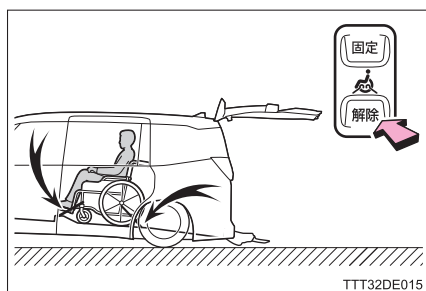
車高切替スイッチの「上」を押し、車高を復帰させてからバックドアを閉める (→ P.55)



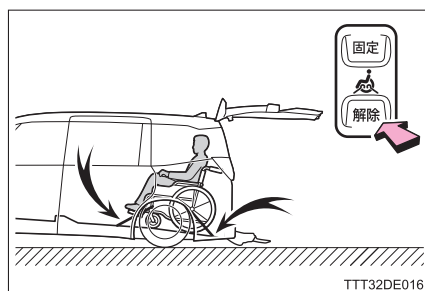
車いすを車外に降ろすときは

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま〈ハイブリッドシステムを作動状態のまま〉駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする
- 2 バックドアを開け、車高を降下させる（バックドア連動車高切替モード→ P.51 / マニュアル車高切替モード→ P.52）
- 3 スロープを展開する（→ P.52）
- 4 車いす用シートベルトをはずす（→ P.111, 112）
- 5 車いすの固定を解除する（→ P.102）
 - ① 固定・解除スイッチの「解除」を押し、ベルトまたはワイヤーをゆるめる
 - ② 車いすの後部フレームからフックを取りはずす

▶ 車いす前席



▶ 車いす後席



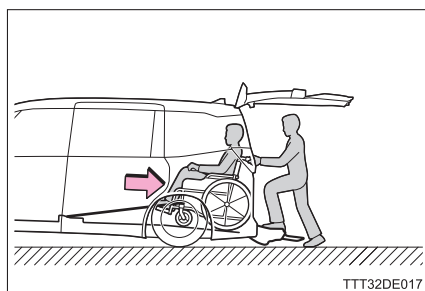
- 6 車いすのブレーキを両輪とも解除し、セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用して、車いすを車外に降ろす

▶ セーフティベルト装着車

- ① 固定・解除スイッチのインジケーターが点滅していることを確認する（→ P.81）

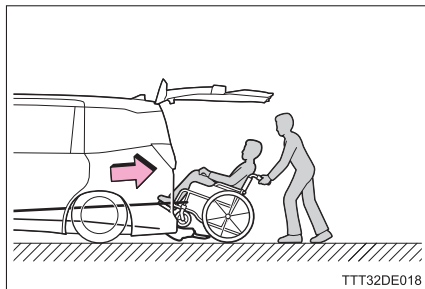
消灯している場合は再度固定・解除スイッチの「解除」を押して点滅させる

- ② 車いすのブレーキを両輪とも解除する



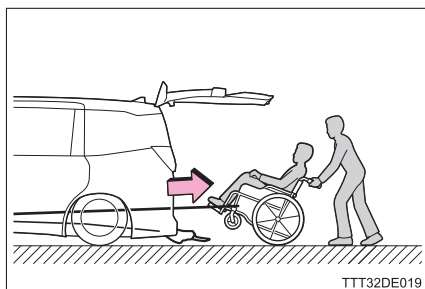
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ③ 車いすの後輪をゆっくり車外に降ろす (→ P.82)



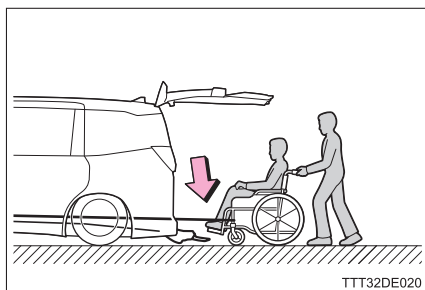
- ④ 車いすの角度を③の状態のまま後退する

車いすを降ろしたときにフットレストがスロープにあたらない位置まで後退してください。



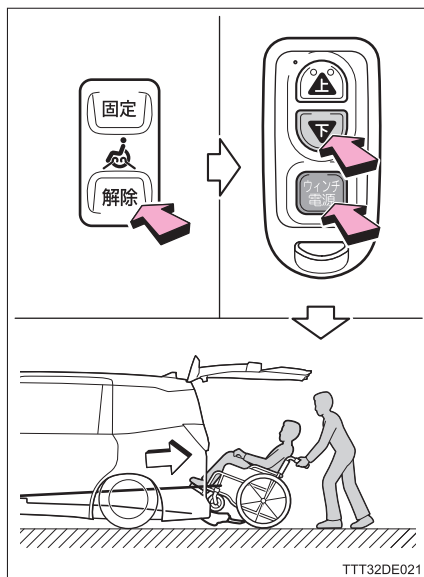
- ⑤ 車いすの前輪をゆっくり車外に降ろす

フットレストがスロープにあたらないように注意してください。



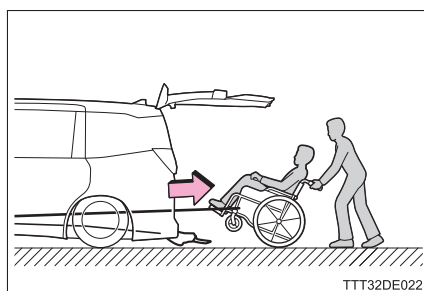
▶ 電動ウィンチ装着車

- ① 固定・解除スイッチのインジケーターが点滅していることを確認する (→ P.84)
消灯している場合は再度固定・解除スイッチの「解除」を押して点滅させる
- ② 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ③ ワイヤレスリモコンを操作し、車いすの後輪をゆっくり車外に降ろす (→ P.85)



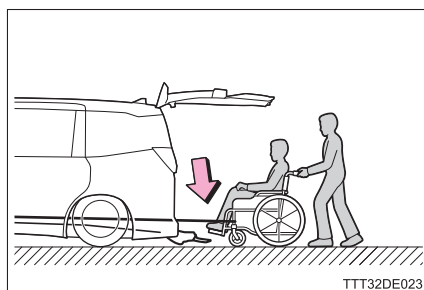
- ④ 車いすの角度を③の状態のまま後退する

車いすを降ろしたときにフットレストがスロープにあたらない位置まで後退してください。

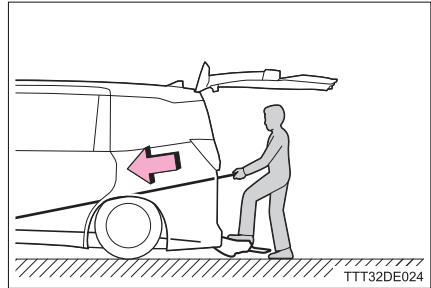


- ⑤ 車いすの前輪をゆっくり車外に降ろす

フットレストがスロープにあたらないように注意してください。



- 7 車いすのブレーキを両輪ともかける
- 8 セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすの前部フレームから取りはずし、ベルトがねじれないように巻き取る (→ P.83, 87)



- 9 スロープを格納させる (→ P.54)
- 10 バックドアを閉め、車高を復帰させる (バックドア連動車高切替モード→ P.54 /マニュアル車高切替モード→ P.55)

作動条件の確認

各装置の作動条件について

車高降下装置、セーフティベルト★、電動ウインチ★、車いす固定装置の各装置は、次の作動条件をすべて満たす場合に作動します。

- 作動条件をすべて満たさない状態でスイッチを押しても、作動しません。
- 作動途中で作動条件を満たさなくなると、装置の作動が停止します。

装置	作動条件
車高降下装置	エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉※
	シフトレバー／シフトポジション「Pの位置」
	バックドア「開」
セーフティベルト★ 電動ウインチ★ 車いす固定装置	エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉※
	バックドア「開」

※：エンジン〈ハイブリッドシステム〉停止状態ではバッテリーあがりの原因になったり、十分な性能を引き出せないおそれがあるため、エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉で使用してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車高調整およびスロープの展開・格納

車高降下装置はエアサスペンションにより車両後部の車高を低下させ、車いすの車内外への乗り降りを容易にします。

操作前の確認事項

- 車高降下装置の作動条件を確認してください。(→ P.50)
- パーキングブレーキを確実にかけ、ブレーキペダルを踏まずに操作してください。
ブレーキペダルを踏んだまま操作すると、車高降下・復帰完了しません。

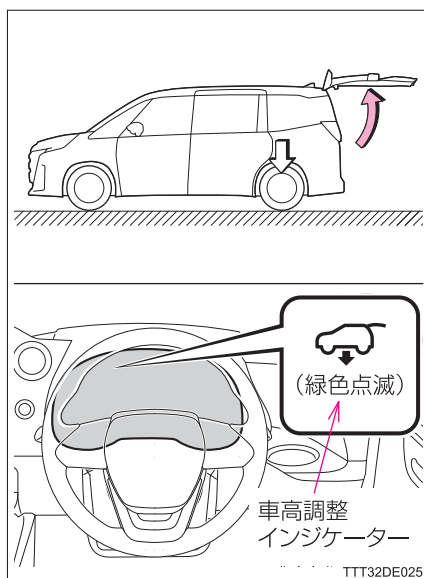
車高降下およびスロープの展開のしかた

1 車高を降下させる

▶ バックドア連動車高切替モード

バックドアを開く

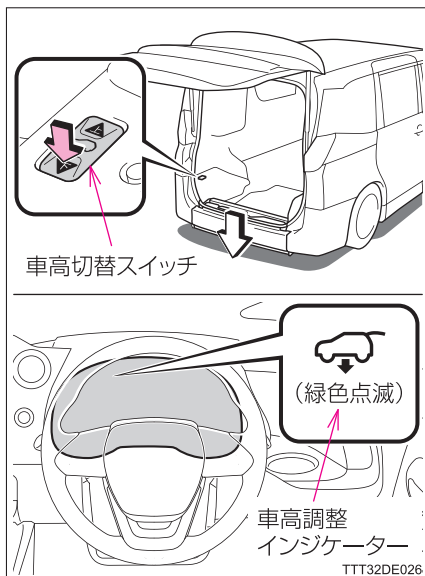
- ・ バックドア連動車高切替モード中は、メーター内の車高調整インジケーターが常時、緑色点灯しています。
- ・ バックドアを開くことで車高が自動的に降下します。
- ・ 車高降下が始まり、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点滅します。
- ・ 車高が下がりきると自動的に停止し、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点滅し続けます。



▶ マニュアル車高切替モード

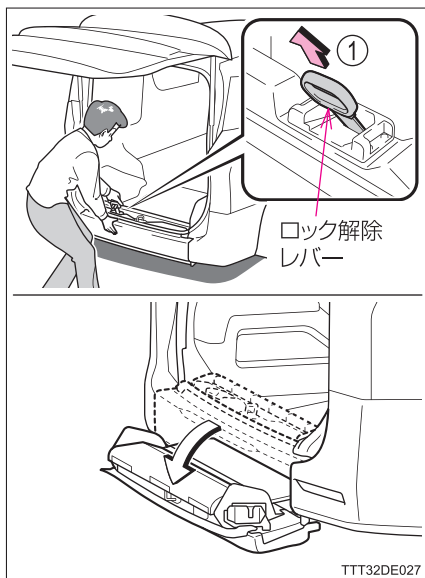
バックドアを開いて、車高切替スイッチの「下」を押し、車高を降下させる

- ・ 車高降下が始まり、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点滅します。
- ・ 車高が下がるときと自動的に停止し、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点滅し続けます。

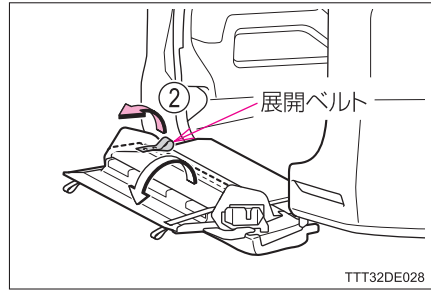


2 スロープを展開する

- ① ロック解除レバーを引き、スロープのロックを解除し、スロープ（1 段目）を展開する



- ② 展開ベルトを引き、スロープ（2段階目）を展開する



■ 車高降下を途中でやめるときは

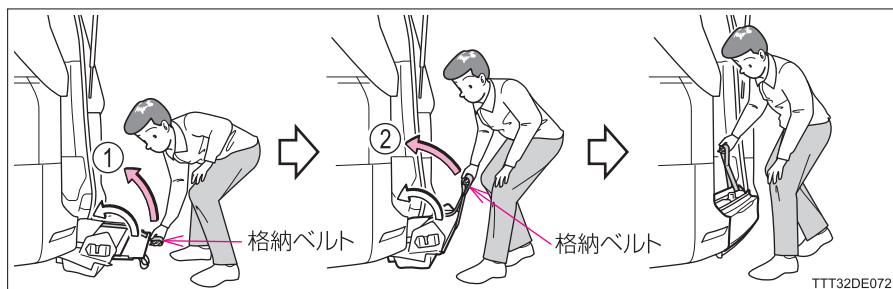
不測の事態により、車高降下を途中でやめたいときは、作動途中で車高切替スイッチの「上」を押すと、車高が復帰（上昇）します。

再度車高切替スイッチの「下」を押すと、車高が降下します。

スロープの格納および車高復帰のしかた

1 スロープを格納する

- ① 格納ベルトを引き上げ、スロープ（２段目）を格納する
- ② さらに格納ベルトを引き上げ、スロープ（１段目）を格納する
 - ・ 最後まで格納すると“カチ・カチ”と音がしてロックされます。
 - ・ ゆっくり引くとスロープがフルロックされない場合があります。
 - ・ スロープを前後にゆすり、左右とも確実にフルロックしていることを確認します。
 - ・ ロックされていないときは、スロープを再度展開し（→ P.52）、スロープの格納をやり直してください。

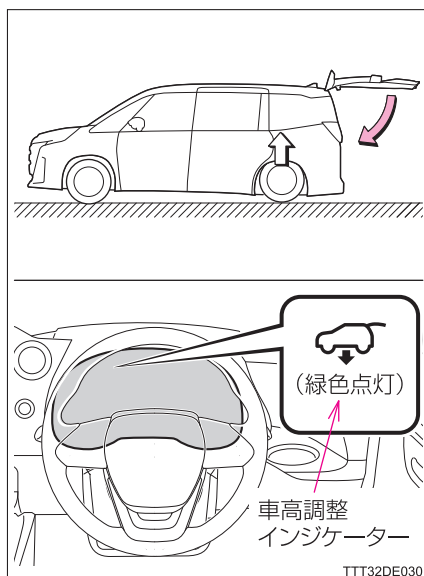


2 車高を復帰させる

▶ バックドア連動車高切替モード

バックドアを閉める

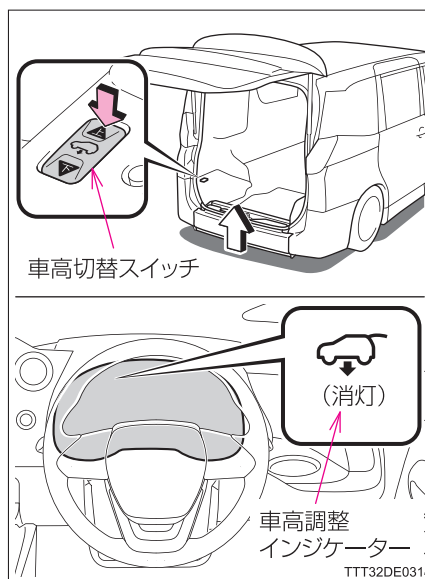
- ・ バックドアを閉めることで車高が自動的に復帰します。
- ・ 車高復帰が始まり、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点滅し続けます。
- ・ 車高復帰が完了すると自動的に停止し、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点灯します。
- ・ バックドア連動車高切替モード中は、メーター内の車高調整インジケーターが常時、緑色点灯し続けます。



▶ マニュアル車高切替モード

車高切替スイッチの「上」を押し、
車高復帰させる

- ・ 車高復帰が始まり、メーター内の車高調整インジケーターが緑色点滅し続けます。
- ・ 車高復帰が完了すると自動的に停止し、メーター内の車高調整インジケーターが消灯します。



 知識

■ 車高復帰忘れ防止機能について

万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバー／シフトポジションを P 以外の位置に操作すると、車高が自動復帰します。

■ 車高切替モードについて

▶ バックドア連動車高切替モード

車高切替スイッチが「下」になっているときに、バックドアの開閉により自動で車高が降下・復帰（上昇）します。

- ・ メーター内車高調整インジケータは、車高復帰後に常時緑色点灯します。
- ・ 車いすの乗降が多い場合に向いています。

作動	メーター内車高調整 インジケータ
降下・復帰（上昇）中	緑色点滅
復帰完了・標準車高時	緑色点灯

▶ マニュアル車高切替モード

バックドアを開けて、車高切替スイッチを押すことで車高が降下・復帰（上昇）します。

- ・ メーター内車高調整インジケータは、車高復帰後に消灯します。
- ・ 車いすの乗降以外にもご利用する場合に向いています。

作動	メーター内車高調整 インジケータ
降下・復帰（上昇）中	緑色点滅
復帰完了・標準車高時	消灯

 知識

■ 車高降下装置について

- ブレーキペダルを踏んだまま車高切替スイッチを押すと、車高降下時は 10 秒間作動後・車高復帰時は 15 秒間作動後に作動を中断します。
- 車高復帰中にブレーキペダルを踏むと、車高復帰を中断します。ブレーキペダルを踏んでいる時間が 95 秒未満であれば、ブレーキペダルから足を離すと、車高復帰を再開します。
- 車高降下装置の作動を 95 秒以上中断させた場合、ブレーキペダルから足を離し、車高切替スイッチをバックドア連動車高切替モード時は「上」を押し、マニュアル車高切替モード時は、「下」を押してから「上」を押すと、車高復帰を再開します。
- 車高降下・復帰操作を短時間にくり返し（目安として 4 分間に 3 回以上）行くと、エアサスペンションのコンプレッサの過熱防止（保護）のため、しばらく作動しなくなることがあります。
 - ・ エンジンスイッチ ON の状態で 10 分以上待機してから車高切替スイッチを押すと、再度車高降下装置が作動します。
 - ・ 再度車高降下装置が作動しなくなった場合は、エンジンスイッチ ON の状態で 70 分以上待機してから車高切替スイッチを押すと、再度車高降下装置が作動します。
- 氷・雪または石などがボデーに接触していると、車高降下を行っても車高降下速度が遅くなったり、車高降下が完了しないことがあります。
この場合、エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してから障害物を取り除いてください。
- エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止すると、気温の変化により多少車高がかわることがあります。その場合、エンジン〈ハイブリッドシステム〉を始動するとともにもどります。

知識

■ 車高降下装置の作動音について

次のようなときに、エアサスペンションが作動し、車両左側後方からコンプレッサまたはバルブの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- スイッチ操作による車高調整時
車高切替スイッチにより、車高をかえたとき
- オートレベリング機能※による車高調整時
 - ・ 乗員や荷物など積載条件の変化により車高が変わり、車高調整が作動したとき
 - ・ エアサスペンションの温度変化により車高が変わり、車高調整が作動したとき
 - ・ 縁石に乗ったり降りたりして、車高調整が作動したとき
 車高が変化しても、一定時間経過しないと車高降下装置は作動しません。
(作動までの時間は条件によって異なります)

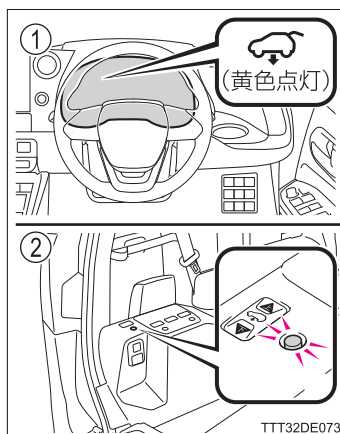
※：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

■ 車高降下装置のシステムに異常が発生したときは

車高降下・復帰を中断し、次のように異常が発生したことをお知らせします。

- ① メーター内の車高調整インジケーター：黄色点灯
- ② 左リヤデッキサイド部の車高降下装置異常ランプ：黄色点灯

上記の場合は、すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。



■ 車高降下装置異常ランプについて

作動確認のためにエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後またはエンジンをかける〈ハイブリッドシステム作動状態〉と消灯しますが、この場合は車高降下装置の異常ではありません。

知識

■ 車高調整インジケーターについて

バックドア連動車高切替モード時：

作動確認のためにエンジンスイッチを ON またはエンジンをかける〈ハイブリッドシステム作動状態〉と緑色点灯し続けますが、この場合は車高降下装置の異常ではありません。

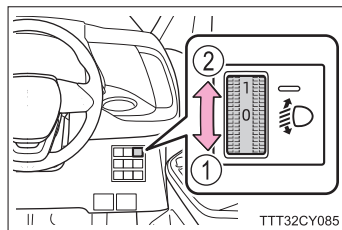
マニュアル車高切替モード時：

作動確認のためにエンジンスイッチを ON にすると緑色点灯し、数秒後またはエンジンをかける〈ハイブリッドシステム作動状態〉と消灯しますが、この場合は車高降下装置の異常ではありません。

■ ヘッドランプ光軸切りかえについて

ヘッドランプ点灯状態で通行人や対向車がまぶしくないように、手動光軸調整ダイヤルを次のように操作してください。

- ① 車高降下前：手動光軸調整ダイヤルを“5”にし、ヘッドランプの光軸を下げてください。
- ② 車高復帰後：車いす乗車時または、降車後に手動光軸調整ダイヤルを“0”にし、ヘッドランプの光軸をもどしてください。



 警告**■エアサスペンションについて**

次の状況ではエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。
エンジンがかかった状態〈ハイブリッドシステム作動状態〉だと、オートレベリング機能※により車高がかわり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 縁石などに乗り上げて駐車するとき
- 脱輪したとき
- ジャッキアップするとき
- タイヤチェーンを装着するとき
- レッカー車などで車を持ち上げてけん引するとき

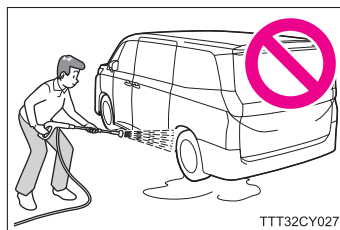
※：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

 警告**■ 車高調整およびスロープを使用するときは**

- 車両周辺・バックドア下側に人がいないこと、車両下側や後輪付近に突起物などがないことを十分確認してください。
車高降下時、車両後端が大きく下がるため、手足を挟むなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、車両を損傷するおそれもあります。
バックドアも車高に合わせて動くため、バックドア端部などで顔や頭を打たないように注意してください。
- 操作前にパーキングブレーキを確実にかけ、車高降下装置作動中はブレーキペダルを踏まないでください。
ブレーキペダルから足を離したとき、車高が急にかわり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車高降下中、シフトレバー／シフトポジションを P 以外の位置にしないでください。
P 以外の位置にすると車高が自動復帰し、転倒するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- スロープを展開したまま車を移動させないでください。
そのまま移動するとスロープが損傷したり、スロープおよびバックドアが車外の人やものにあたると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- スロープに車いすの前輪または後輪を載せたときは、車高切替スイッチを押さないでください。
スロープの角度が変わり、車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 注意**■故障・損傷・破損を防ぐために**

- 砂利道など凹凸面のある路面では車高降下時、バンパー表面を傷付けるおそれがありますのでご注意ください。
- ドアを開けた状態で車高を降下させるときは、ドア下部にドアと接触するおそれがあるようなものがないことを確認してください。
- 長期間にわたって駐車する場合、車高が自然に低下することがあります。（エンジン〈ハイブリッドシステム〉を始動すると、もとにもどります）
長期間にわたって車両を駐車するときは、車高が下がった場合に、ボデーと接触するおそれのあるものがないことを確認してください。
- スロープを格納したときは、スロープを前後にゆすり、左右とも確実にフルロックしていることを確認してください。
確実にロックしていないと、走行中異音が発生するおそれがあります。
- スロープを格納したときは格納ベルトが室内に格納されたことを確認して下さい。
汚れ、ほつれが発生するおそれがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、エアサスペンション部およびコンプレッサ部に直接水があたらないようにしてください。
水圧が高いため、直接水があたるとエアサスペンション部の部品が破損するおそれがあります。



車いすの車内外への乗降

セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用して、車いすを車内外に乗降します。

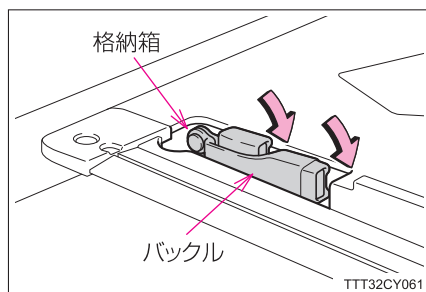
装備により操作方法が異なります。お乗りのお車に該当する項目を参照してください。

操作前の確認事項

セーフティベルト（セーフティベルト装着車）または電動ウインチ（電動ウインチ装着車）の作動条件を確認してください。（→ P.50）

車いすを車内に乗り入れる前に

- 1 サードシートが着座状態になっているときは、サードシートを格納する（→ P.26）
- 2 車いすの乗り入れ状態に応じて、助手席シートおよびセカンドシートを次のように調整する
 - ▶ タイプ I の助手席シート
助手席シートを前方にスライドさせる
助手席シートに乗車の方の足元が窮屈になります。
 - ▶ セカンドシート
セカンドシートを前方にスライドさせる
セカンドシートに乗車の方の足元が窮屈になります。
- 3 車いす前席用シートベルトのバックルを格納する（タイプ I 車いす 2 名仕様）

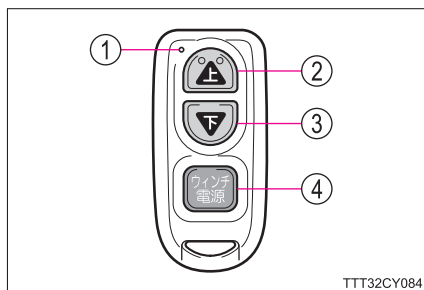


ワイヤレスリモコン（電動ウインチ装着車）

ワイヤレスリモコンで電動ウインチのベルトの引き出し・巻き上げ操作ができます。

■各部の名称

- ① 動作表示 LED
- ② 上スイッチ
- ③ 下スイッチ
- ④ 電源スイッチ



■使い方

ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、10 秒以内（動作表示 LED 赤色点灯時）に上スイッチまたは下スイッチを押し続ける（動作表示 LED 緑色点滅）

●自動モード

ショートスロープ付近で、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し 10 秒以内（動作表示 LED 赤色点灯時）に上スイッチを 2 回連続で押す。（動作表示 LED 緑色点滅）

ワイヤレスリモコンカバー（電動ウインチ装着車）

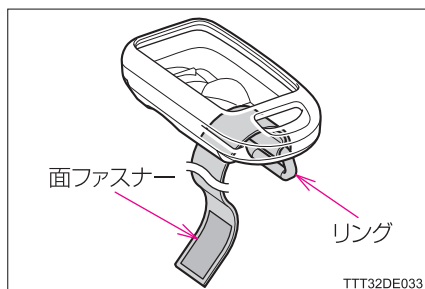
ワイヤレスリモコンを車いすに取り付けて、操作ができます。

状況に応じて、ワイヤレスリモコンカバーをご使用ください。

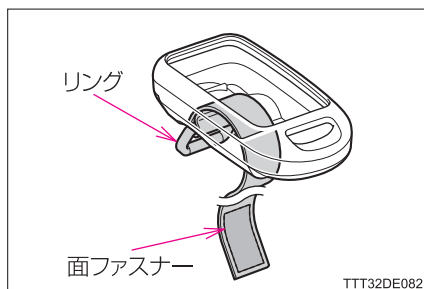
■ 取り付け方法

- ① ワイヤレスリモコンカバーにベルトを通す
(リングがワイヤレスリモコンカバーに当たるまで通す)

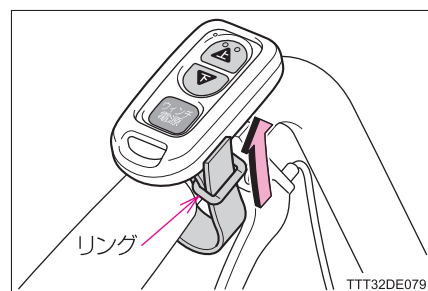
▶ リモコン縦向き固定の場合



▶ リモコン横向き固定の場合



- ② ワイヤレスリモコンにワイヤレスリモコンカバーを取り付ける
- ③ 車いすのハンドルに載せ、ベルトの端をリングに通す



- ④ ベルトの端を下に引っ張る



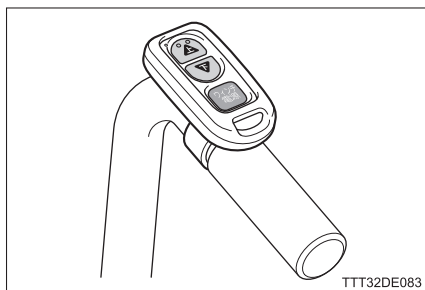
- ⑤ ベルトの端を巻き付けて、面ファスナーで固定する



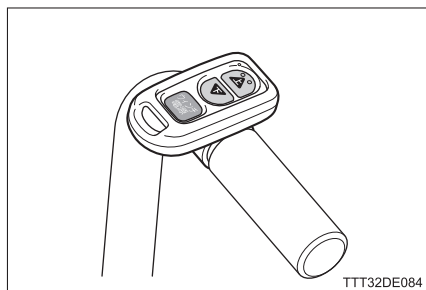
■ ワイヤレスリモコンカバーの向きについて

ワイヤレスリモコンカバーはベルトを通す方向を変えることで、縦または横向きで使用できます。操作しやすい向きで固定してください。

▶ リモコン縦向き固定の場合

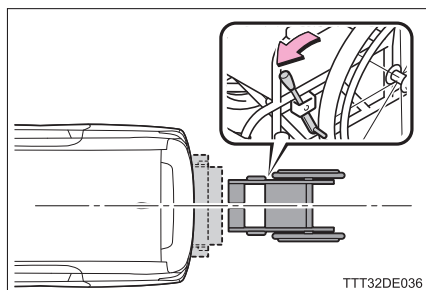


▶ リモコン横向き固定の場合



車いすを車内に乗り入れるときは（セーフティベルト装着車）

- 1 車いす用シートベルトのバックルおよびプレートを格納してください。
- 2 車いすをスロープの手前で停止し、車いすのブレーキを両輪ともかける
車いすの中央付近とスロープの中央付近を合わせます。

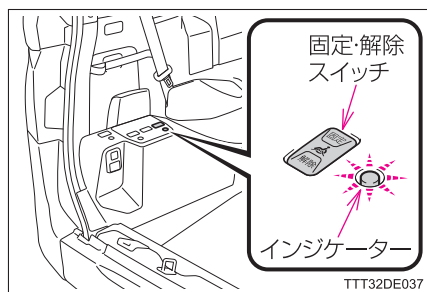


- 3 乗り入れる側の固定・解除スイッチのインジケータの状態を確認する

▶ 車いす前席

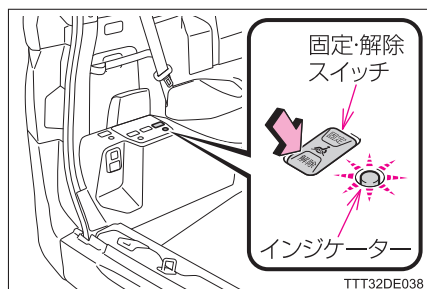
■ ランプが点滅

車いす前席側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅していることを確認する



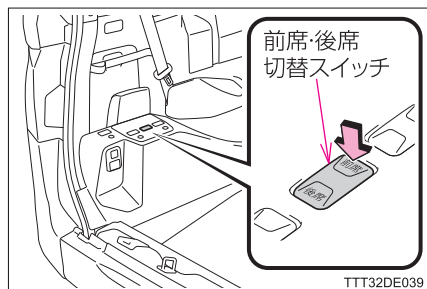
■ ランプが消灯

車いす前席側の固定・解除スイッチのインジケータが消灯しているときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する

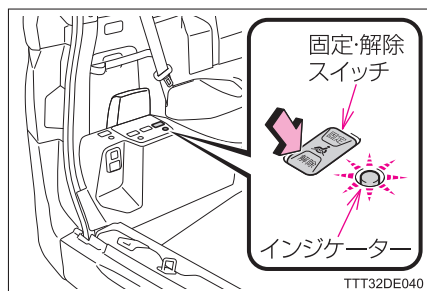


■ 車いすうしろ側が点滅 (タイプ I 車いす 2 名仕様)

- ① 車いすうしろ側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅しているときは、前席・後席切替スイッチの「前席」を押す



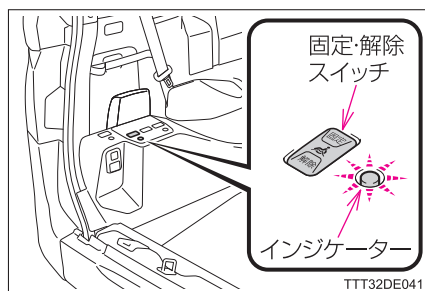
- ② 固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する



▶ 車いす後席

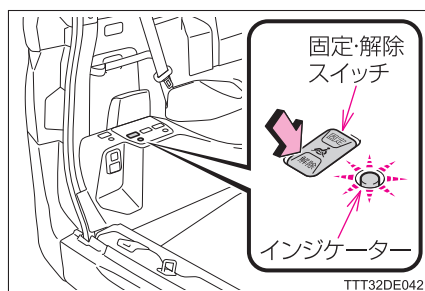
■ ランプが点滅

車いす後席側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅していることを確認する



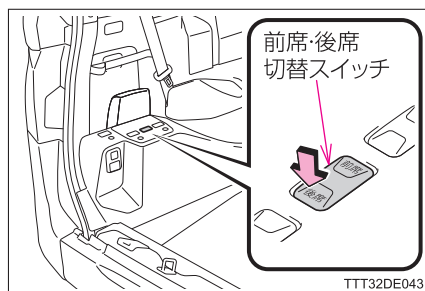
■ ランプが消灯

車いす後席側の固定・解除スイッチのインジケータが消灯しているときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する

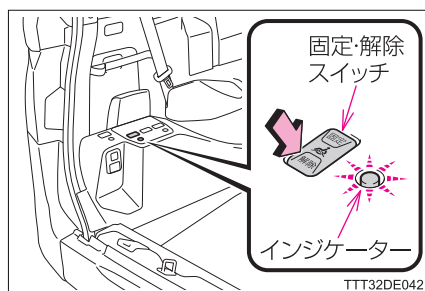


■ 車いす前席側が点滅 (タイプ I 車いす 2 名仕様)

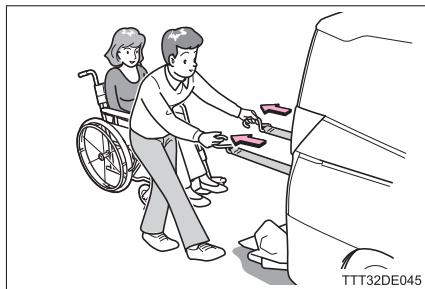
- ① 車いす前側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅しているときは、前席・後席切替スイッチの「後席」を押す



- ② 固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する

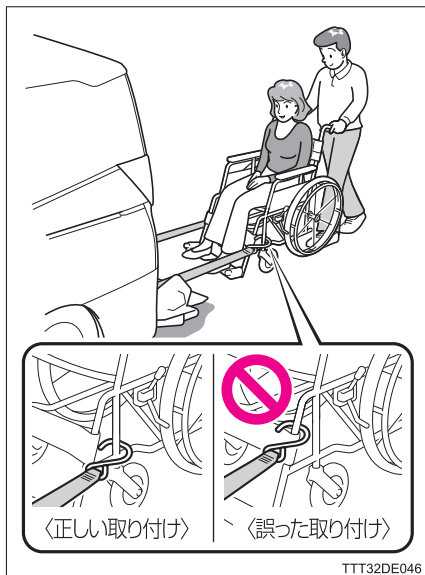


- 4 ベルトのフックを持ち、手動でベルトを引き出しながら、車いすに近付く
ベルトがねじれないように引き出します。



TTT32DE045

- 5 ベルトにねじれがない状態で、車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける



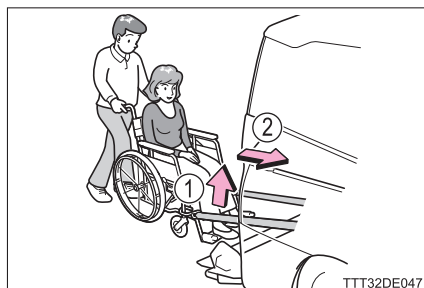
TTT32DE046

6 車いすのブレーキを両輪とも解除する

7 車いすを車内に乗り入れる

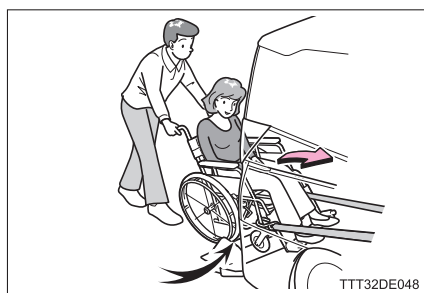
- ① 車いすの前輪を浮かす
- ② 車いすの前輪を浮かしたまま、スロープに前輪を載せ、車いすの後輪がスロープにあたる位置まで進む

車いす乗車の方の足がスロープにあたらないよう、注意しながら行います。

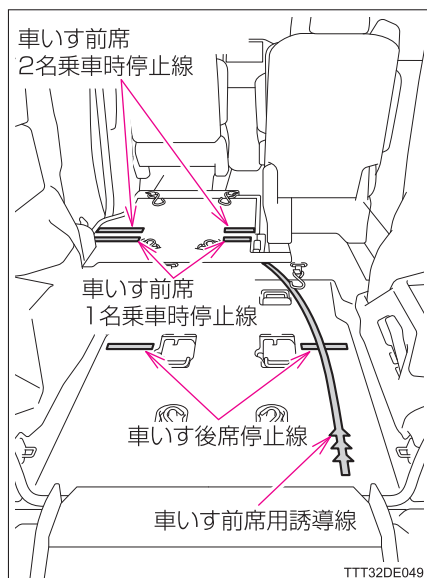


- ③ 車いすの後輪をスロープに押しあてながら後輪を持ち上げ、車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れる

- ・ 車いすの後輪がスロープから離れないように注意しながら行います。
- ・ 中央付近を合わせた位置に乗り入れないと、セーフティベルトが車いす乗車の方の足やフットレストに引っかかる場合があります。
- ・ 車いす乗車の方の足や車いすが他のシートにあたらないよう、注意しながら行います。
- ・ セーフティベルトは車いすを車内に乗り入れ始めると、自動的に巻き取られます。
- ・ セーフティベルトが巻き取られ始め、ベルトのフックがスロープ上にきますと固定・解除インジケータが消灯し、後退防止機能が作動します。
- ・ 介助の方の足がスロープにあたったり、踏みはすさないよう、注意しながら行います。
- ・ 介助の方は、車いすから手を離さないよう、注意しながら行います。



- ・ 車いすの右後輪を車いす前席用誘導線に沿わせて乗り入れることで、車いす前席に乗り入れがしやすくなります。

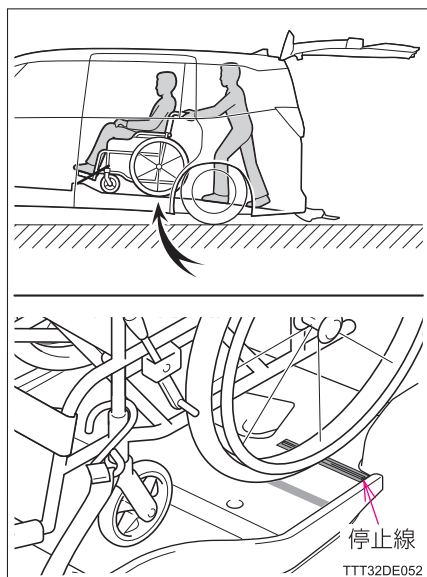


■ 車いす前席

車いすの後輪が停止線の位置までゆっくり乗り入れる

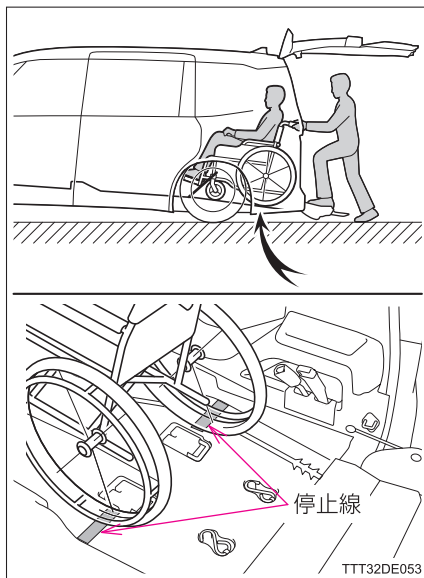
停止線には、凸状の段差が1本あります。

(車いすを2名乗り入れる場合
→ P.88)



■ 車いす後席

車いすの後輪が停止線の位置までゆっくり乗り入れる

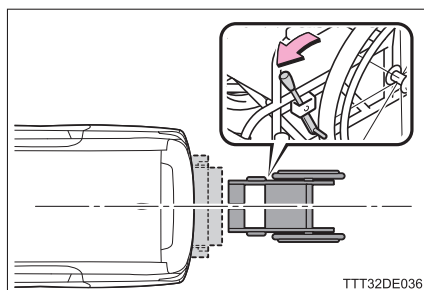


車いすを車内に乗り入れるときは（電動ウインチ装着車）

- 1 車いす用シートベルトのバックルおよびプレートを格納してください。

- 2 車いすをスロープの手前で停止し、車いすのブレーキを両輪ともかける

車いすの中央付近とスロープの中央付近を合わせます。

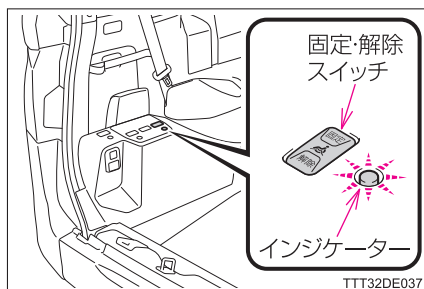


- 3 乗り入れる側の固定・解除スイッチのインジケーターの状態を確認する

▶ 車いす前席

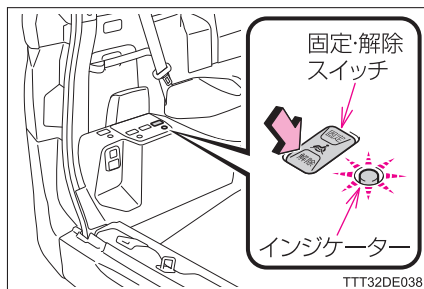
■ ランプが点滅

車いす前席側の固定・解除スイッチのインジケーターが点滅していることを確認する



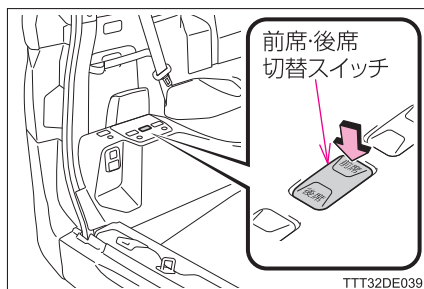
■ ランプが消灯

車いす前席側の固定・解除スイッチのインジケーターが消灯しているときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する

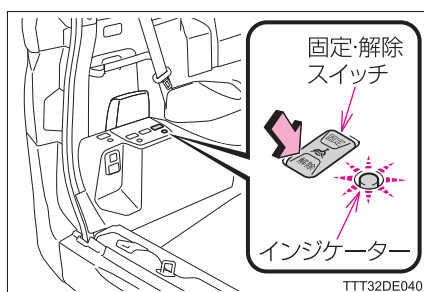


■ 車いすうしろ側が点滅 (タイプ I 車いす 2 名仕様)

- ① 車いすうしろ側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅しているときは、前席・後席切替スイッチの「前席」を押す



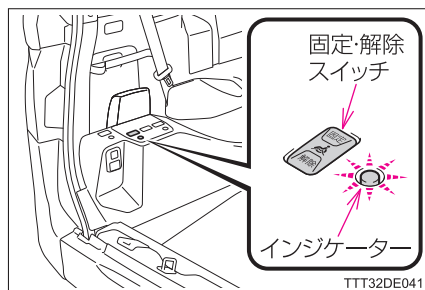
- ② 固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する



▶ 車いす後席

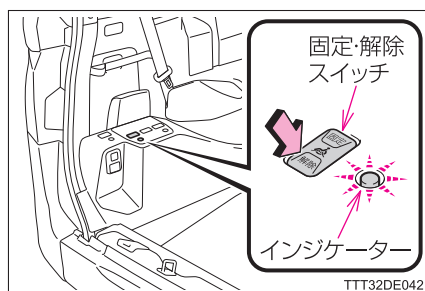
■ ランプが点滅

車いす後席側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅していることを確認する



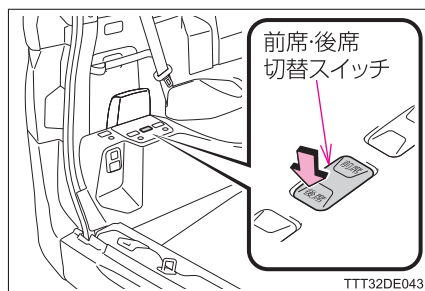
■ ランプが消灯

車いす後席側の固定・解除スイッチのインジケータが消灯しているときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する

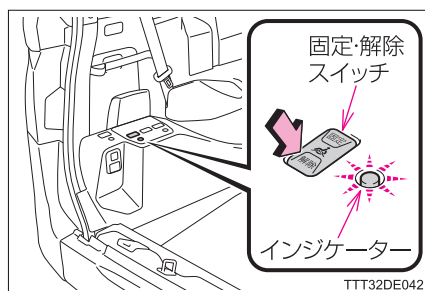


■ 車いす前席側が点滅 (タイプ I 車いす 2 名仕様)

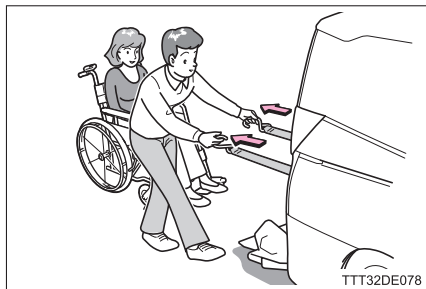
- ① 車いす前側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅しているときは、前席・後席切替スイッチの「後席」を押す



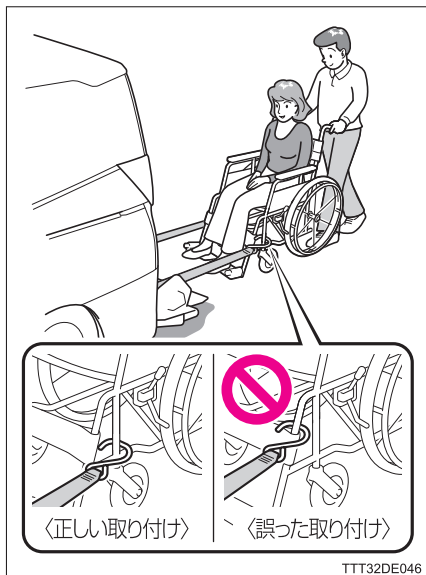
- ② 固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する



- 4 ベルトのフックを持ち、手動でベルトを引き出しながら、車いすに近付く
ベルトがねじれないように引き出します。



- 5 ベルトにねじれがない状態で、車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける



- 6 車いすのブレーキを両輪とも解除する

7 車いすを車内に乗り入れる

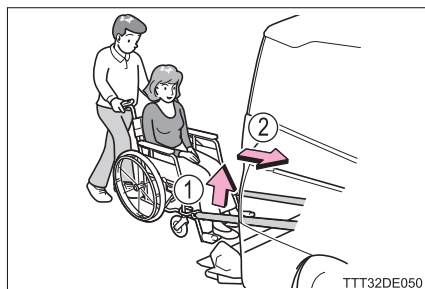
車いす乗車時（スロープ乗り越え時）に電動ウインチが自動で巻き取りをしてくれる“自動モード”とボタンを押し続けて巻き取る方法があります。乗車しやすい方法で操作してください。

（自動モードについて→P.92）

▶ 自動モードを使用する場合

- ① 車いすの前輪を浮かす
- ② 車いすの前輪を浮かしたまま、スロープに前輪を載せ、車いすの後輪がスロープにあたる位置まで進む

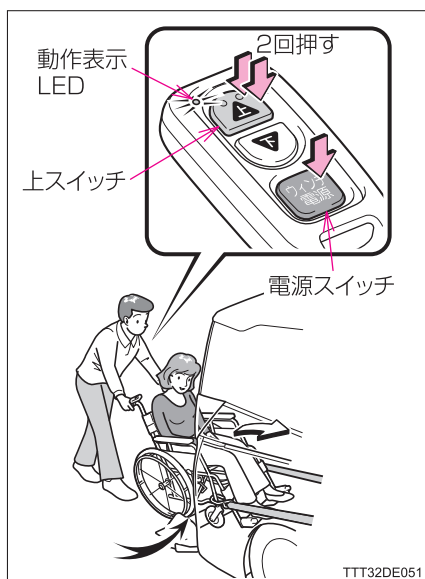
車いす乗車の方の足がスロープにあたらないよう、注意しながら行います。



- ③ ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（10秒以内）に上スイッチを2回連続で押す

動作表示LEDが緑色点滅し、電動ウインチのベルトが自動で巻き取られます。

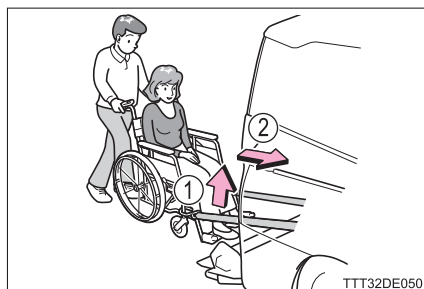
- ④ 電動ウインチのベルトが自動で巻き取り始めたら、車いすの後輪をスロープに押しあて、後輪を持ち上げ、車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れる（乗り入れたあと、自動で一時停止します）



▶ 自動モードを使用しない場合

- ① 車いすの前輪を浮かす
- ② 車いすの前輪を浮かしたまま、スロープに前輪を載せ、車いすの後輪がスロープにあたる位置まで進む

車いす乗車の方の足がスロープにあたらないよう、注意しながら行います。

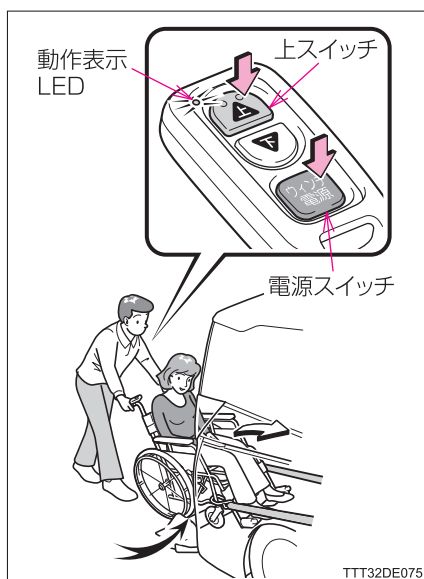


TTT32DE050

- ③ ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（10秒以内）に上スイッチを押し続ける

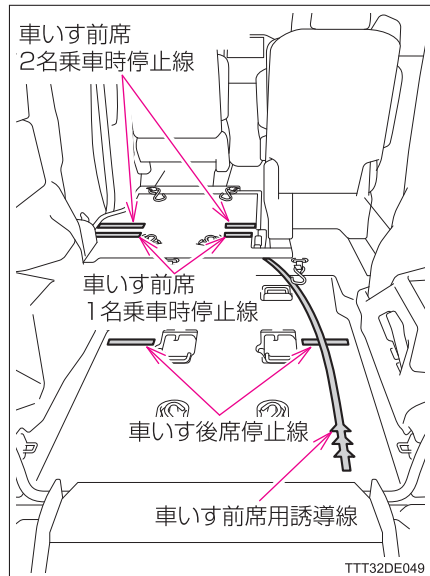
動作表示LEDが緑色点滅し、電動ウインチのベルトが巻き取られます。

- ④ ベルトを巻き取りながら、車いすの後輪をスロープに押しあて、後輪を持ち上げ、車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れる



TTT32DE075

- ・ 車いすの後輪がスロープから離れないように注意しながら行います。
- ・ 中央付近を合わせた位置に乗り入れないと、電動ウインチのベルトが車いす乗車の方の足やフットレストに引っかかる場合があります。
- ・ 車いす乗車の方の足や車いすが他のシートにあたらないよう、注意しながら行います。
- ・ 介助の方の足がスロープにあたったり、踏みはずさないよう、注意しながら行います。
- ・ 介助の方は、車いすから手を離さないよう、注意しながら行います。
- ・ ベルトが巻き取られ始めると、固定・解除スイッチインジケータが消灯します。
- ・ 車いすの右後輪を車いす前席用誘導線に沿わせて乗り入れることで、車いす前席に乗り入れがしやすくなります。



■ 車いす前席

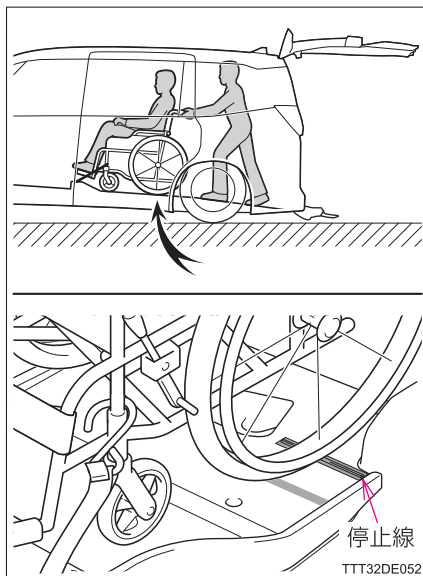
- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（10秒以内）に上スイッチを押し続ける

動作表示LEDが緑色点滅し、電動ウインチのベルトが巻き取られます。

- ② 車いすの後輪が停止線の位置までゆっくり乗り入れる

停止線には、凸状の段差が1本あります。

（車いすを2名乗り入れる場合
→ P.88）

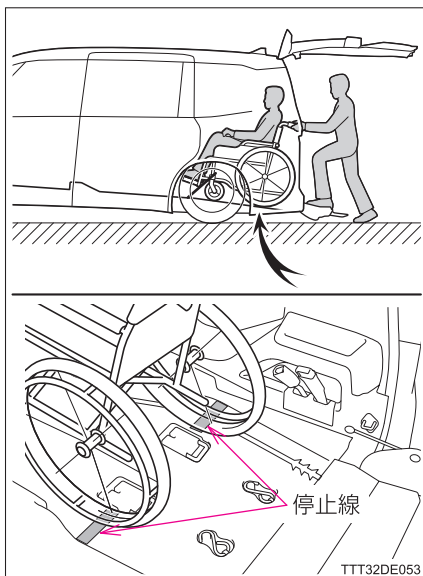


■ 車いす後席

- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（10秒以内）に上スイッチを押し続ける

動作表示LEDが緑色点滅し、電動ウインチのベルトが巻き取られます。

- ② 車いすの後輪が停止線の位置までゆっくり乗り入れる



以上で車いすの車内への乗り入れは完了です。次に車いすを車内に固定します。（→ P.99）

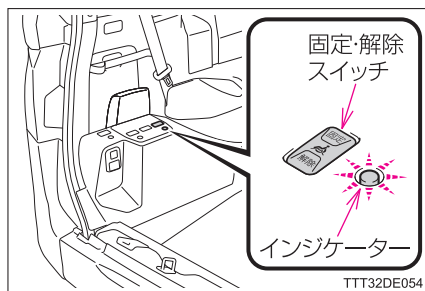
車いすを車外に降ろすときは（セーフティベルト装着車）

1 操作前に、次の状態を確認する

- ・ 車いす用シートベルトがはずされていること（→ P.111）
- ・ 車いすの固定が解除されていること（→ P.102）
- ・ サードシートが格納されていること（車いす前席からの降車時：タイプ I → P.26）

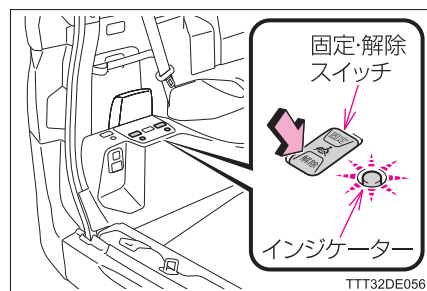
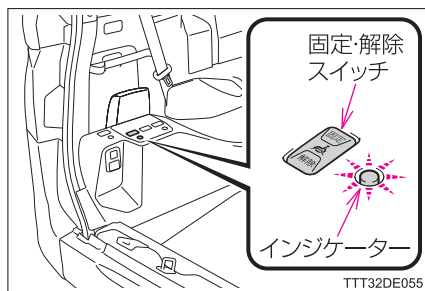
2 車いすを車外に降ろす側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅していることを確認する

▶ 車いす前席



固定・解除スイッチのインジケータが点滅していないときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する

▶ 車いす後席



3 車いすのブレーキを両輪とも解除する

4 車いすを車外に降ろす

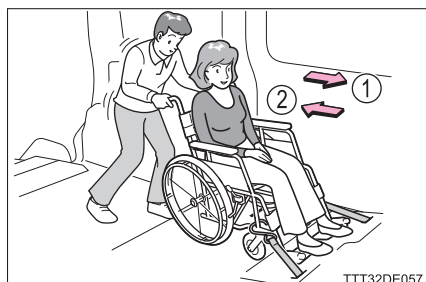
① 車いすを少し前に押す

インジケーターが点滅していない状態で車いすを少し前に押すとベルトが巻き取られます。

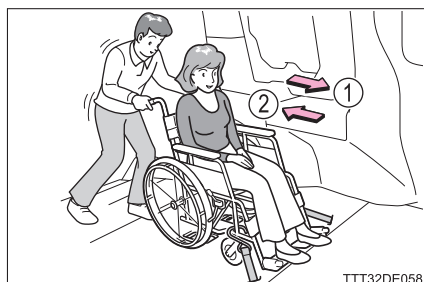
② 車いすを後退させる

- ・ セーフティベルトのフックを付けたまま車外に降ろします。
- ・ 後退防止作動を解除しているため、介助の方は車いすのハンドルをしっかりと持ってください。

■ 車いす前席

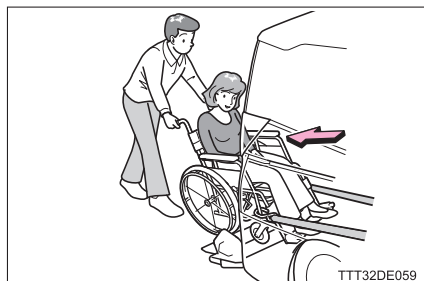


■ 車いす後席



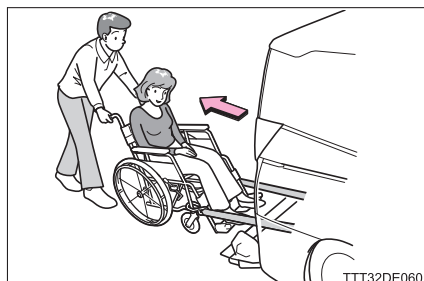
③ 車いすの後輪をゆっくり車外に降ろす

- ・ 介助の方は足元の安全を確認し、降ろします。
- ・ 介助の方は車いすのハンドルをしっかりと持ってください。
- ・ 車いすの後輪がスロープから離れないように注意してください。



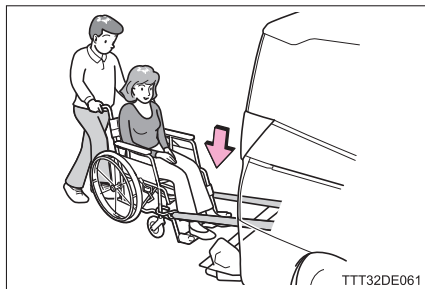
④ 車いすの角度を③の状態（前輪が浮いた状態）のまま後退する

車いすを降ろしたときにフットレストがスロープにあたらな位置まで後退してください。



⑤ 車いすの前輪をゆっくり車外に降ろす

フットレストがスロープにあたら
ないように注意してください。



⑤ 車いすのブレーキを両輪ともかける

⑥ ベルトのフックを手にとって車いすの前部フレームから取りはずす
フックを片方ずつ、車いすの前部フレームから取りはずします。

⑦ ベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る

車いす前席のベルトは、仮置きバンドに引っかけておくこともできます。(→P.89)

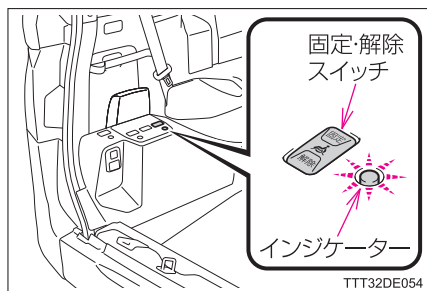
車いすを車外に降ろすときは（電動ウインチ装着車）

1 操作前に、次の状態を確認する

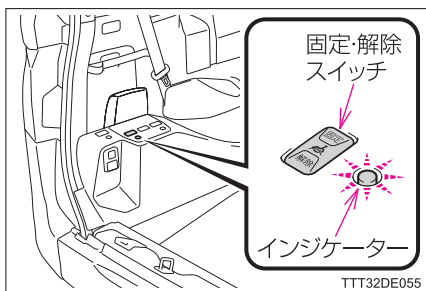
- ・ 車いす用シートベルトがはずされていること（→ P.111）
- ・ 車いすの固定が解除されていること（→ P.102）
- ・ サードシートが格納されていること（車いす前席からの降車時：タイプ I → P.26）

2 車いすを車外に降ろす側の固定・解除スイッチのインジケータが点滅していることを確認する

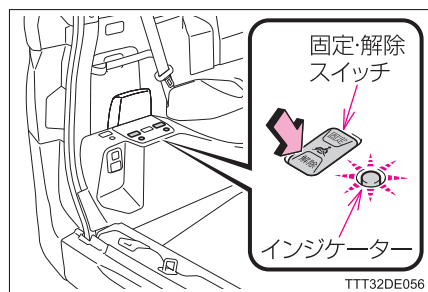
▶ 車いす前席



▶ 車いす後席



固定・解除スイッチのインジケータが点滅していないときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、点滅していることを確認する



3 車いすのブレーキを両輪とも解除する

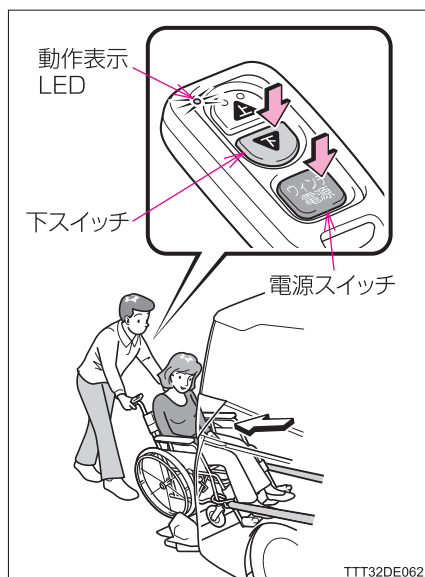
4 車いすを車外に降ろす

- ① ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中（10 秒以内）に下スイッチを押し続ける

- ・ 動作表示 LED が緑色点滅し、電動ウインチのベルトが引き出されます。
- ・ 電動ウインチのベルトが引き出せないときは、P.93 の知識「**■**電動ウインチのベルトが引き出せないときは」を参照してください。

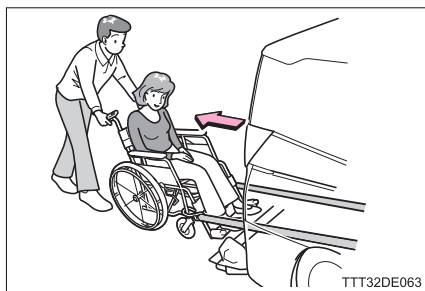
- ② ワイヤレスリモコンを操作し、車いすの後輪をゆっくり車外に降ろす

- ・ 介助の方は足元の安全を確認し、降ろします。
- ・ 介助の方は車いすのハンドルをしっかりと持ってください。
- ・ 車いすの後輪がスロープから離れないように注意してください。



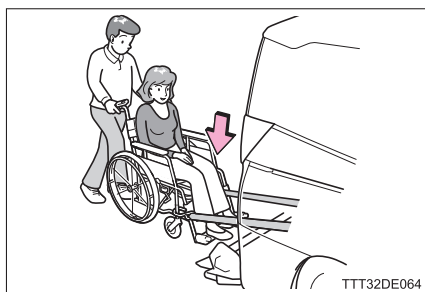
- ③ 車いすの角度を②の状態（前輪が浮いた状態）のまま後退する

車いすを降ろしたときにフットレストがスロープにあたらない位置まで後退してください。



- ④ 車いすの前輪をゆっくり車外に降ろす

フットレストがスロープにあたらないように注意してください。



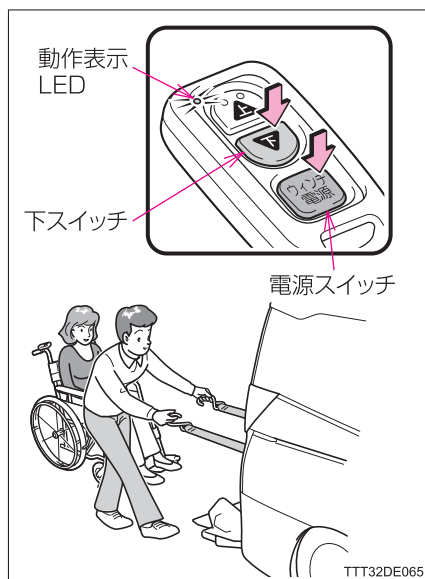
- ⑤ 車いすを少し前に押す

ベルトがフリーモードに切替わります。

- 5** 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 6 ベルトのフックを手にとって車いすの前部フレームから取りはずす
フックを片方ずつ、車いすの前部フレームから取りはずします。

車いすを前に押しにくい場合は、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点灯中（10 秒以内）に下スイッチを押し続けベルトをゆるめ、フックを片方ずつ車いすの前部フレームから取りはずしてください。



- 7 ベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る
車いす前席のベルトは、仮置きバンドに引っかけておくこともできます。（→P.89）

タイプ I “車いす 2 名仕様” で車いすを 2 名乗り入れる場合

車いすを 2 名乗り入れる場合、車いす前席への車いすの乗り入れは次の状態で行います。

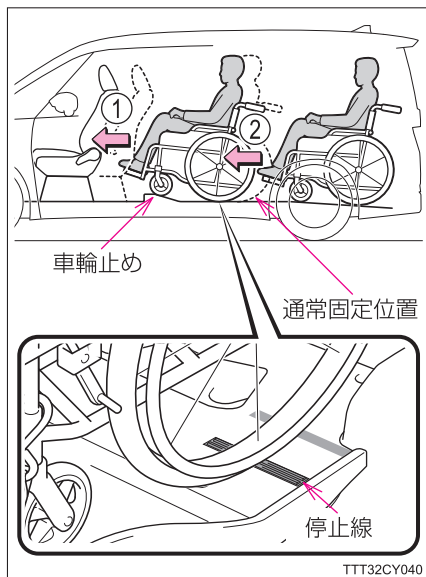
車いす後席は通常の乗り入れ・固定方法で行いますが、車いす後席に固定する車いす乗車の方の足元が窮屈になります。

① 助手席シートを前方にスライドさせる

助手席シートに乗車の方、および車いす前席に乗り入れる車いす乗車の方の足元が窮屈になります。

② 車いすの後輪が車両前側停止線の位置までゆっくり乗り入れる

- ・ 前側停止線には、凸状の段差が 2 本あります。
- ・ うしろ側停止線は、車いす 1 名乗車のときに使用します。



TTT32CY040

知識

■ タイプ I “車いす 2 名仕様” で車いすを 2 名乗り入れる場合の助手席シート位置について

助手席シートをいちばん前までスライドさせると、車いす前席に乗り入れる車いす乗車の方の足元は広がりますが、助手席シートに着座できません。

■ 車いす前席用誘導線について

車いす前席用誘導線は、大きいサイズの車いすに合わせてあります。

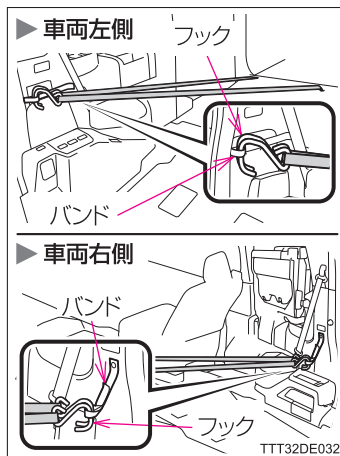
お使いの車いすによっては、車いす前席用誘導線より内側に沿わせたほうが乗り入れしやすい場合があります。

知識

■ 車いす前席のベルト・フックについて

車いす前席のセーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを取りはずしたあと、仮置きバンドに引っかけておくと、次に車いすを車内に乗り入れるとき、車内に入らずにベルト・フックを取り出すことができます。

使用するときは、左右またはどちらか片方にベルト・フックを引っかけて、使用してください。



■ 固定・解除スイッチについて

固定・解除スイッチは、何も操作しない状態が4分以上続くと、インジケーターが消灯し、巻き取りモード 状態に切りかわります。

■ 固定・解除スイッチのインジケーターについて

固定・解除スイッチのインジケーターが通常より早い（高速）点滅している場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ ベルトについて

- セーフティベルト★または電動ウインチ★がねじれていないことを確認してください。ベルトがねじれていると巻き取り不良になり、車いすを完全に車内に入れることができません。
- セーフティベルト★または電動ウインチ★を使用する前にベルトの点検をし、ベルトにほつれ・すり切れや折れる癖がでたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ベルトが汚れるとベルトのもどりが悪くなることがあります。ベルトのもどりが悪くなったときは、ベルトの清掃をしてください。（→ P.120）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 後退防止作動について（セーフティベルト装着車）

セーフティベルトはベルトフリーモード以外のおとき、常に後退防止状態を保持します。（作動条件→ P.50）

作動条件	固定・解除スイッチ インジケーター	作動モード
すべて満たす	点滅	ベルトフリー
	消灯	後退防止作動
1 つでも満たさない		

■ 車いすの上手な乗車・降車方法のポイント（セーフティベルト装着車）

お使いになっている車いすのタイプによっては、車いす乗車後、車いすとサードシート乗車の方やスロープ（スロープを格納した状態）などがあたる場合があります。このような場合は、次の確認および操作をしてください。

車いすとサードシート乗車の方やスロープなどがあたる
● 車いすが左右傾いて固定されていませんか？ ● 乗車時に乗り入れ位置（→ P.71, 72）まで車いすを乗り込ませましたか？
車いすがうしろに下がってしまう
● 固定・解除スイッチのインジケーターは消灯していますか？ ● 車いすのブレーキは両輪ともかかっていますか？

- 降車時にセーフティベルトの後退防止作動が解除できないときは、車いすを少し前に出す、または車いすの後輪を少し持ち上げるなど、ベルトを少しゆるめます。

 知識

■ 電動ウインチの作動モードについて（電動ウインチ装着車）

- 電動ウインチはベルトフリーモード以外のとき、常に後退防止状態を保持します。
- 固定・解除スイッチのインジケータ点滅（ベルトフリーモード）時であっても、ワイヤレスリモコンを操作すると、インジケータが自動的に消灯（ウインチ作動モード）に切りかわります。（作動条件→ P.50）

作動条件	固定・解除スイッチ インジケータ	作動モード
すべて満たす	点滅	ベルトフリー
	消灯	ウインチ作動
1 つでも満たさない	消灯	後退防止作動

■ ワイヤレスリモコンの作動条件について（電動ウインチ装着車）

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲がかわることがあります。
- 周囲の電波状態により、上スイッチまたは下スイッチを押しても電動ウインチが作動しなくなることがあります。そのときはワイヤレスリモコンでの操作位置をかえて操作してください。
その際、スイッチは押し直してください。押し続けたまま操作位置をかえても電動ウインチは作動しません。

■ ワイヤレスリモコンについて（電動ウインチ装着車）

- 電源スイッチを押してから 10 秒以内（動作表示 LED が赤色点灯中）に上スイッチまたは下スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます。（動作表示 LED 消灯）
- 上スイッチまたは下スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離れた時点より 10 秒延長します。
- 電動ウインチ作動中に上スイッチまたは下スイッチから指を離すと、電動ウインチの作動は停止します。
- 電動ウインチは上スイッチまたは下スイッチを断続的に押しても電動ウインチは作動しません。（自動モード以外）
- 複数のスイッチを同時に押すと、電動ウインチは作動しません。
- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・ 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
 - ・ 必ず日本国内でご使用ください。

知識

- ワイヤレスリモコンの送信機または受信機のどちらかのみを交換したときは、ID コードを登録する必要があります。登録はトヨタ販売店にお申し付けください。

■ 自動モードについて（電動ウインチ装着車）

通常、ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押したあと、上または下ボタンを押している間のみ作動しますがショートスロープ付近で電源スイッチを押したあと、動作表示 LED が赤色点灯中（10 秒以内）に上ボタンを 2 回連続で押すことにより、ボタンを押していない間でも一定の距離電動ウインチが自動で巻き取り作動します。

一定の距離移動すると電動ウインチが停止し、再度、電源スイッチを押してから上ボタンを押すことで押している間のみ作動します。

連続 2 回押しで一定の距離作動する条件は、ショートスロープ付近のみになります。

自動巻き取り中に停止したい場合は、ワイヤレスリモコンの上または下ボタンを押してください。



■ ワイヤレスリモコンの電池について（電動ウインチ装着車）

- 電池寿命は約 1 年間です（1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合）。ただし、電池寿命は実際の使用状況によってかわります。
- ワイヤレスリモコンを操作しても電動ウインチが作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、または動作表示 LED が点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます。（→ P.133）

■ 航空機に乗るときは（電動ウインチ装着車）

航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

 知識

■ 参考：電動ウインチ性能について※（車いす前席用：電動ウインチ装着車）

作動時間	条件
30 秒	負荷荷重 0.8kN {80kgf}

※：エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉

■ 電動ウインチのベルトが引き出せないときは（電動ウインチ装着車）

- 電動ウインチのベルトを手動で引き出す際、固定・解除スイッチを押し、ベルトフリーモードにしても、まれにベルトが引き出せないことがあります。
このときはベルトに力が加わっていない状態で再度固定・解除スイッチを押し、ベルトフリーモードにするとベルトが引き出せます。
再度操作をしてもベルトが引き出せないときはトヨタ販売店に連絡してください。
- 車いすを車内に乗り入れた際、車いすの後輪を持ち上げるなどにより、電動ウインチのベルトが過剰に巻き取られた場合、車いすを車外に降ろすときにベルトが引き出せなくなることがあります。
このときは車いすを少し前に出す、または車いすの後輪を少し持ち上げるなど、ベルトを少しゆるめた状態でワイヤレスリモコンの電源スイッチを押してから下スイッチを押すと、ベルトが引き出せます。

 警告**■ 車いす仕様車（ショートスロープタイプⅠ・Ⅱ）の操作をするときは**

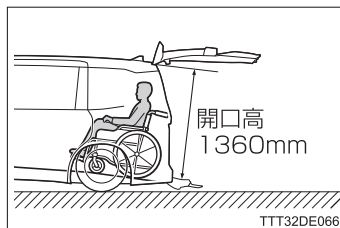
- 操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。
 - ・ 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあり危険です。（車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください）
 - ・ 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。
- 風の強い場所や風雨の強い日、また降雨時や降雪時など悪天候のときはスロープがすべりやすいので注意してください。
- スロープ表面がぬれている状態で車いすをスロープに乗り入れないでください。
スロープ表面がぬれているとすべりやすくなります。スロープ表面の水分をふき取ってから使用してください。
雨天時など、完全に水分をふき取れない場合は、足元に十分注意してください。
- 介助の方は、車いすに乗車されている方の手や足が車いすの内側にあることを確認してください。
車内の部品やシートで手や足を挟み、けがをするおそれがあります。
- 介助の方が車いすから離れるとき（ベルトのフックの脱着時や固定・解除スイッチ操作時など）は、車いすのブレーキを両輪とも確実にかけてください。
車いすのブレーキを両輪ともかけずに車いすから離れると、車いすが自重で後退するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは

- スロープに乗降するときは足元に注意し、スロープ中央を通過してください。
中央以外を通ると格納ベルトに引っかかり転倒するおそれがあり危険です。
傾斜したスロープは車いすがバランスをくずしやすく、脱輪や転倒のおそれがあります。車いすの動きに注意し、ゆっくり乗降してください。

警告

- スロープに車いすを載せたときは、不要なスイッチ類を押したり、シフトレバー／シフトポジションをP以外の位置にしないでください。
装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ 車高切替スイッチの「上」を押すと、スロープの角度が変わり、車いすから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ 固定・解除スイッチを押し、インジケーターが点滅（ベルトフリーモードに移行）すると、後退防止作動が解除され、車いすがスロープから滑り落ちるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ シフトレバー／シフトポジションをP以外の位置にすると、車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わり、車いすが転落するおそれがあり危険です。
- 車いすがスロープに載っていないときに、セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすにかけた状態で、固定・解除スイッチの「固定」を押さないでください。
ベルトが急に巻き取られ、車いす乗車の方の足がスロープに挟まりけがをするおそれがあります。
- 車内外に乗降するときは、バックドア・ドア開口部および天井に頭をぶつけないように注意してください。
スロープに車いすを乗り入れるときや乗り入れ後に車外へ出る（もどる）とき、頭上の注意がおろそかになりやすいので、バックドア端部やバックドア開口部に注意してください。
- 車いすをいきおいよく押し込まないでください。
車いす乗車の方がシートや車内の部品にあたり、けがをするおそれがあります。
- 車いすは必ず所定の位置車いすを車内に乗り入れるときは、必ず車いすの中央付近と車いす固定装置の中央付近を合わせた位置に乗り入れてください。
中央付近に乗り入れないと、セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトが車いす乗車の方の足や車いすのフットレストに引っかかる場合があります。そのまま車いすを固定すると、車いす乗車の方がけがをしたり、車いすの固定が不十分になり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



警告

- 車いすは必ず所定の位置まで乗り入れてください。(セーフティベルト装着車 → P.70 / 電動ウインチ装着車 → P.77 / 車いす 2 名乗車時 → P.88)
車いすが所定の位置まで乗り入れていないと、正しく固定できない場合があります。
- ・ 車いす前席への乗り入れ位置がうしろすぎると、サードシート乗車の方や車いす後席の車いす乗車の方に車いすがあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ・ 車いす後席への乗り入れ位置が前すぎると、車いす乗車の方の足がセカンドシートや車いす前席に乗り入れた車いすにあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ・ 車いす後席への乗り入れ位置がうしろすぎると、バックドアが車いす乗車の方の頭にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
また、バックドアと車いすがあたるなど、バックドアおよび車いすが破損するおそれもあります。
- 車いすを車内に乗り入れたときは、セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすの前部フレームから取りはずさないでください。
セーフティベルト★または電動ウインチ★は車いす前側の固定装置として使用します。セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすの前部フレームから取りはずした状態では車いすが固定されず、走行中に車いすが動き出し、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 車いすを車外に降ろすときは、車いすのブレーキは介助の方が解除し、車いすが不意に動き出さないよう、介助の方がしっかり支えてください。
しっかり支えていないと、車いすのブレーキが解除されたらたん、車いすが動き出し、スロープからすべり落ちるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 車いすを車外に降ろすときは、前輪が降りる位置ですぐに降ろすと車いすのフットレストがスロープにあたり、破損するおそれがあります。
- セーフティベルト★または電動ウインチ★のフックを車いすから取りはずすときは、手に持ってゆっくりと行ってください。
フックから急に手を離すと、ベルトがいきおいよく巻き取られ、けがをするおそれがあります。
- 車いす乗り入れ時、ベルトやベルト巻き取り部で USB 充電コードが巻き込まれないよう注意してください。
USB 充電コードが巻き込まれた場合、コードの断線・ショート、USB 端子の故障・ショート、ウインチの作動不良・故障等につながるおそれがあります。また、噛み込みによりウインチが停止し、車いすから乗員が落ちて負傷するおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告

■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは（セーフティベルト装着車）

車いすを車外に降ろすときは、固定・解除スイッチを押す前に車いすのブレーキを解除しないでください。

先に車いすのブレーキを解除すると、固定・解除スイッチの「解除」を押して、ベルトフリーにされたとたん、車いすが動いて重大な事故につながるおそれがあり危険です。

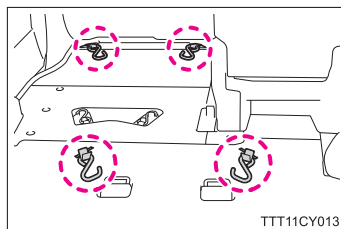
■ 電動ウインチを使用するときは（電動ウインチ装着車）

● 電動ウインチは車いすの車内外への乗り降り専用です。電動ウインチを使用して人やものを引き上げないでください。

電動ウインチの故障やベルトの損傷につながったり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

● 電動ウインチ作動時、ベルトやベルト巻き取り部にふれないでください
ベルトの巻き取り不良やベルト巻き取り部に手などを巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

：ベルト巻き取り部



TTT11CY013

■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは（電動ウインチ装着車）

電動ウインチを使用して車いすを車内外に乗降するときは、介助の方は必ず車いすのうしろで操作し、車いすのハンドルをしっかり支えながら乗り入れてください。

車いすを車内に乗り入れるとき、車いすのハンドルをしっかり支えていないと、車いすの前輪が停止後、前のめりになることがあります。お子さまや体重の軽い方が車いすに乗車されているときは、特に注意してください。（電動ウインチは車いすの乗降を補助するためのものであり、自動で乗降するための装置ではありません）

■ 電波がおよぼす影響について（電動ウインチ装着車）

医療用電気機器（以下を除く）を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ
- 植込み型除細動器

 注意**■故障・破損を防ぐために**

- ベルトがねじれていないことを確認してください。
ベルトがねじれていると巻き取り不良になり、車いすを完全に車内に入れることができません。
- フックを車いすにかける時はフットレスト周辺の部品に強くあたらないようにしてください。またベルト周辺にベルトを傷つける恐れがある物がある場合はベルトが傷付かないように保護してください。

■故障・破損を防ぐために（電動ウインチ装着車）

- 断続的にワイヤレスリモコンの上スイッチまたは下スイッチを押さないでください。（自動モード以外）
故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。（断続的にスイッチを押しても電動ウインチは作動しません）
- 電動ウインチのベルトの巻き取りができない状態（ベルトが車内のものに引っかかって動かない、ベルトがねじれて巻き取れない場合など）のときは、ワイヤレスリモコンの上スイッチを押し続けしないでください。
故障の原因になります。ベルトの巻き取りができないときは、ワイヤレスリモコンの下スイッチを押し続けて少しベルトを引き出してから、障害物やベルトのねじれなどを取り除き、再度ワイヤレスリモコンの電源を入れ、上スイッチを押し続けて巻き取ってください。
- ワイヤレスリモコンは電子部品のため、次のことを必ずお守りください。
 - ・ ダッシュボードの上など、直射日光のあたる場所および高温になるところに置かない
 - ・ 分解しない
 - ・ 落としたり、踏むなどの強い衝撃を与えない
 - ・ 飲料水などをこぼしたり、水たまりなど、水中に落下させない（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください）
- ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。
表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

車いすの車内での固定・解除

ここでは P.38 の「乗車可能な車いす」のサイズを満たす車いすの固定方法を記載しています。

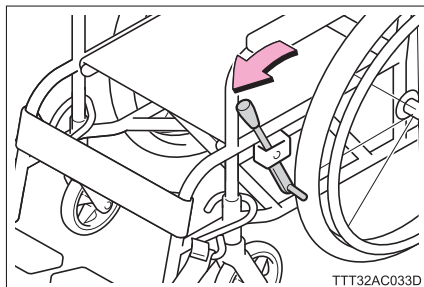
リクライニング車いすを固定するときは、専用の固定ベルトを使用してください。（専用の固定ベルトはトヨタ販売店で購入することができます）

操作前の確認事項

車いす固定装置の作動条件を確認してください。（→ P.50）

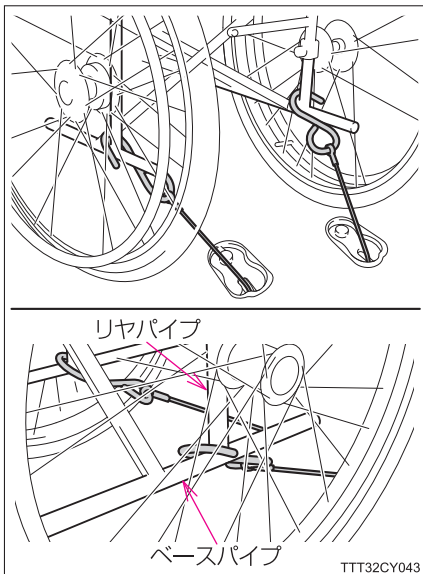
車いすを固定するときは

- 1 操作前に、車いすが所定の位置まで乗り入れていることを確認する
（セーフティベルト装着車→ P.70 / 電動ウインチ装着車→ P.77）
- 2 車いすのブレーキを両輪ともかける



- 3 車いす固定装置のフックを収納部から取りはずして引き出し、フックを車いすの後部フレームに引っかける

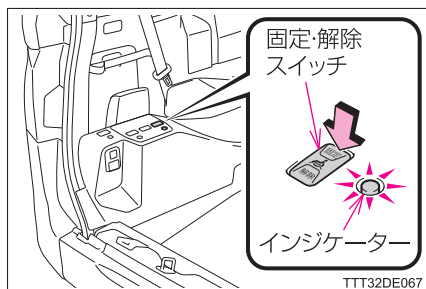
リヤパイプとベースパイプ接合部にフックを引っかけます。



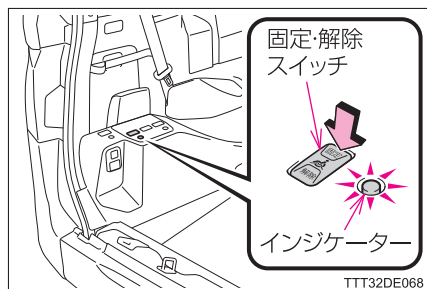
- 4 固定・解除スイッチの「固定」ボタンを押し、車いすを固定する

- ・「固定」ボタンを押すと車いす固定装置フック（うしろ側）、セーフティベルト / 電動ウインチ（前側）の順に巻き取り固定します。
- ・車いすが固定されると、インジケータが点灯します。インジケータが点灯したことを確認してください。

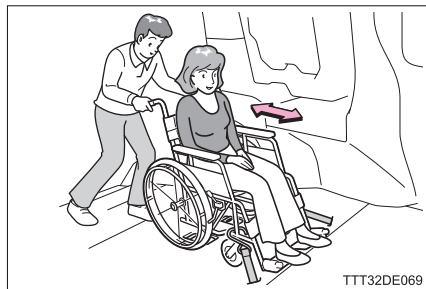
▶ 車いす前席



▶ 車いす後席



- 5 車いすを前後にゆすり、ベルトまたはワイヤーにたるみがなく、車いすが確実に固定されていることを確認する（イラストは車いす後席での固定）



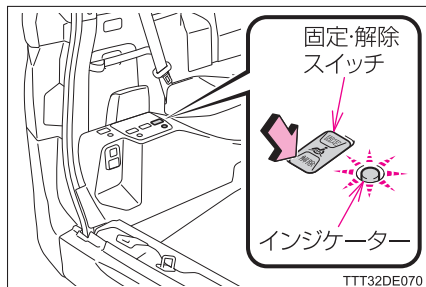
以上で車いすの固定は完了です。次に車いす用シートベルトを着用します。（車いす前席→ P.107 / 車いす後席→ P.109）

車いすの固定を解除するときは

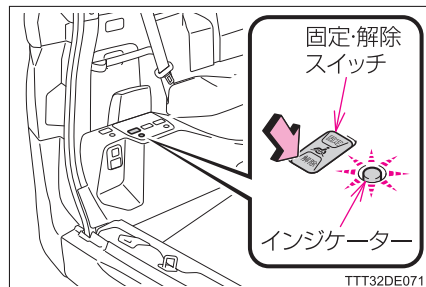
- 1 操作前に、車いす用シートベルトがはずしてあることを確認する (→ P.111)
- 2 固定・解除スイッチの「解除」を押してインジケータが点滅し、ベルトまたはワイヤーが完全にゆるむのを確認する

点滅していないときは再度固定・解除スイッチの「解除」を押して点滅させる

▶ 車いす前席

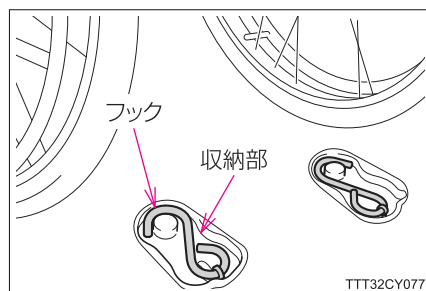


▶ 車いす後席



- 3 車いす固定装置のフックを車いすの後部フレームから取りはずす

- 4 車いす後席のフックは収納部に挿し込む



知識

■ 車いす固定装置について

車いす固定装置は、P.50 の作動条件をすべて満たす場合に作動します。作動条件を 1 つでも満たさない場合は、固定・解除スイッチを押しても車いす固定装置は作動しません。

作動条件	固定・解除スイッチ	車いす固定装置
すべて満たす	固定	巻き締め
	解除	ゆるむ
1 つでも満たさない	固定	作動条件をすべて満たしていたときの状態を保持
	解除	

■ベルトについて（車いす前席）

- 車いす乗り入れ前にベルトの点検をし、ベルトにほつれ・すり切れや折れる癖ができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ベルトが汚れるとベルトの巻き取りがしづらくなることがあります。ベルトの巻き取りがしづらくなったときは、ベルトの清掃をしてください。（→P.120）

■ワイヤーについて（車いす後席）

- 車いす乗り入れ前にワイヤーの点検をし、ワイヤーにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ワイヤーが汚れるとワイヤーのもどりが悪くなることがあります。ワイヤーのもどりが悪くなったときは、ワイヤーの清掃をしてください。（→P.121）

■固定・解除スイッチのインジケーターについて

固定・解除スイッチのインジケーターが通常より早い（高速）点滅している場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

！警告

■車いすを固定するときは

- 車いすを固定する前に、セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトが車いす乗車の方の足や車いすのフットレストに引っかかっていないことを確認してください。
そのまま車いすを固定すると、車いす乗車の方がけがをしたり、車いすの固定が不十分になり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- フックを扱うときは、フックをしっかりと持ってください。
車いす固定装置のベルトおよびワイヤーは自動巻き取り式のため、しっかり持たないとフックやベルトおよびワイヤーが手などにあたり、けがをすることがあります。
- 車いす固定装置のフックを車いすのフレームに脱着するときは、フックとフレームとのあいだで指などを挟まないよう注意してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 警告

- 車いすを固定したときは、車いすを前後にゆすり、ベルトおよびワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。
固定がはずれると走行中に車いすが動きだし、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ 固定を確認しているときに、車いすとフックとのあいだで手を挟まないように注意してください。
 - ・ ベルトおよびワイヤーにねじれがないことを確認してください。ベルトおよびワイヤーがねじれていると十分に固定できない場合があります。
 - ・ 車いすの固定が不十分なときは、車いすの固定位置およびフックを引っかける位置を確認後、固定・解除スイッチの「解除」を押し、操作をやり直してください。
 - ・ 車いすが所定の位置よりずれたときは、固定・解除スイッチの「解除」を押し、操作をやり直してください。(→ P.105)
 - ・ 固定・解除スイッチの「固定」を押しても車いす固定装置が作動しないときは、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 車いす後席の車いす固定装置のフックを取りはずしたときは、必ずフックを収納部にもどしてください。
フックを放置したままだと車いすを車外に降ろすとき、車いすにフックが引っかかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車いす固定装置使用中、ベルトおよびワイヤーが傷付いたりほつれたりした場合は、すぐにトヨタ販売店でベルトおよびワイヤーの交換を行ってください。
そのまま使い続けると、走行中に車いすの固定がはずれ、車いす乗車の方が転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

 注意**故障・損傷などを防ぐために**

車いす固定装置のフックを車いすに引っかけるときは、フックのベルトおよびワイヤーが車いすのフレームの縁などにあたっていないことを確認してください。
ベルトおよびワイヤーが損傷するおそれがあります。

故障・損傷などを防ぐために

車いす後席の車いす固定装置のフックを収納部に収納したまま、固定・解除スイッチの「固定」を押さないでください。
車いす固定装置が故障するおそれがあります。

車いす固定位置のやり直し

車両を動かす前(バックドアを閉める前)に車いすの後輪やハンドルがサードシート乗車の方やバックドアにあたるなど、車いすの固定が不十分で位置を直したい場合に車いす固定位置のやり直し方法を記載しています。

車いす固定位置のやり直し方法

▶ 車いすを前に動かす場合

- ① 固定・解除スイッチの「解除」を1回押し、車いすの固定を解除する
- ② フックを車いすの後部フレームから取りはずす
- ③ 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ④ 車いすを所定の位置まで動かす
- ⑤ P.99の[2]からの操作を行う

▶ 車いすをうしろに動かす場合

- ① 固定・解除スイッチの「解除」を2回押し、車いすの固定を解除し、ベルトフリーモードにする
- ② フックを車いすの後部フレームから取りはずす
- ③ 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ④ 車いすを少し前に押してから、車いすを車外に降ろす
- ⑤ 再度、車いすを所定の位置まで乗り入れる
- ⑥ P.99の[2]からの操作を行う

知識

■ 車いす固定位置のやり直しモードについて

車両を動かす前(バックドアを閉める前)のみのモードです。

車いすの固定位置を調整しやすくするため、後退防止作動へ切り替えができるようになっています。

モード	「解除」スイッチ 操作回数	固定・解除スイッチ インジケーター	作動モード
通常	1回	点滅	ベルトフリー
やり直し	1回	消灯	後退防止作動
	2回	点滅	ベルトフリー

車いす用シートベルト

3点式のシートベルトです。

体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前へ倒れそうなどときには、ベルトが自動的にロックされ体を固定します。

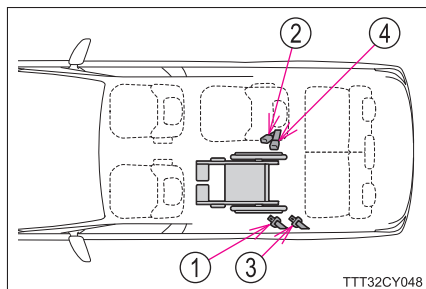
シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の方法に従って走行前に必ず着用してください。

シートベルトの着用は介助の方が行ってください。

シートベルトの構成

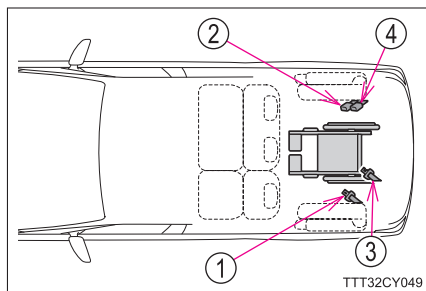
◆ 車いす前席（タイプⅠ）

- ① 腰部ベルト用プレート
- ② 腰部ベルト用バックル
- ③ 肩部ベルト用プレート
- ④ 肩部ベルト用バックル



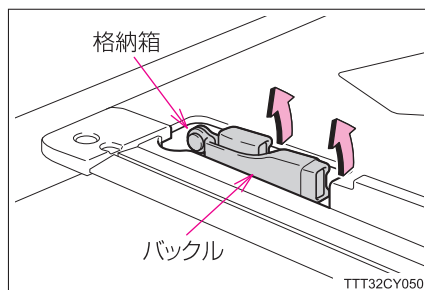
◆ 車いす後席（タイプⅠ “車いす 2 名仕様” / タイプⅡ）

- ① 腰部ベルト用プレート
- ② 腰部ベルト用バックル
- ③ 肩部ベルト用プレート
- ④ 肩部ベルト用バックル



車いす前席での着用のしかた（タイプ I）

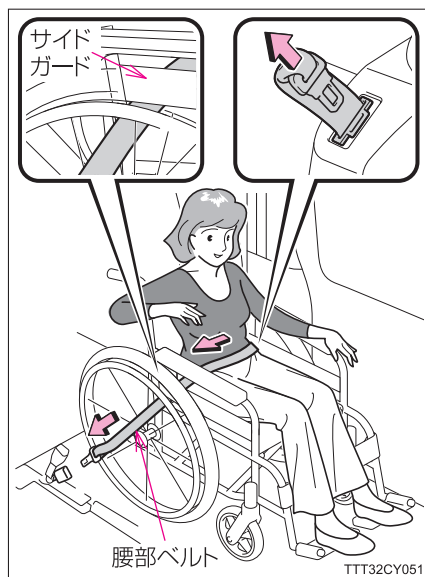
- 1 バックルを格納箱から引き起こす



- 2 腰部ベルトを持って引き出す
ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

- 3 腰部ベルトを車いすの左右の
アームレストの下側および車い
すのスポークのあいだを通し、
腰部ベルトを装着する

- ・ “カチッ” と音がするまでプレートをバックルに挿し込みます。
- ・ バックルは短いものを使用してください。
- ・ サイドガードの下にスペースがある車いすをご使用の場合、サイドガードの下を通してください。



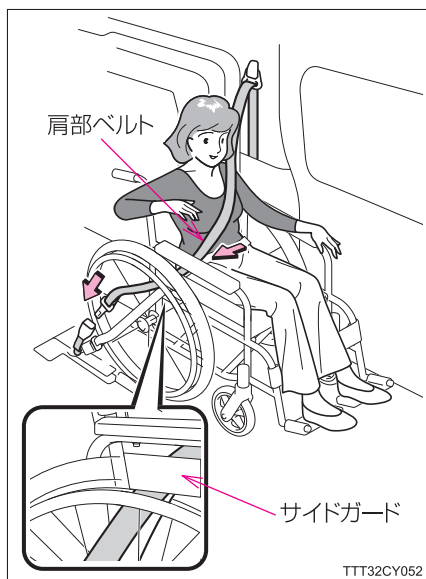
4 肩部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

5 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、肩部ベルトを装着する

“カチッ”と音がするまでプレートバックルに挿し込みます。

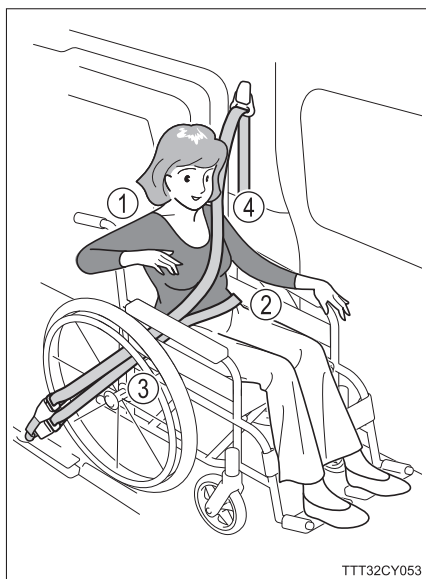
・サイドガードの下にスペースがある車いすをご使用の場合、サイドガードの下を通してください。



■ 正しく着用するには

シートベルトを調整し、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおり正しく着用する

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルトを車いすの左右のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- ③ 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通す
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。



車いす後席での着用のしかた（タイプⅠ “車いす 2 名仕様” / タイプⅡ）

1 腰部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

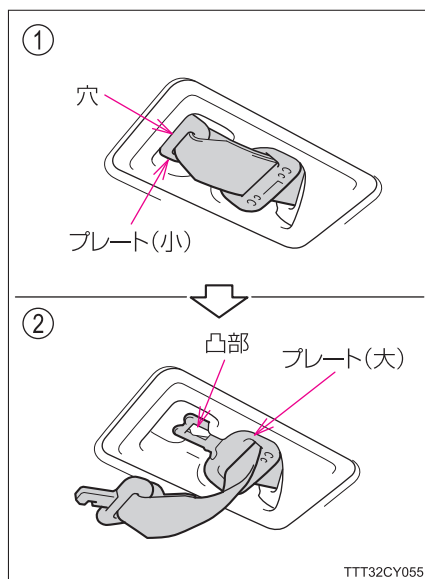
2 腰部ベルトを車いすの左右の
アームレストの下側および車い
すのスポークのあいだを通し、
腰部ベルトを装着する

- ・ “カチッ” と音がするまでプレート
をバックルに挿し込みます。
- ・ バックルは前側のものを使用して
ください。
- ・ サイドガードの下にスペースがあ
る車いすをご使用の場合、サイド
ガードの下を通してください。

3 肩部ベルト※のプレートを格納
箱から取り出す

- ① プレート（小）を格納箱の穴
から引き抜く
- ② プレート（大）を格納箱の凸
部からはずす

※：車いす後席の車いす用シート
ベルトの肩部ベルトは、サード
シート中央席のシートベル
トと共用しています。

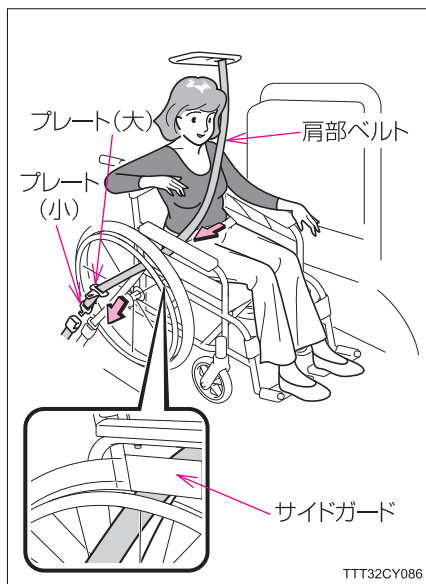


4 肩部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

5 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、肩部ベルトを装着する

- ・“カチッ”と音がするまでプレート（小）をバックルに挿し込みます。
- ・プレート（大）は下側にたらしておきます。
- ・サイドガードの下にスペースがある車いすをご使用の場合、サイドガードの下を通してください。

**正しく着用するには**

シートベルトを調整し、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおり正しく着用する

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルトを車いすの左右のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通し、腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- ③ 肩部ベルトを車いす右側のアームレストの下側および車いすのスポークのあいだを通す
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。

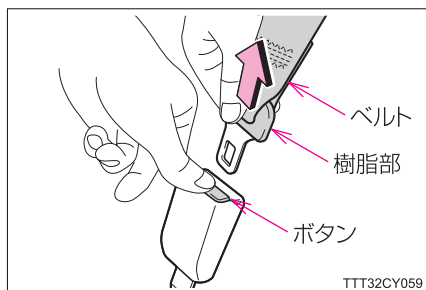


はずし方

1 バックルのボタンを押してプレートをはずす

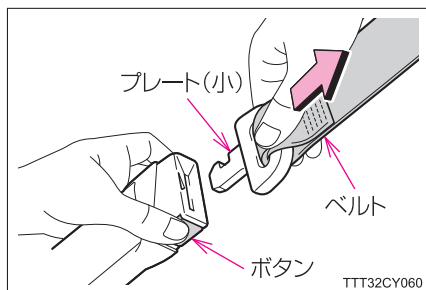
▶ 車いす後席の肩部ベルト用バックル以外

- ① プレートの樹脂部とベルトを持つ
- ② バックルのボタンを押す
- ③ プレートの樹脂部とベルトを持ったまま、ベルトを巻き取らせる



▶ 車いす後席の肩部ベルト用バックル（タイプⅠ “車いす 2 名仕様” / タイプⅡ）

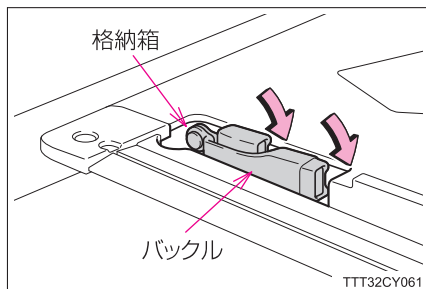
- ① プレート（小）とベルトを持つ
- ② バックルのボタンを押す
- ③ プレート（小）とベルトを持ったまま、ベルトを巻き取らせる



2 着用した位置の車いす用シートベルトのバックルおよびプレートを格納する

▶ 車いす前席のバックル（タイプⅠ）

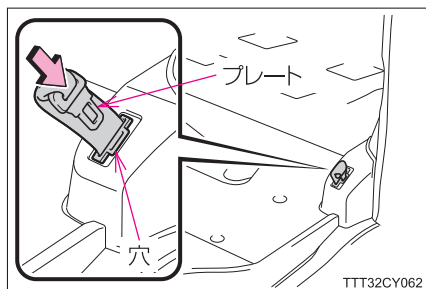
バックルを格納箱に格納する



▶ 車いす前席の腰部ベルト（タイプⅠ）

プレートに穴を挿し込み収納する

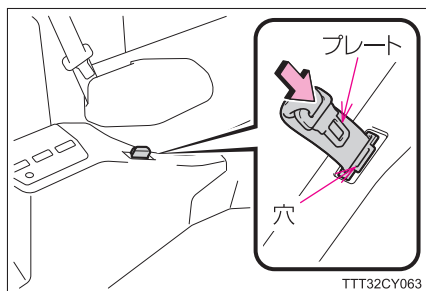
ベルトにねじれがなく、確実に挿し込まれたことを確認してください。



▶ 車いす後席の腰部ベルト（タイプⅠ “車いす 2 名仕様” / タイプⅡ）

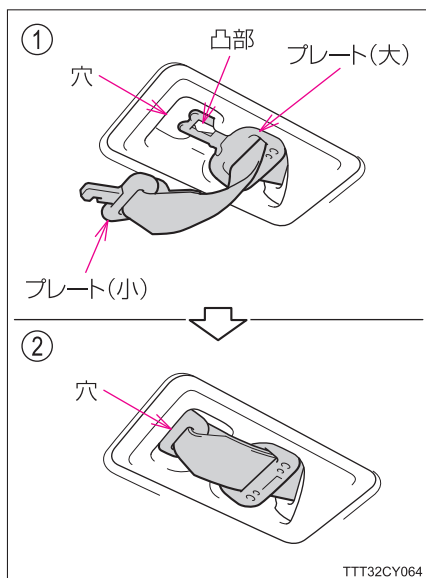
プレートに穴を挿し込み収納する

ベルトにねじれがなく、確実に挿し込まれたことを確認してください。



▶ 車いす後席の肩部ベルト（タイプⅠ “車いす 2 名仕様” / タイプⅡ）

- ① プレート（大）の穴を、格納箱の凸部にはめ込む
- ② プレート（小）を格納箱の穴に挿し込む

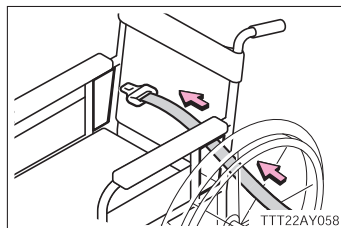


知識

■急停止や衝撃があったときシートベルトがロックしたまま引き出せないときは一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

■車いすのサイドガード後部にスペースがある車いすをご使用の場合

右図のように腰部ベルトを通すと、腰骨のより低い位置に腰部ベルトがかけられます。



警告

■シートベルトを着用するときは

- シートベルトの着用は必ず介助の方が行い、正しく着用されていることを確認してください。
シートベルトは正しく着用しないと、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 3点式シートベルトは必ず肩部ベルトと腰部ベルトの両方を着用してください。
- シートベルトを着用するときは、必ず車いすが固定されていることを確認してください。
車いすの固定が悪いと車いすが動き出し、車いす乗車の方のシートベルトが正しく着用できなくなり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトは必ずアームレストの下側およびスポーク、サイドガードのあいだを通してください。
シートベルトがアームレストにかかった状態で着用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車いす後席の肩部ベルトは、必ずプレート（大）も取り出してください。
プレート（大）をルーフ部の格納箱に残したままにしておくと、プレート（大）がはずれたとき、車いす乗車の方の顔や頭にあたり、けがをするおそれがあります。

 警告**■ シートベルトをはずすときは**

プレートバックルからはずすときは、必ずプレートの樹脂部を手で持ってからバックルのボタンを押してください。

プレートの樹脂部を持ってはずさないで、プレートがいきおいよくもどり、顔などにあたり、けがをするおそれがあります。

■ シートベルトを着用しないときは

- 車いす前席の車いす用シートベルトを着用しないときは、必ずバックルを格納箱に格納してください。

バックルが格納されていないと、車いす乗降時および車内での移動時、つまり転倒したり、バックルを破損するおそれがあります。

- 車いす後席の車いす用シートベルトを着用しないときは、必ず肩部ベルトを格納箱に格納してください。

肩部ベルトが確実に格納されていないと、車いす乗降時、肩部ベルトが頭にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

走行する前に

車いす用シートベルト着用後、車両を次の状態にします。

- 1 スロープを格納する（→ P.54）
- 2 バックドアを閉める
バックドアが車いすにあたらないことを確認しながらゆっくりと閉めます。
- 3 シートを次のように調整する
 - ▶ タイプ I の助手席シート
車いす乗車の方にあたらないことを確認しながら、前後位置・背もたれ角度を調整する
 - ▶ セカンドシート
車いす乗車の方にあたらないことを確認しながら、前後位置・背もたれ角度を調整する
 - ▶ タイプ I（車いす 1 名乗車時）のサードシート
サードシートに乗車するときは、サードシートを着座状態にする（→ P.29）

 警告**■ 車いすを車内に乗り入れたときは**

- タイプ I で車いす前席に車いすを乗り入れたときは、助手席シートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。
助手席シートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをするおそれがあります。車いす乗り入れ後、助手席シートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。
- 車いす後席に車いすを乗り入れたときは、セカンドシートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。
セカンドシートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをするおそれがあります。車いす乗り入れ後、セカンドシートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

お手入れのしかた

4

4-1. お手入れのしかた

スロープの清掃 118

ベルトの清掃 120

車いす固定装置の清掃 121

4-2. 簡単な点検・部品交換

ガレージジャッキ 122

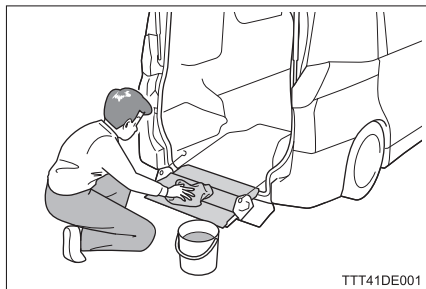
スロープの清掃

スロープに泥や小石、砂などの異物がつまると、スロープの格納操作ができなくなります。

スロープの清掃は、次のように行ってください。

スロープの清掃のしかた

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にし、エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止する
- 2 バックドアを全開にする
- 3 スロープを展開する（→ P.52）
- 4 スロープを清掃する
 - ① 泥や小石、砂などの異物があったらブラシなどを使用して取り除く
 - ② 水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る



TTT41DE001

 警告**■ スロープを清掃するときは**

- 必ずエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。
誤って車高切替スイッチが押された場合、不意に車高が変化し、手足を挟まれ重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- スロープを清掃するときは、手や指を挟まないよう、十分注意してください。

ベルトの清掃

セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルト、車いす前席の車いす固定装置のベルト（タイプⅠのみ）および車いす用シートベルトが汚れたときは、次のように清掃を行ってください。

清掃のしかた

中性洗剤かぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る

乾くまで使用しないでください。

警告

■ベルトを清掃するときは

- ベルトの清掃にベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤を使用しないでください。
有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤を使用すると、ベルトの性能が低下し、十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。清掃するときは、中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでベルトを使用しないでください。
- ベルトを清掃するときは、フックまたはプレートをしっかり持ち、ベルトの状態を確認しながら行ってください。
ベルトが不意に巻き取られ、けがをするおそれがあります。

車いす固定装置の清掃

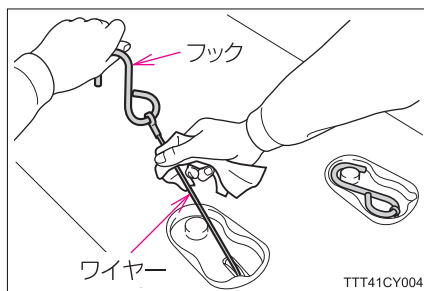
車いす後席の車いす固定装置（タイプⅠ“車いす 2 名仕様”／タイプⅡ）のワイヤーが汚れると、ワイヤーのもどりが悪くなることがあります。次の方法でワイヤーを清掃してください。

車いす前席の車いす固定装置（タイプⅠ）はベルト式になります。清掃方法は P.120 の「ベルトの清掃」を参照してください。

清掃のしかた

フックを持ってワイヤーを引き出し、清掃します。

- ① ワイヤーに砂やほこりなどの汚れが付着していたら、ワイヤーの状態を確認しながら、ゆっくりとやわらかい布などで汚れをふき取る
- ② 潤滑剤を湿らせた布で再度ワイヤーをふく



⚠ 警告

■ 車いす固定装置を清掃するときは

車いす固定装置に水をかけないでください。

電気部品に水がかかって故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

■ ワイヤーを清掃するときは

- フックをしっかり持ち、ワイヤーの状態を確認しながら行ってください。

フックから急に手を離すとワイヤーが不意に巻き取られ、けがをするおそれがあります。

- ワイヤーに直接ふれないでください。

ワイヤーに傷やほつれがあった場合、けがをするおそれがあります。

・ ワイヤーがほつれている場合は、ワイヤーの交換が必要です。車いす固定装置をそのまま使用せず、トヨタ販売店にご相談ください。

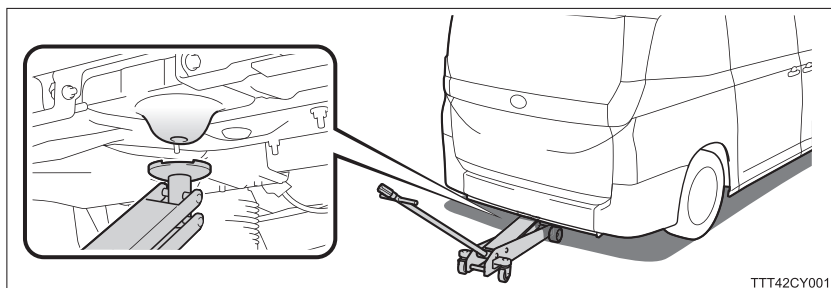
ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

フロント側のセット位置およびお守りいただきたいことは標準車と同様ですので、標準車取扱説明書の「ガレージジャッキ」を併せて参照してください。

リヤ側のガレージジャッキのセット位置



⚠ 警告

■ 車両を持ち上げるときは

必ずエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。

エンジンがかかった状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉だと、オートレベリング機能※により車高が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

※：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

万一の場合には

5

5-1. パンクしたときは

工具・ジャッキの取り出し... 124

5-2. 故障かな？と

お考えになる前に

ヒューズの交換 129

車高降下装置が
作動しないときは 132

ワイヤレスリモコンの電池交換
(電動ウインチ装着車) 133

車いす固定の
やり直しについて 136

5-3. 緊急時の対処法

セーフティベルトが引き出せ
ない・後退防止作動しない
ときは(セーフティベルト
装着車) 137

電動ウインチが作動しないときは
(電動ウインチ装着車) 139

車いす固定装置が
作動しないときは 142

自動モードについて
(電動ウインチ装着車) 144

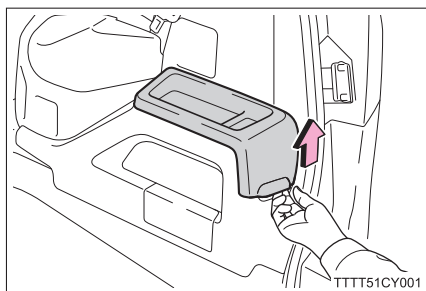
工具・ジャッキの取り出し★

車内右側後部に装備されます。

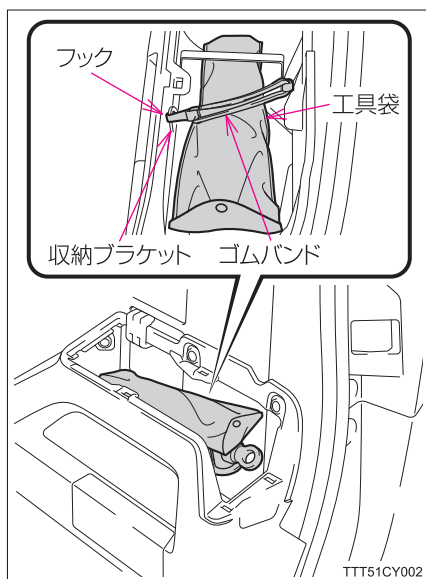
工具・ジャッキの取り扱いについては、標準車取扱説明書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

工具袋・ジャッキの取り出し

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にし、エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止する
- 2 ジャッキカバーの取っ手部分を持って上方向に引き上げ、ジャッキカバーを取りはずす



- 3 ゴムバンドのフックを収納ブラケットからはずす



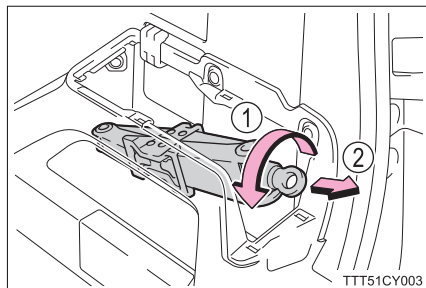
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

4 工具袋を格納部から引き抜いて取り出す

5 ジャッキを取り出す

① ジャッキのネジ部を左にまわし、ジャッキを縮める

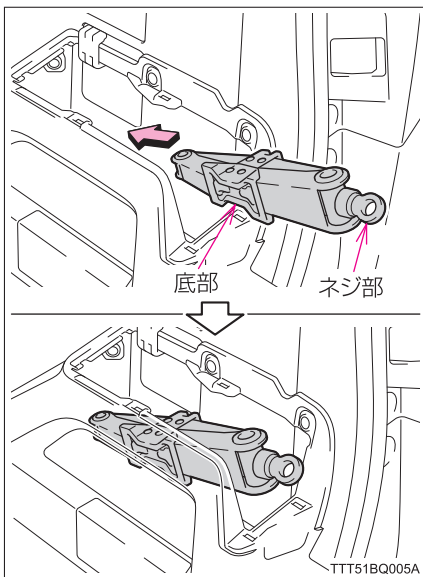
② 格納部から引き抜く



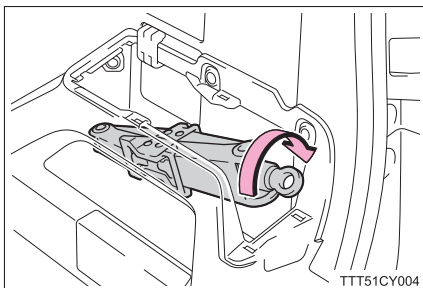
工具袋・ジャッキの格納

- 1** ジャッキの底部を車両内側・ネジ部を車両後方に向け、格納部に挿し込む

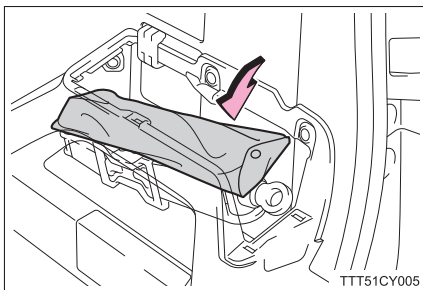
格納部に沿わせ、奥まで収納してください。(正しい向きで奥まで挿し込まないと、ジャッキカバーが閉められません)



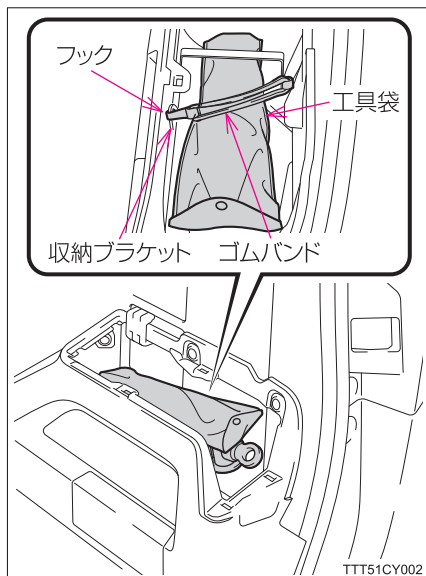
- 2** ジャッキのネジ部を右にまわしてジャッキを広げ、ジャッキが動かないようにする



- 3** 工具袋をジャッキの上に置く



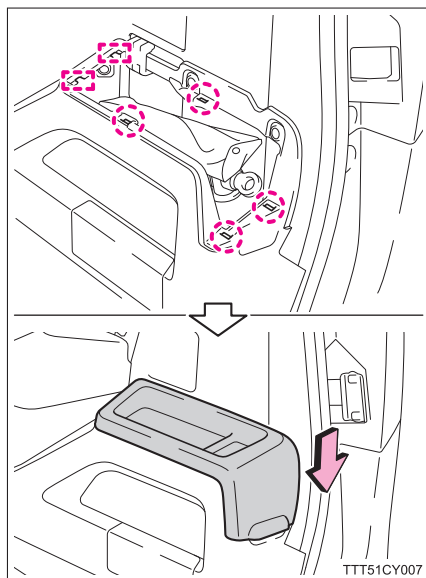
- 4 ゴムバンドのフックを収納ブラケットにかける



- 5 ジャッキカバーを元にもどす

ジャッキカバーをトリム部の穴に挿し込み、ツメ（2ヶ所）を確実にはめ込みます。

- ：トリム部穴
□：ツメ挿し込み部



 知識

■ タイヤパンク応急修理キットについて

この車両には応急用タイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときにタイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。タイヤパンク応急修理キットの使用方法是標準車と同様ですので、標準車取扱説明書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

タイヤパンク応急修理キットを取り出すときは、仮置きバンドを取り外してからカバーを取り外します。

 警告

■ 工具・ジャッキの取り出し・格納をするときは

ゴムバンドの取り付け・取りはずし時、指などを挟まないように注意してください。

■ 工具・ジャッキを使用したあとは

所定の場所に確実に保管してください。

車室内などに放置すると、乗降時につまずいたり、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ 工具・ジャッキ格納部について

工具・ジャッキ以外のものを入れないでください。
けがをするおそれがあります。

 注意

■ 破損を防ぐために

ジャッキカバーを取りはずすときは、ツメに無理な力が加わらないようにしてください。

ツメが破損するおそれがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを点検する前に、各装置ごとの作動条件（→P.50）をすべて満たしていることを確認してください。

作動条件を確認したにもかかわらず、装置が正常に作動しないときは、ヒューズの点検を行ってください。

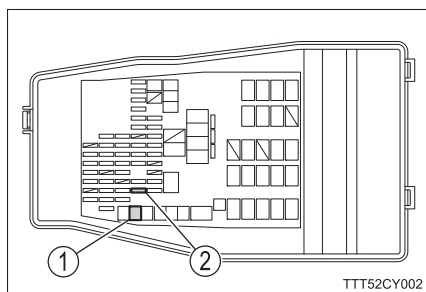
ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

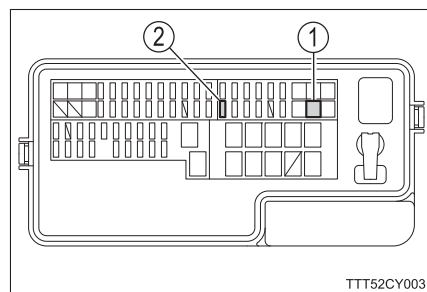
■ エンジンルーム左側ヒューズボックス

エンジンルーム左側ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱説明書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。

▶ ガソリン車



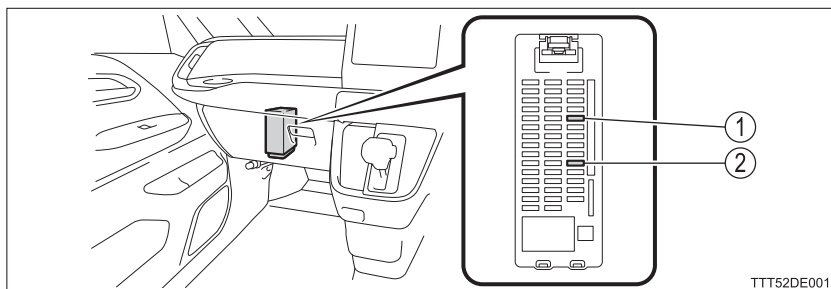
▶ ハイブリッド車



	ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
①	AIR SUS	50A	車高降下装置
②	WELCAB NO.2	7.5A	車いす固定装置

■ 助手席足元ヒューズボックス

助手席足元ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱説明書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



	ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
①	WELCAB NO.4	20A	車いす固定装置
②	WELCAB NO.3	20A	車いす固定装置

 知識

■ 車高降下装置について

- 車高降下・復帰操作をくり返し（目安として4分間に3回以上）行くと、エアサスペンションのコンプレッサの過熱防止（保護）のため、しばらく作動しなくなることがありますが、ヒューズ切れではありません。
- メーター内の車高調整インジケーターおよび左リヤデッキサイド部の車高降下装置異常ランプが黄色点灯した場合は、車高降下装置のシステムに何らかの異常が発生していますので、すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。（→ P.58）

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても電気系統の装置が働かないとき

 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。
お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

車高降下装置が作動しないときは

次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.50)

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.129, 130)

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

■ 走行可能な車高の場合

そのまま運転してトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 走行できない車高の場合

次の方法で車高復帰（上昇）させ、そのまま運転してトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 1 車高調整スイッチの「上」を押す
- 2 パーキングブレーキを確実にかける
- 3 エンジンをつけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉
- 4 ブレーキペダルを踏んでシフトレバー／シフトポジションをP以外の位置に動かし、周囲の安全を確認後、ブレーキペダルから足を離す
 - ・ 車高復帰忘れ防止機能により、車高が復帰（上昇）します。(→ P.56)
 - ・ ブレーキペダルを踏んだままだと車高復帰しません。シフトレバー／シフトポジションを動かしたあと、必ずブレーキペダルから足を離してください。
 - ・ 車高復帰が完了すると、メーター内の車高調整インジケーターが消灯します。(→ P.55)
 - ・ 車高が変化しなかった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

ワイヤレスリモコンの電池交換（電動ウインチ装着車）

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

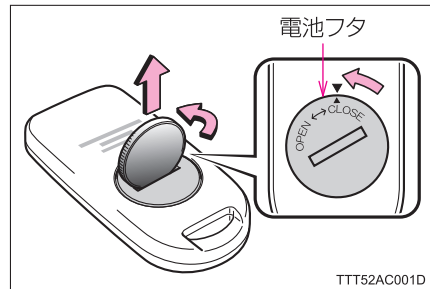
- コインなど、電池フタの溝に挿し込めるもの
- リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

ワイヤレスリモコンカバーが付いているときは、カバーをはずしてから交換してください。（→ P.65）

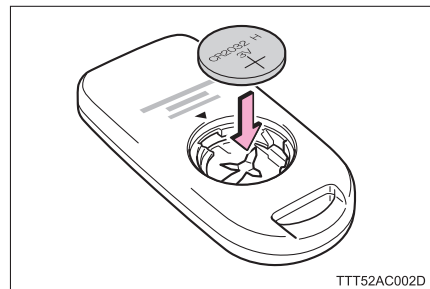
1 電池フタをはずす

コインなどを電池フタの溝に挿し込み、▲マークが合う位置まで OPEN 側にまわし、電池フタをはずします。



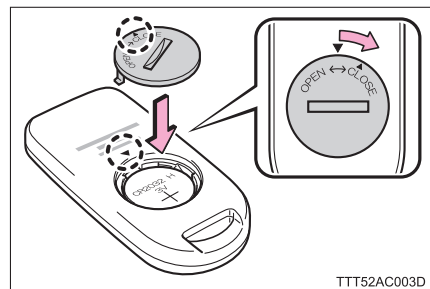
2 電池を交換する

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。



3 電池フタをはめる

- ・ 電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。
- ・ コインなどを電池フタの溝に挿し込み、CLOSE 側にまわし、電池フタを締め込みます。



4 作動確認をする

電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中（10 秒以内）に上スイッチまたは下スイッチを押して、動作表示 LED が緑色点滅することを確認します。

知識

■ リチウム電池 CR2032 の入手

電池はトヨタ販売店、時計店、カメラ店などで購入できます。

警告

■ ワイヤレスリモコンの電池について

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 誤って電池を飲み込まないように注意してください。化学熱傷のおそれがあります。
- ワイヤレスリモコンにはコイン電池もしくはボタン電池が使われています。電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の化学熱傷を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 新しい電池および取りはずした電池は、お子さまにさわらせないでください。
- カバーがしっかり閉まらない場合はそのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所に保管し、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 誤って電池を飲み込んだ、または体の一部に入ってしまった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

■ 電池の爆発や可燃性の液体またはガスの漏れを防ぐために

- 同じタイプの電池と交換してください。異なったタイプの電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。
- 極端に温度の高いところや、高度が高く極端に気圧が低いところに電池を持ち込まないでください。
- 電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

 注意**■ 交換後、正常に機能させるために**

次のことをお守りください。

- 電池交換時に部品を紛失しない
- 電池フタを曲げたりしない
- 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしない
- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにして挿入する
- 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させない

車いす固定のやり直しについて

車いすを固定したあと、車いすの後輪やハンドルがサードシート乗車の方やバックドアにあたるなど、車いすの固定が不十分で位置を直したいときは、P.105 の「車いす固定位置のやり直し」を参照してゆっくり行ってください。

知識

■ 固定・解除スイッチの操作について

車いすを固定したあと、バックドアを閉める前や車両を動かす前に固定・解除スイッチで解除するときは、「解除」ボタンを2回押します。

バックドアを閉めたあとや車両を動かしたあととボタンを押す回数が違いますが故障ではありません。

■ 車いす固定位置のやり直しモードについて

車両を動かす前（バックドアを閉める前）のみのモードです。

車いすの固定位置を調整しやすくするため、後退防止作動へ切り替えができるようになっています。

モード	「解除」スイッチ 操作回数	固定・解除スイッチ インジケーター	作動モード
通常	1 回	点滅	ベルトフリー
やり直し	1 回	消灯	後退防止作動
	2 回	点滅	ベルトフリー

セーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しないときは（セーフティベルト装着車）

固定・解除スイッチのインジケーターが通常より早い（高速）点滅している場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
早い（高速）点滅をしていない場合は次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。（→ P.50）

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても後退防止作動をしない場合は、ヒューズを点検・交換してください。（→ P.129, 130）

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしてもセーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

■ 車いすを車外に降ろすことができなくなったときは

万一、セーフティベルトが引き出せず、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方を降ろしてください。

▶ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは**1** スライドドアを全開にする

- ・ タイプ I の車いす前席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
- ・ 車いす後席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。

2 車いす乗車の方を降ろす**▶ 車いすと車いす乗車の方を車外に降ろすときは**

- 1** バックドアを開け、スロープを展開する（車高降下装置が作動する場合は車高を降下させる）
- 2** セーフティベルトをはさみで切断する（左右とも）
- 3** 車いすのブレーキを両輪とも解除後、すぐに車いすのハンドルをしっかり持つ
- 4** 車いすを少し後方へ下げ、再度ブレーキを掛ける
- 5** 固定装置のフックを取りはずす
- 6** 車いすのブレーキを解除し、車外へ降ろす

■ セーフティベルトが巻き取れないときは

セーフティベルトに雪や雨などが付着したり、寒冷時においてセーフティベルトが凍結した場合、セーフティベルトの巻き取りができなくなることがあります。

セーフティベルトの巻き取りができないときは、セーフティベルトに付着した雨や雪などをふき取ってから、セーフティベルトを巻き取ります。

電動ウインチが作動しないときは（電動ウインチ装着車）

固定・解除スイッチのインジケーターが通常より早い（高速）点滅している場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
早い（高速）点滅をしていない場合は次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。（→ P.50）

ワイヤレスリモコンの確認

電池が消耗すると、次の症状が現れます。（電池寿命は約 1 年間です）

- 著しく作動可能距離が短くなる
- 動作表示 LED が点灯しなくなる
- 動作表示 LED が点滅しなくなる

いずれかにあてはまる場合は電池を交換してください。（→ P.133）

■ ワイヤレスリモコンの紛失・電池切れしたとき

固定・解除スイッチの「解除」を押すとベルトフリーモードになり、手動でベルトが引き出せます。（→ P.66, 73）

車いすにベルトをかけて、一定時間（約 4 分以上）待機、または、ベルトを巻き戻すと固定・解除スイッチインジケーターが消灯し、巻き取りモード（後退防止状態）になります。車いすを車内に乗り入れ固定・解除スイッチの「固定」を押すことで、車いすを固定できます。

■ 車いすが車内に乗り入れた状態でワイヤレスリモコンの紛失・電池切れしたときは

次の方法で車いすを車外に降ろします。

- 1 固定・解除スイッチの「解除」を押し、ベルトフリーモードにする
- 2 車いすのブレーキを両輪とも解除後、すぐに車いすのハンドルをしっかりと持つ
- 3 車いすを一度、少し前に押してから車いすを引き、車いすを車外に降ろす

このとき、後退防止作動が解除されていますので、ご注意ください。

- 4 車いすのブレーキを両輪ともかける
- 5 ベルトのフックを手に持って、フックを片方ずつ、車いすの前部フレームから取りはずす
- 6 ベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る

ヒューズの点検・交換

作動条件およびワイヤレスリモコンの電池を確認しても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.129, 130)

作動条件・ワイヤレスリモコンの電池確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

■ 車いすを車外に降ろすことができなくなったときは

万一、電動ウインチが手動でも作動なくなり、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方を降ろしてください。

▶ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

- 1 スライドドアを全開にする
 - ・ タイプ I の車いす前席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
 - ・ 車いす後席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。
- 2 車いす乗車の方を降ろす

▶ 車いすと車いす乗車の方を車外に降ろすときは

- 1 バックドアを開け、スロープを展開する（車高降下装置が作動する場合は車高を降下させる）
- 2 ベルトをはさみで切断する（左右とも）
- 3 車いすのブレーキを両輪とも解除後、すぐに車いすのハンドルをしっかり持つ
- 4 車いすを少し後方へ下げ、再度ブレーキを掛ける
- 5 固定装置のフックを取りはずす
- 6 車いすのブレーキを解除し、車外へ降ろす

■ 手動でベルトが巻き取れないときは

電動ウインチのベルトに雪や雨などが付着したり、寒冷時においてベルトが凍結した場合、手動でベルトの巻き取りができなくなることがあります。手動でベルトの巻き取りができないときは、ベルトに付着した雨や雪などをふき取ってから、ベルトを巻き取ります。

警告

■ 車いすを車内に乗り入れた状態で、電動ウインチをベルトフリーモードにするときは

車いすが急に下がらないよう十分注意してください。

ベルトフリーモードにするときは、車いすのブレーキが両輪ともかかっていることを確認し、車いすのブレーキを両輪とも解除後、車いすが急に下がらないよう、介助の方がしっかりと車いすを支えてください。

車いす固定装置が作動しないときは

固定・解除スイッチのインジケーターが通常より早い（高速）点滅している場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
早い（高速）点滅をしていない場合は次の処置をしてください。

作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。（→ P.50）

ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。（→ P.129, 130）

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

■ 車いすを車外に降ろすことができなくなったときは

万一、車いす固定装置が作動しなくなり、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方を降ろしてください。

▶ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

1 スライドドアを全開にする

- ・ タイプ I の車いす前席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、助手席側スライドドアを全開にします。
- ・ 車いす後席の車いす乗車の方を車外に降ろすときは、車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にします。

2 車いす乗車の方を降ろす

▶ 車いすと車いす乗車の方を車外に降ろすときは

1 バックドアを開け、スロープを展開する（車高降下装置が作動する場合は車高を降下させる）

2 ベルトをはさみで切断する（左右とも）

- 3 車いすのブレーキを両輪とも解除後、すぐに車いすのハンドルをしっかり持つ
- 4 車いすを少し後方へ下げ、再度ブレーキを掛ける
- 5 固定装置のフックを取りはずす
- 6 車いすのブレーキを解除し、車外へ降ろす

自動モードについて（電動ウインチ装着車）

自動モードにおいて、自動巻き取り動作の開始位置または、停止位置が変わってしまったときは次の処置をしてください。

作動条件の確認

- バックドアが閉じている
- IG ON
- 前後 2 席仕様のときは、切り替えスイッチで設定されている側の固定・解除スイッチで行う

リセットについて

固定・解除スイッチのインジケーターが2回点滅を繰り返しているときは自動モードの原点リセットをしてください。

■ 原点リセットするときは

次の方法でリセットします。

- 1 ベルトのフックをベルト巻き取り部に戻す
- 2 固定・解除スイッチの固定スイッチを 5 秒間押し続ける
5 秒間押し続け、ランプが消灯から高速点滅になったら指を離します。
- 3 指を離したあと、ランプが高速点滅から消灯したら 10 秒以内に解除スイッチを 5 秒間押し続ける
5 秒間押し続け、ランプが消灯から高速点滅になったら指を離します。
- 4 指を離したあと、ランプが高速点滅から消灯したら原点リセットの完了です

点検・整備項目

6

6-1. 点検・整備項目

定期点検整備 146

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目		点検時期		交換時期 (年)	備考
		日	自家用車		
		常 点 検	12 か 月 ご と		
ス ロ ー プ	各部取り付け部				
	ゆるみ、損傷		○		取り付け部のゆるみ、スロープ本体の損傷、リヤバンパー部ロックの締め付け状態
	各部のガタ		○		展開状態のガタ
	各部の機能				
	作動状態	○			ロック解除レバーのもどり不良、展開操作の異音・荷重、オイルもれ・ダンピング力の低下、バックドアの閉まり具合

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

点検整備項目		点検時期		交換時期 (年)	備考					
		日 常 点 検	自家用車							
			12 か 月 ご と	24 か 月 ご と						
リヤエアサスペンション	エアサスペンション									
	取り付け部のゆるみ		○		締め付けトルクが基準値内にあること					
	損傷		○		エアサスペンションに亀裂・傷など損傷がないこと					
	コンプレッサ									
	ゆるみ、ガタ		○		締め付けトルクが基準値内にあること					
	作動中の異音		○		異音がないこと					
	配管・ジョイント部									
	損傷		○		損傷・エアもれがないか点検する					
セーフティベルト	ベルトの損傷(タイプⅠ“車いす2名仕様”は前後2ヶ所とも同様に点検する)									
	ほつれ、すり切れ、折れ癖	○			損傷があれば交換					
	機能(タイプⅠ“車いす2名仕様”は前後2ヶ所とも同様に点検する)									
	引き出し、巻き取りの状態	○			汚れがある場合は清掃					
電動ウインチ	ロック状態					○				
	ベルトの損傷(タイプⅠ“車いす2名仕様”は前後2ヶ所とも同様に点検する)									
	ほつれ、すり切れ、折れ癖	○				損傷があれば交換				
	機能(タイプⅠ“車いす2名仕様”は前後2ヶ所とも同様に点検する)									
	引き出し、巻き取りの状態	○				汚れがある場合は清掃				
ロック状態					○					

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

点検整備項目		点検時期		交換時期 (年)	備考	
		日 常 点 検	自家用車			
			12 か 月 ご と			24 か 月 ご と
車いす 固定装置	ベルト・ワイヤーの損傷（車いす前席用はベルトタイプ、車いす後席用はワイヤータイプ）					
	傷、ほつれ	○				損傷があれば交換
	機能（タイプⅠ “車いす 2 名仕様” は前後 2 ヶ所とも同様に点検する）					
	引き出し、巻き取り の状態	○				汚れがある場合は清掃
	ロック状態	○				
シート ベルト	ベルトの損傷					
	ほつれ、すり切れ、 折れ癖	○				損傷があれば交換

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

リヤエアサスペンションの締め付けトルク基準値

単位：N・m {kgf・cm}

部品	締め付けトルク基準値
エアサスペンション下部取り付けボルト	16 {163}
レベリングソレノイドバルブ取り付けナット	5.4 {55}
コンプレッサ取り付けナット	33 {337}

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	150
五十音順さくいん.....	156

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

車いすについて



車いすがスロープおよび車内の正しい位置に乗り入れできない

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.38）
- スロープの耐荷重 150kg 以内で使用してください。（→ P.37）
- 車いすを車内に乗り入れる前に、シートを調整してください。（→ P.63）
- 正しい手順で乗り入れているか、確認してください。→ P.66, 73）



車いす固定装置のフックが車いすにかからない

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.38）
- 車いすを所定の位置まで乗り入れていますか？（→ P.70 ~ 72, 77 ~ 80, 88）
- 車いすのフレーム形状によっては、車いす固定装置のフックが正しくかけられないときがあります。



車いす用シートベルトが正しく着用できない

- 車いすのアームレスト下側にカバーなどありませんか？（→ P.113）
- シートベルトの装着手順を確認してください。（車いす前席→ P.107
／車いす後席→ P.109）

車高降下装置について



車高降下中、車高が自動復帰した

- 車高降下中にシフトレバー／シフトポジションを P 以外の位置にしませんでしたか？（→ P.56）



車高切替スイッチを押しても車高が変化しない

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.50）
- 短時間にくり返し操作していませんか？（→ P.57）
- ブレーキペダルを踏んでいませんか？（→ P.57）



車高降下速度が遅い、または車高降下が完了しない

- 氷・雪または石などがボデーに接触していませんか？（→ P.57）



車両左側後方から音が聞こえる

- エアサスペンションの作動音です。故障ではありません。（→ P.58）



スイッチを操作しなくても車高がかわった

- オートレベリング機能により車高調整が行われています。（→ P.58）



車高調整インジケーターおよび車高降下装置異常ランプが黄色点灯し、車高降下・復帰が停止した

- 車高降下装置のシステムに何らかの異常が発生しています。すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。（→ P.58）

スロープについて



スロープが展開・格納できない

- スロープに異物がないか確認し、異物があるときは清掃してください。
（→ P.118）

車いすの車内への乗り入れについて

（セーフティベルト★／電動ウインチ★／車いす固定装置）



固定・解除スイッチを押してもベルトが引き出せない

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.50）



車いす乗車の方の足や車いすの後輪が、他の乗員やスロープにあたる

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。
（→ P.38）
- 車いすを所定の位置まで乗り込ませましたか？
（→ P.70 ～ 72, 77 ～ 80, 88）
- 車いすが左右傾いて固定されていませんか？



車いすを車内に乗り入れたあと、車いすが下がってしまう

- 車いすのブレーキは両輪ともかけられていますか？（→ P.99）
- 作動条件をすべて満たした状態で固定・解除スイッチのインジケータが点滅していませんか？（セーフティベルト装着車→ P.90 / 電動ウインチ装着車→ P.91）

**車いす固定装置が作動しない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.50）

**固定・解除スイッチの「固定」を押しても車いすが固定されない・「解除」を押しても車いすの固定が解除されない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.50）

**セーフティベルト★または電動ウインチ★のベルトが巻き取れない**

- 車いすやベルトが車内のものに引っかかっていたり、ベルトがねじれていませんか？（→ P.98）
- ベルトに雪や雨などが付着したり、ベルトが凍結していませんか？
（セーフティベルト装着車→ P.138 / 電動ウインチ装着車→ P.141）

**ワイヤレスリモコンを操作しても、電動ウインチが作動しない（電動ウインチ装着車）**

- 周囲の電波状態により上スイッチまたは下スイッチを押しても電動ウインチが作動しなくなることがあります。（→ P.91）
- 電源スイッチを押し、動作表示 LED が赤色点灯中に上スイッチまたは下スイッチを押しましたか？（→ P.91）
- 上スイッチまたは下スイッチを断続的に押していませんか？（→ P.91）
- 電池が消耗していませんか？（→ P.139）

故障かな？と思ったら**装置が作動しない**

- 各装置ごとの作動条件を確認してください。（→ P.50）

トラブルが発生した**車高降下装置が作動しない**

- P.132 のことを確認してください。
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

**セーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しない
（セーフティベルト装着車）**

- P.137 のことを確認してください。
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

**電動ウインチが作動しない（電動ウインチ装着車）**

- P.139 のことを確認してください。
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



ワイヤレスリモコンを紛失した・電池が切れた （電動ウインチ装着車）

- 電池が切れたときは、P.133の方法で電池を交換してください。
- ワイヤレスリモコンを使わずに車いすを車内外に乗降・固定することができます。（→ P.139）
ワイヤレスリモコンを紛失したときは、トヨタ販売店にご相談ください。



車いす固定装置が作動しない

- P.142のことを確認してください。
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

五十音順さくいん

あ

安全なドライブのために

車いすの固定およびシート ベルトの着用について	20
車いすの車内外への 乗降について	12
車両火災・故障・損傷を 防ぐために	23

い

インジケーター

固定・解除スイッチ インジケーター（車いす前席用） 67, 73, 81, 84, 100, 102	
固定・解除スイッチ インジケーター（車いす後席用） 68, 75, 81, 84, 100, 102	

え

エアサスペンション	60
オートレベリング機能	58

お

お手入れのしかた

車いす固定装置の清掃	121
スロープの清掃	118
ベルトの清掃	120

か

ガレージジャッキ	122
----------------	-----

き

緊急時の対処法

車いす固定装置が 作動しないときは	142
自動モードについて	144

セーフティベルトが引き出せない・ 後退防止作動しないとき	137
電動ウインチが 作動しないとき	139

く

車いす

車いす乗車の目安	38
車いすのタイヤ空気圧	38
重量	37
乗車可能な車いす	38

車いす固定装置

解除	102
固定	99
固定位置のやり直し	105
作動しないとき	142
作動条件	50
清掃	121

車いすの車内外への乗降

車内への乗り入れ位置 （車いす後席）	72, 80
車内への乗り入れ位置 （車いす前席）	71, 80
車内への乗り入れ位置 （2名乗り入れ時）	88
操作の流れ	41

車いすの車内での固定・解除

解除	102
固定	99

車いす用シートベルト

車いす後席での着用	109
車いす前席での着用	107
シートベルトの構成	106
はずし方	111

こ

工具・ジャッキの取り出し	124
故障かな？とお考えになる前に	
車いす固定の	
やり直しについて	136
車高降下装置が	
作動しないとき	132
ヒューズの交換	129
ワイヤレスリモコンの	
電池交換	133
固定・解除スイッチ	
車いす前席用	
....67, 73, 81, 84, 100, 102	
車いす後席用	
....68, 75, 81, 84, 100, 102	

さ

サードシート	
格納	26
もどし方	29
作動条件	50

し

シート	
サードシート	26
セカンドシート	26
室内装備	
収納装備一覧	32
アクセサリコンセント	34
室内レイアウト	36
自動モード	92, 144
締め付けトルク基準値	148
車高降下装置	
作動しないとき	132
作動条件	50
車高降下を途中で	
やめるとき	53
車高降下装置異常ランプ	58
車高調整インジケーター	
.....51 ~ 53, 56, 58, 59, 131	
車高調整およびスロープ	
の展開・格納	51
車高切替スイッチ	
.....41, 45, 52, 55, 56	
車高切替モード	
バックドア連動	
車高切替モード	51, 54, 56
マニュアル	
車高切替モード	52, 55, 56
車高復帰忘れ防止機能	56
ジャッキ	122, 124
ジャッキカバートレイ	32
ジャッキの取り出し	124
スロープ	
格納	54
清掃	118
展開	52

す

スロープ	
内幅	37
耐荷重	37
清掃	118
スロープを使用する前に	
車いす乗車の目安	38
車いすのタイヤ空気圧	38
ご使用前に確認して	
いただきたいこと	36
室内レイアウト	36
重量	37
乗車可能な車いす	38
スロープ内幅	37
路面	37

せ

セーフティベルト	
仮置きバンド	89
車外への降車	81
車内への乗り	
入れ位置	71, 72, 88
手動での引き出し	69
清掃	120
引き出せない・後退防止作動	
しないとき	137
清掃	
車いす固定装置	121
スロープ	118
ベルト	120
セカンドシート	26
前席・後席切替スイッチ	
.....	67, 68, 74, 75

そ

走行する前に	115
操作の流れ	
車いすを車外に降ろすとき	46
車いすを車内に乗り入れ・	
固定するとき	41

て

定期点検整備記録簿	巻末
デッキポケット	32
点検・整備項目	
締め付けトルク基準値	148
定期点検整備	146
電動ウインチ	
ウインチスイッチ	
.....	64, 77, 78, 85, 87
仮置きバンド	89
作動しないとき	139
作動条件	50
車外への降車	84
車内への乗り	
入れ位置	80, 88
手動での引き出し	76
清掃	120

は

パンクしたとき	
工具・ジャッキの取り出し	124

ひ

ヒューズ

エンジンルーム左側 129

助手席足元..... 130

へ

ヘッドランプ光軸切りかえ機能 59

ベルトの清掃 120

ま

万ーの場合には

故障かな？と

お考えになる前に 129

ゆ

床面ロック 29

わ

ワイヤレスリモコン

各部の名称..... 64

使い方 64

電池交換..... 133

ワイヤレスリモコンカバー 65

■その他必要となった点検整備の内容
及び主な交換部品

ウェルキャブJシリーズ（対象装備に○をつける）

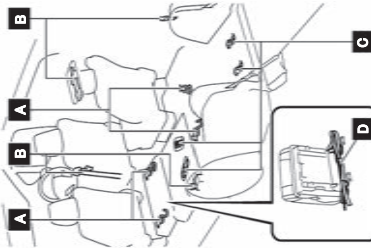
- ① 車いす仕様車（スロープタイプ エア式サスペンション） 車いす固定装置
- ② 車いす仕様車（スロープタイプ 油圧式サスペンション） 車いす固定装置
- ③ 車いす仕様車（スロープタイプ） ワンタッチ固定装置 + 電動ウェルチェア

12か月定期点検整備記録簿

検査なし	異常なし	交換	X	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	給油	L	省略	P

点検の結果および整備の概要

■車内
車いす固定装置およびベルト(①・②)



A セーフティベルト/電動ウインチ
ベルトの傷・ほつれ

B ベルトの引き出し・巻き取り状態
ベルトのロック状態

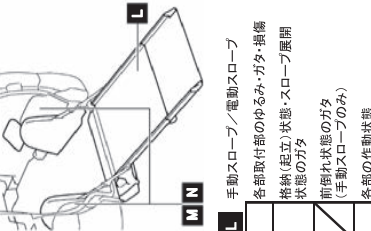
C 車いす用シートベルト ※
ベルトの傷・ほつれ

D 車いす固定装置
ベルト、ワイヤーの傷・ほつれ
ベルト、ワイヤーの引き出し・巻き取り状態
ベルト、ワイヤーのロック状態

E フロント固定ベルト ※
ベルトの傷・ほつれ

※:車庫により装着数や仕様が異なります。

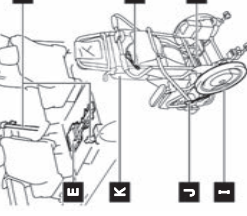
■スロープおよびサスペンション
①・②・③



M リアエアサスペンション(エア式) ①・③
サスペンション取付部のゆるみ・ガタ
サスペンションの亀裂・損傷・エア漏れ
コンプレッサのゆるみ・ガタ
コンプレッサ作動中の異音
配管・ジョイント部の損傷・エア漏れ

N 車高降下装置(油圧式) ②
ポンプユニットのオイル量
ポンプユニット及び配管組合部などからのオイル漏れ
ポンプユニットの各部取付部のゆるみ
ポンプユニットの各部取付部および外観の損傷
リヤショックアブソーバーおよび配管組合部などからのオイル漏れ

ワンタッチ固定装置およびベルト(③)



E ワンタッチ固定装置
鎖條・ペダル、フックのほつれ・不良
固定バーとフックのロック状態
フックの汚れ

F 各部取付部のゆるみ・ガタ・損傷

G 車いす用シートベルト
ベルトの傷・ほつれ

H 介助ブレーキ

I ブレーキの効き具合

H	固定バー	☐
I	バーの汚れ	☐
J	リヤタイヤ	☐
K	空気圧	☐
L	摩耗	☐
M	駐車ブレーキ	☐
N	ブレーキの効き具合	☐
O	電動ウェルチェア(本体)	☐
P	各部取付部のゆるみ・ガタ・損傷	☐

氏名又は名称		住所	様
係属道の氏名又は名称及び住所			
車名		自動車登録番号又は車体番号	
自動車分譲標準事業の氏名又は名称及び事業場の所在地		氏名又は名称	
事業場の所在地		実施者名	
分譲整備・点検済の認定印を貼る		点検の年月日	
km		年 月 日	
原紙:お客様控		コピー:工場控	

ウェルキャブ（福祉車両）
<https://toyota.jp/welcab/>



お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ
いただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販売店検索



リコール情報



トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ



全国共通・フリーコール

0800-700-7700



WEBページからのお問い合わせ



インターネットフォーム
によるお問い合わせ



チャットによる
お問い合わせ



手話通訳サービス
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など詳細につきましては右記の QR コードからご確認ください。
「個人情報保護方針」については、https://toyota.jp/privacy_statement/ に掲載しております。



- ご愛用車のお問い合わせは、**自動車検査証（車検証）** をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



Publication No.M28A64

Part No.01999-28A64

Printed in Japan 01-2509 I

ノア／ヴォクシー

車いす仕様車(ショートスロープタイプⅠ・Ⅱ)